



洗足学園音楽大学

2025年度
総合型選抜
一般選抜要項

音楽学部

目次

入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)……………	2
入試区分と選考方針	
各コースの入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー) ……	3
感染症予防に関する受験生の皆さまへのお願い ……	4
入試説明動画について	
各入試区分の募集人員・入試日程 ……	5
募集コース	
出願から入学手続までの流れ ……	6

1 総合型選抜概要 …… 7~9

2 一般選抜 A日程 試験概要…………… 10~11

3 一般選抜 B日程 試験概要…………… 12~13

4 受験方法について …… 14~15

5 出願資格及び出願資格を 証明する書類 …… 16

6 出願 …… 17~23

出願資格及び出願書類に関する注意事項 ……	17
出願に必要な書類等	
Web出願の手順 ……	18
個別の入学資格審査について ……	22
受験特別措置	
外国籍の方 ……	23

7 受験にあたっての注意事項 …… 24~25

試験当日の注意点 ……	24
練習について	
追試験について	
学校案内図(交通案内) ……	25
宿泊案内	

8 合格発表 …… 26

9 入学手続 …… 27

コース別試験科目…………… 29~78

- 総合型選抜
- 一般選抜 A 日程
- 一般選抜 B 日程

作曲 ……	30
音楽・音響デザイン ……	32
ピアノ ……	34
管楽器(木管) ……	39
管楽器(金管) ……	42
弦楽器 ……	45
打楽器 ……	48
電子オルガン ……	52
ジャズ&アメリカンミュージック ……	54
現代邦楽 ……	57
ロック&ポップス ……	58
声楽 ……	60
ミュージカル ……	63
バレエ ……	66
ダンス ……	67
ワールドミュージック ……	68
声優アニメソング ……	72
音楽教育 ……	74
音楽環境創造 ……	76
メディアアーツ ……	78

提出楽譜作製方法…………… 79

課題譜・譜例等…………… 80~85

管楽器(木管) スケール課題 ……	80
管楽器(金管) スケール課題 ……	81
打楽器 スケール譜例 ……	82
ロック&ポップス 伴奏課題 ……	83
ロック&ポップス 基礎打ち譜例 ……	84
ジャズ&アメリカンミュージック、音楽教育 ドラム仕様 ミュージカル 演技課題 ……	85

オンライン入試について…………… 86~94

一般選抜過去問題例…………… 95~110

■ 個人情報の取扱いについて

出願にあたってご記入いただいた住所・氏名・生年月日・性別・音楽歴等の個人情報は
①入学試験の実施及び結果の通知
②大学の情報等の送付業務(発送業務の外部委託を含む)の目的に限り使用致します。
出願された方からの照会や訂正・削除を希望される場合には、速やかに対応致しますので
入試センターまでご連絡ください。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

▶建学の精神

「若き学徒をして、真の人生の目的に目覚めさせ、さらに人間の天職を悟らせ、謙虚にして慈愛に充ちた心情（謙愛の徳）を養い、気品高く、かつ実行力に富む有為な人物を育成する」

▶目的

本学は教育基本法及び学校教育法にのっとり、深く専門の学芸を教授研究し、その応用的能力を展開させるとともに、幅広く深い教養を培い、建学の精神に基づいて人格を陶冶し、謙愛の徳を備え、気品高く、国際的視野に立ち、実行力に富む人材を育成し、もって文化の向上に寄与することを目的とします。

▶人材養成及び教育研究上の目的

音楽学部は、音楽の探求により、高い芸術性、専門分野の知識・技術を修得するとともに、日々の地道な研鑽を積み重ねる中、個性と創造性を発揮しながら「主体的な学び」を実践することで、人生の目的、本当の自分を見出し、豊かな人間性と実行力を備え自立した人間を育成することを目的とし、次の各号にかかげる事項を教育目標とします。

- (1) 音楽家としての基本的な演奏技術・表現技法を修得し、プロフェッショナルを目指すアーティストとしてスタートラインに立てる水準に達すること。
- (2) 世界の様々な地域、民族、時代の音楽を受容し理解することで、豊かなイマジネーションを醸成し、幅広い視野を持った人材となること。
- (3) 数多くの演奏会の企画・運営・実施に参加することで、実践を通して実社会への適応力、問題解決力、コミュニケーション能力を培うこと。
- (4) 教育指導者として、音楽を通じ、情熱と感動をもって次代を育てる教育知識・技術を修得し、豊かな人間性を涵養すること。

▶入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

◎大学

本学は、「理想高遠 実行卑近」を建学の精神とし、「主体的な学び」を実践することで、豊かな人間性と実行力を備え自立した人間を育成することを目的としています。

建学の精神と教育目的を理解し、音楽の探求により、高い芸術性、専門分野の知識・技術を修得するとともに、自らの演奏・表現能力を高める意欲を持つ人材を、広く求めます。

◎音楽学部

- (1) 基本的な演奏技術・表現技法を有し、将来的にプロフェッショナルを目指す人材、及び音楽を深く愛し、自己の研鑽に意欲的である人材。
- (2) 主体的に学ぶ姿勢を持ち、世界の様々な地域、民族、時代の音楽を受容し、理解しようとする人材。
- (3) 仲間とともに数多くの演奏会・公演の企画・運営・実施に参加し、実践を通して実社会への適応力、問題解決力、コミュニケーション能力を習得しようとする人材。
- (4) 音楽に対する強い情熱と感動を持ち、指導者として必要な知識・技術・人間性を身につけようとする人材。

入試区分と選考方針

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）を踏まえて、本学の入学者選抜の入試区分と選考方針は次の通りです。

入 試 区 分	選 考 方 針
総 合 型 選 抜	本学を専願とし、建学の精神、目的、人材養成及び教育研究上の目的を充分理解し深く共感する者を対象とする。大学教育を受けるために必要な「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を適切に判断するために、実技試験、学力試験、自己アピール形式で行う面談による審査を、場合によっては複数回行い、調査書・入学希望理由書の活用も含めて、一般選抜では判断しがたい受験生の能力や意欲、将来性などを、総合的に審査・評価する。
一 般 選 抜	本学の建学の精神・目的・人材養成及び教育研究上の目的を理解する者を広く対象とする。実技試験、学力試験を通して、大学教育を受けるために必要な「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」及び本学での学習に必要な基礎的な音楽的能力と知識を測定し、面接、出願書類（調査書・入学希望理由書等）も含めて総合的に選考する。

各コースの入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）を踏まえて、本学の各コースが具体的に求める人材は次の通りです。

作曲	作品を書く基礎となる、和声学を始めとした正格な各種書法の訓練を根気強く続けることの出来る学習意欲、かつ創造性に根ざした創作意欲のある人材。
音楽・音響デザイン	現代のミュージック・シーンにおける作曲、編曲、録音、映像演出など音楽制作に関わる分野に深い関心を持ち、ミュージッククリエイターとして、必要な知識と技術の習得に強い意欲を持って取り組むことが出来る人材。
ピアノ	基礎的な演奏技術を有し、数あるピアノ作品に対し深い探究心を持つ者で、本学の幅広い音楽環境にて研鑽を積み、更なる技術の向上を目指し、演奏、教育の面で社会に貢献できるようになりたいという熱意と夢を持つ人材。
管楽器	基礎的な演奏能力を有し、より高度な演奏技術や知識、教養に対し深い探究心を持っている者で、ソロ演奏へ取り組むのはもちろん、吹奏楽・オーケストラ・室内楽等、合奏においても実践的な合奏技術の習得に意欲的に取り組み、プロ演奏家や指導者として活躍する夢と希望を持った人材。
弦楽器	基礎的な演奏能力を有し、レッスンや、弦楽合奏・オーケストラ・室内楽等の合奏授業を通し、各楽器のより高度な奏法・知識そして、音楽家としての教養を深めることに意欲を持って取り組むことが出来る人材。
打楽器	基礎的な演奏能力を有し、高度な演奏技術を身に付けることや知識、教養を深めることに意欲があり、吹奏楽・オーケストラ・室内楽等、合奏を経験し、アンサンブルの技術の習得に意欲を持って取り組むことが出来る人材。
電子オルガン	基礎的な演奏能力と即興能力を有し、クラシックからポピュラーまで幅広いジャンルに興味を持ち、演奏技術と音楽理論の高度な専門性と、音楽表現の可能性についての幅広い視野とスキルを身に付けることを目指す人材。
ジャズ & アメリカンミュージック	アメリカンミュージック全般において、ジャズを習得しながら自分本来の個性と自由な音楽を発展させるという意志を持ち、演奏能力や幅広い音楽性を身につけたいという希望を持った人材。
現代邦楽	邦楽に関する基礎的な知識と高度な演奏能力を有し、日本の伝統音楽を通じて積極的に社会と関わり、音楽文化の発展に貢献しうる演奏家や教育者を目指す人材。
ロック&ポップス	基礎的な演奏能力を有し、周りとの協調性を保ちつつミュージシャンに必要な個性をアピール出来る者で、様々なジャンルの音楽や楽器（パート）の知識、経験の習得に積極的に取り組むことが出来る人材。
声楽	基礎的な知識と歌唱力を有し、声楽を中心とした音楽芸術に興味を持つ者で、表現力や技術力を磨き、将来、演奏家、合唱指導者や教育者として、我が国のみならず国際的なレベルでも活躍し、広く社会に貢献することを目指す人材。
ミュージカル	ミュージカルを中心とした舞台芸術に関心を持ち、舞台人として必要な資質と可能性を持つ者で、将来幅広く世界で通用するプロフェッショナルなミュージカル俳優を目指す人材。
バレエ	バレエを中心とした舞台芸術に関心を持ち、舞台人として必要な資質と可能性を持つ者で、将来幅広く世界で通用するプロフェッショナルなダンサーを目指す人材。
ダンス	ダンスを中心とした舞台芸術に関心を持ち、舞台人として必要な資質と可能性を持つ者で、将来幅広く世界で通用するプロフェッショナルなダンサーを目指す人材。
ワールドミュージック	基礎的な演奏能力を有し、より高度な演奏技術、表現力の習得へ向けて研鑽を積み、新たな音楽の可能性を探究することができる人材。
声優アニメソング	アニメーションを中心とする日本独自の芸術文化に興味を持ち、声優アニメソングのアーティストとして活躍するために、「音声」を軸とした表現力の獲得に強い意欲を持って取り組むことが出来る人材。
音楽教育	中学校・高等学校の音楽教員、その他、学校教育や生涯学習及び周辺業界に深い関心を持ち、音楽を通じた教育活動やコミュニケーション活動の企画や実践を推進するための知識や技術の修得に、強い意欲を持って取り組むことが出来る人材。
音楽環境創造	舞台芸術における音響、照明、配信、舞台監督、スタッフワーク、マネジメントなど制作に関わる分野に強い関心を持ち、新しいテクノロジーに柔軟に対応できる舞台人として、音楽を中心とした文化芸術の環境創造を志す人材。
メディアアーツ	現代の映像コンテンツ制作に深い関心があり、映像・音楽クリエイターとして必要な知識と技術の修得に意欲を持ち、長期にわたる制作業務に真摯に取り組む事が出来る人材。

感染症予防に関する受験生の皆さまへのお願い

- ①入学試験当日までに、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（COVID-19、インフルエンザ、麻疹、風疹等）に罹患し医師が治癒したと診断していない受験生は、他の受験生や監督者等への感染の恐れがあるため、原則受験をご遠慮いただきます。
- ②試験会場に備え付けの消毒剤等で、手指のアルコール消毒をこまめに行ってください。
- ③試験日の1週間程度前から、朝などに検温を行い、体調変化の有無を確認してください。発熱・咳等の症状がある受験生は、予め医療機関で受診をしてください。
- ④試験日の前から継続して発熱・咳等の症状がある場合、また、試験当日に息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合は、当初予定していた試験日程ではなく、別の日程・別の入試区分で受験を検討してください。
- ⑤試験会場への入場者数や集団の形成を極力抑制する観点から、受験生及び助演者以外の保護者等は、集合場所・試験会場及び練習室への立ち入りはできません。また、保護者控室の準備はありませんので、予めご了承ください。

入試説明動画について

洗足学園音楽大学のホームページで、以下の動画をご覧いただくことが可能です。

オンライン受験説明動画

<https://www.senzoku.ac.jp/music/admission/movie>



各入試区分の募集人員・入試日程

入試区分	募集人員	出願期間(Web出願) ^{*1}	入学試験日	合格発表	入学手続期間 ^{*2}		
総合型選抜	第1回	410名	9月1日(日)～9月5日(木) 出願書類の送付:郵送(消印有効)	9月21日(土)・ 22日(日)	11月1日(金)	11月2日(土)～11月13日(水)	
	第2回		9月1日(日)～10月2日(水) 出願書類の送付:郵送(消印有効)	10月20日(日)・ 19日(土) ^{*3}			
	第3回		9月1日(日)～11月6日(水) 出願書類の送付:郵送(消印有効)	11月23日(土)・ 24日(日)	12月1日(日)		12月2日(月)～12月11日(水)
	第4回		9月1日(日)～12月8日(日) 出願書類の送付:郵送(消印有効)	12月26日(木)	12月28日(土)		12月29日(日)～1月15日(水)
	第5回		9月1日(日)～1月23日(木) 出願書類の送付:郵送(消印有効)	2月8日(土)・ 9日(日)	2月15日(土)		2月16日(日)～2月25日(火)
一般選抜	A日程	20名	1月7日(火)～1月23日(木) 出願書類の送付:郵送(消印有効)	2月8日(土)・ 9日(日)	2月15日(土)	2月16日(日)～2月25日(火)	
	B日程 ^{*4}	若干名	2月13日(木)～2月25日(火) 出願書類の送付:郵送(必着)	3月6日(木)・ 7日(金)	3月10日(月)	3月11日(火)～3月18日(火)	

- ※1 Web出願の入力は、各出願期間最終日の21時まで、入学検定料の支払いは24時まで可能です。
Web出願(大学出願ネット)の事前登録は、8月頃から可能です。
必要書類が揃っていない場合は、希望の受験日に受験できないことがあります。
日本国外から出願する場合は、出願期間内に書類が到着するよう、余裕をもって発送してください。
また、総合型選抜第5回・一般選抜A日程・一般選抜B日程に出願予定の外国籍の方は、出願時点で大学入学に支障のない在留資格(留学等)を取得していることが条件となります。
- ※2 入学手続期間中に、入学手続時納入金の納入及び入学手続書類の提出等が必要です(P.27参照)。
- ※3 音楽・音響デザインコース・ロック&ポップスコースのみ、19日・20日の両日、もしくはどちらか1日の実施となる場合があります。それ以外のコースは、20日の実施となります。
- ※4 募集人員に達した場合、一般選抜B日程は実施しない可能性があります。実施の有無は、12月中に本学ホームページで発表します。また、一部のコースに限定して入試を行う可能性もありますので、必ずご確認をお願い致します。

募集コース

■作曲

■音楽・音響デザイン

■ピアノ

■管楽器

フルート／オーボエ／クラリネット
ファゴット／サクソフォーン
ホルン／トランペット／トロンボーン／ユーフォニアム
テューバ

■弦楽器

ヴァイオリン／ヴィオラ／チェロ
コントラバス／ハーブ

■打楽器

■電子オルガン

■ジャズ&アメリカンミュージック

フルート／クラリネット／サクソフォーン
トランペット／トロンボーン
ギター／ピアノ／ベース／ドラム
その他の楽器(ヴォーカル含む)
※上記以外でも、全ての楽器で募集を行います。詳しくは、
入試センターまでお問い合わせください。

■現代邦楽

箏／三味線／尺八
横笛／和太鼓／邦楽打楽器
琵琶／その他の楽器

■ロック&ポップス

ヴォーカル／ギター／ベース
ドラム／パーカッション／キーボード
シンガーソングライター／その他の楽器

■声楽

■ミュージカル

■バレエ

■ダンス

■ワールドミュージック

クラシックギター／チェンバロ
アコーディオン／バンドネオン／二胡／マンドリン
フラットマンドリン／フラメンコギター／
バンジョー(5弦)／ドブロギター／ウード
ウクレレ／リコーダー／ハーモニカ／オカリナ
ケーナ／サンポーニャ／ダラブッカ／レック／タール
ジェンベ／ジュンジュン／タブラ
モジュラーシンセサイザー 等

■声優アニメソング

■音楽教育

■音楽環境創造

■メディアアーツ

出願から入学手続までの流れ

洗足学園音楽大学の入学試験の出願方法は、Web出願のみです。出願から入学手続までの流れは、以下の通りです。

Step 1 出願資格の確認

本要項のP.16で、出願資格を確認してください。

Step 2 入試情報サイトにアクセス

本学ホームページの入試情報サイトにアクセスしてください。

ホームページトップ⇒入試案内⇒Web出願

<https://www.senzoku.ac.jp/music/admission>

「大学出願ネット」のページに移動します。

※大学出願ネットは、株式会社スクールパートナーズが運営するWeb出願サービスです。

※Web出願の詳細は、P.18～21を確認してください。

Step 3 新規出願登録

「大学出願ネット」から新規出願登録を行ってください。メールアドレス、個人情報の登録、顔写真データのアップロード、出願情報の登録等が必要です。

Step 4 入学検定料の支払い

コンビニエンスストア、クレジットカード、銀聯カード、Pay-easyのいずれかで支払いを行ってください。

Step 5 必要書類の郵送

出願資格を証明する書類(調査書等)、志願確認票、楽譜(必要なコースのみ)等を郵送してください。

Step 6 受験票の発行

受験票を印刷の上、入試当日に持参してください。

Step 7 受 験

Step 8 合格発表

合格発表日の13時に、大学出願ネットの「出願状況の確認」から合否確認を行うことができます。

Step 9 入学手続

手続期間内に学納金の納入を行い、入学手続書類を提出してください。

1 総合型選抜概要

募集人員	410名
出願資格	音楽に強い研究心と情熱を持ち、技術・知識の向上心旺盛な、本学音楽学部を第一志望とする者(専願に限る・辞退不可) ※出願資格詳細は、P.16をご確認ください。
募集コース	<ul style="list-style-type: none"> ■ 作曲 ■ 音楽・音響デザイン ■ ピアノ ※ピアノ & 作曲マスタークラス及びピアノ・プロフェッショナル・パフォーマンスクラスの募集も行います。 ■ 管楽器 (木管) フルート/オーボエ/クラリネット/ファゴット/サクソフォーン (ピッコロ、バスクラリネット、ソプラノサクソフォーン、テナーサクソフォーン、バリトンサクソフォーン等でも受験可) ※吹奏楽指導者マスタークラスの募集も行います。 ■ 管楽器 (金管) ホルン/トランペット/トロンボーン/バストロンボーン/ユーフォニアム/テューバ ※吹奏楽指導者マスタークラスの募集も行います。 ■ 弦楽器 ヴァイオリン/ヴィオラ/チェロ/コントラバス/ハープ ※吹奏楽指導者マスタークラスの募集も行います。 ■ 打楽器 ※吹奏楽指導者マスタークラスの募集も行います。 ■ 電子オルガン ■ ジャズ&アメリカンミュージック フルート/クラリネット/サクソフォーン/トランペット/トロンボーン/ギター/ピアノ/ベース/ドラム/その他の楽器(ヴォーカル含む) ※上記以外でも、全ての楽器で募集を行います。詳しくは、入試センターまで、お問い合わせください。 ■ 現代邦楽 箏/三味線/尺八/横笛/和太鼓/邦楽打楽器/琵琶/その他の楽器 ■ ロック&ポップス ヴォーカル/ギター^{*1}/ベース^{*2}/ドラム/パーカッション^{*3}/キーボード/シンガーソングライター/その他の楽器 ■ 声楽 ■ ミュージカル ■ バレエ ■ ダンス ■ ワールドミュージック クラシックギター/チェンバロ/アコーディオン/バンドネオン/二胡/マンドリン/フラットマンドリン/フラメンコギター/バンジョー(5弦)/ドブログuitar/ウード/ウクレレ/リコーダー/ハーモニカ/オカリナ/ケーナ/サンポーニャ/ダラブッカ/レック/タール/ジェンベ/ジュンジュン/タブラ/モジュラーシンセサイザー 等 ■ 声優アニメソング ■ 音楽教育 ■ 音楽環境創造 ■ メディアアーツ
受験方法	<p>通常入試(対面式)またはオンライン入試の選択が可能です。</p> <p>※出願時に、受験方法を選択してください。</p> <p>※ロック&ポップスコースは、通常入試(対面式)のみの実施となります。</p>

※1 エレクトリック・ギターまたはスティール弦のアコースティック・ギターに限定

※2 エレクトリック・ベースに限定

※3 コンガ、ティンパレス、ジェンベ、カホンに限定

総合型選抜日程

入試区分	出願開始 ^{※1}	出願締切 ^{※2} 出願方法：Web出願 出願書類の送付：郵送(消印有効)	入学試験日 ^{※3}	合格発表	入学手続期間 ^{※5}
第1回	2024年 9月1日(日)	2024年 9月 5日(木)	2024年 9月21日(土)・ 22日(日)	2024年11月 1日(金)	2024年11月 2日(土) ～11月13日(水)
第2回		2024年10月 2日(水)	2024年10月20日(日)・ 19日(土) ^{※4}		
第3回		2024年11月 6日(水)	2024年11月23日(土)・ 24日(日)	2024年12月 1日(日)	2024年12月 2日(月) ～12月11日(水)
第4回		2024年12月 8日(日)	2024年12月26日(木)	2024年12月28日(土)	2024年12月29日(日) ～2025年 1月15日(水)
第5回		2025年 1月23日(木)	2025年 2月 8日(土)・ 9日(日)	2025年 2月15日(土)	2025年 2月16日(日) ～ 2月25日(火)

※1 Web出願(大学出願ネット)への事前登録は、8月頃から可能です。

※2 Web出願の入力は、各出願期間最終日の21時まで、入学検定料の支払いは24時まで可能です。

必要書類が揃っていない場合は、希望の受験日に受験できないことがあります。

日本国外から出願する場合は、出願期間内に書類が到着するよう、余裕をもって発送してください。

また、総合型選抜第5回に出願予定の外国籍の方は、出願時点で大学入学に支障のない在留資格(留学等)を取得していることが条件となります。

※3 受験日は、本学が指定します。

※4 音楽・音響デザインコース・ロック＆ポップスコースのみ、19日・20日の両日、もしくはどちらか1日の実施となる場合があります。それ以外のコースは、20日の実施となります。

※5 入学手続期間中に、入学手続時納入金の納入及び必要書類の提出等が必要です(P.27参照)。

オンライン入試を選択した場合は、以下の期日までにコース別専門実技の動画提出が必要です。

入試区分	受験用Googleアカウント・ 動画提出用クラスコード 通知日程	動画提出期限 ^{※1}	面談・楽典・聴音等のオンライン試験日 ^{※2}
第1回	2024年 9月10日(火)	2024年 9月13日(金) 午前9時	2024年 9月21日(土)・22日(日)
第2回	2024年10月 4日(金)	2024年10月 9日(水) 午前9時	2024年10月20日(日)・19日(土) ^{※3}
第3回	2024年11月11日(月)	2024年11月15日(金) 午前9時	2024年11月23日(土)・24日(日)
第4回	2024年12月11日(水)	2024年12月16日(月) 午前9時	2024年12月26日(木)
第5回	2025年 1月28日(火)	2025年 1月31日(金) 午前9時	2025年 2月 8日(土)・9日(日)

※1 再審査で受験する場合の動画提出期限も、同様の日程です。

※2 各コースの試験科目は、P.29～P.78を確認してください。

※3 音楽・音響デザインコースのみ、19日・20日の両日、もしくはどちらか1日の実施となる場合があります。それ以外のコースは、20日の実施となります。

総合型選抜 出願から合格までのプロセス

出願

出願期間 2024年9月1日(日)～2025年1月23日(木)

入試日程・出願期間等を確認の上、出願期間内にWeb出願を行ってください。Web出願の登録（入力）、検定料の支払い、必要書類の送付（高校の調査書・必要なコースは楽譜等）が全て完了した時点で、出願完了となります。また、出願時に入学希望理由書の提出（データのアップロード）が必要です。

受験

試験日 ① 9/21(土)・22(日) ② 10/20(日)・19(土)^{*1} ③ 11/23(土)・24(日) ④ 12/26(木) ⑤ 2/8(土)・9(日)

試験は、①～⑤より選択が可能です。 ※試験日が複数ある場合の受験日程は、本学が指定します。

受験方法は、**通常入試（対面式）またはオンライン入試の選択が可能です。**

※ロック&ポップスコースは、通常入試（対面式）のみの実施となります。

試験科目は、以下の4科目です。

- 専門実技** 現在の演奏・表現技術や作品の完成度だけでなく、潜在能力、将来性などを総合的に判定します。
- 面談** 自己アピールを中心に、その内容について個別で面談を行います。
- 楽典** 音楽大学で学んでいく上で、最低限必要とされる知識・能力を備えているかを判定します。
- 聴音** ※本学で実施の「楽典・聴音検定」で認定された場合は、免除となります。
※バリエコース、ダンスコース、声優アニメソングコース、音楽環境創造コース、メディアアーツコースは楽典・聴音の試験がありません。
※ジャズ&アメリカンミュージックコース、音楽・音響デザインコース、ミュージカルコースは聴音の試験がありません。
※声楽コースは、聴音またはコールユーブンゲンのどちらか1科目を選択してください。

合格発表

合格

不合格

※再審査

再審査日

① 10/20(日)・19(土)^{*1} ② 11/23(土)・24(日) ③ 12/26(木) ④ 2/8(土)・9(日)

より良い成績を期待し、再審査を設定する場合があります（特に問題なしと判定された科目は免除となります）。実技試験の際に受けたアドバイス等を基に更に努力してください。なお、再審査の日時については本学が指定します。第1回の受験者については、試験後、1週間から10日程度で再審査に関するお知らせを通知します。

※再審査となった場合、追加の検定料・書類の再提出は不要です。

※1 音楽・音響デザインコース・ロック&ポップスコースのみ、19日・20日の両日、もしくはどちらか1日の実施となる場合があります。それ以外のコースは、20日のみの実施となります。

選考方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. コース別専門実技 (P.29～78参照) 2. 面談 3. 楽典* 4. 聴音* (声楽コース希望者は聴音・コールユーブンゲンのどちらか1科目を選択。P.60～61参照。なお、選択した科目は審査期間中変更不可。) <p>*本学で実施している「楽典・聴音検定」で認定された場合は、免除となります。 *楽典・聴音を実施しないコースがあります。詳しくは、コース別試験科目を確認してください。 *1科目でも欠席した場合は、不合格となります。</p>
合否判定の方針	<p>選考方針を踏まえ、実技・楽典・聴音及び面談、並びに出身学校長から提出された調査書等・志願者本人が記入した入学希望理由書の内容を、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）と照らし合わせ、総合的に審査の上、合否判定を行います。</p>
試験会場	本学（対面式を選択した場合）
入学検定料	20,000円 ※別途、手数料550円が必要です。
合格発表	<p>合格発表は、各入試区分の合格発表日に「大学出願ネット」を通じて行います。 ※合否に関する電話等でのお問い合わせには、一切応じることができません。</p>

2 一般選抜 A日程 試験概要

募集人員	20名
募集コース	<ul style="list-style-type: none"> ■ 作曲 ■ 音楽・音響デザイン ■ ピアノ ※ピアノ&作曲マスタークラス及びピアノ・プロフェッショナル・パフォーマンスクラスの募集も行います。 ■ 管楽器(木管) フルート/オーボエ/クラリネット/ファゴット/サクソフォーン ※吹奏楽指導者マスタークラスの募集も行います。 ■ 管楽器(金管) ホルン/トランペット/トロンボーン/ユーフォニアム/テューバ ※吹奏楽指導者マスタークラスの募集も行います。 ■ 弦楽器 ヴァイオリン/ヴィオラ/チェロ/コントラバス/ハープ ※吹奏楽指導者マスタークラスの募集も行います。 ■ 打楽器 ※吹奏楽指導者マスタークラスの募集も行います。 ■ 電子オルガン ■ ジャズ&アメリカンミュージック フルート/クラリネット/サクソフォーン/トランペット/トロンボーン/ギター/ピアノ/ベース/ドラム/その他の楽器(ヴォーカル含む) ※上記以外でも、全ての楽器で募集を行います。詳しくは、入試センターまで、お問い合わせください。 ■ 現代邦楽 箏/三味線/尺八/横笛/和太鼓/邦楽打楽器/琵琶/その他の楽器 ■ ロック&ポップス ヴォーカル/ギター/ベース/ドラム/パーカッション*/キーボード/シンガーソングライター ※パーカッションはコンガ・ティンパレス・ジェンベ・カホンに限定 ■ 声楽 ■ ミュージカル ■ バレエ ■ ダンス ■ ワールドミュージック クラシックギター/チェンバロ/アコーディオン/バンドネオン/二胡/マンドリン/フラットマンドリン/フラメンコギター/バンジョー(5弦)/ドブログuitar/ウード/ウクレレ/リコーダー/ハーモニカ/オカリナ/ケーナ/サンポーニャ/ドラブッカ/レック/タール/ジェンベ/ジュンジュン/タブラ/モジュラーシンセサイザー 等 ■ 声優アニメソング ■ 音楽教育 ■ 音楽環境創造 ■ メディアアーツ
選考方法	<p>コース別試験科目(P.29～78参照)</p> <p>※1科目でも欠席した場合は、不合格となります。</p>
合否判定の方針	<p>選考方針を踏まえ、実技・楽典・聴音及び面接、並びに出身学校長から提出された調査書等・志願者本人が記入した入学希望理由書の内容を、入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)と照らし合わせ、総合的に審査の上、合否判定を行います。</p>
受験方法	<p>通常入試(対面式)またはオンライン入試の選択が可能です。</p> <p>※出願時に、受験方法を選択してください。</p> <p>※ロック&ポップスコースは、通常入試(対面式)のみの実施となります。</p>
入学検定料	20,000円 ※別途、手数料550円が必要です。
他コース同時受験	<p>以下のコース間に限り、併願が可能です。</p> <p>・ロック&ポップスコース⇄音楽・音響デザインコースまたはジャズ&アメリカンミュージックコースまたはミュージカルコース</p> <p>※Web出願時に、「第一志望」「第二志望」をそれぞれ選択してください。</p> <p>第一志望、第二志望ともに合格した場合は、第一志望のみ合格発表を行います。</p> <p>(注意) 他コース同時受験を希望する場合、志望するコースの専門試験科目をすべて受験すること。</p> <p>①楽典・聴音については複数回受験する必要はありません。</p> <p>②第一志望と第二志望の専門実技の曲目が同一であっても、それぞれ受験する必要があります。</p>

一般選抜A日程 試験日程

出願期間 ^{※1} 出願方法:Web出願 出願書類の送付:郵送(消印有効)	入学試験日 ^{※2}	合格発表	入学手続期間 ^{※3}
2025年1月7日(火)～1月23日(木)	2025年2月8日(土)・9日(日)	2025年2月15日(土)	2025年2月16日(日)～2月25日(火)

- ※1 Web出願の入力は、各出願期間最終日の21時まで、入学検定料の支払いは24時まで可能です。
 一般選抜A日程に出願予定の外国籍の方は、出願時点で大学入学に支障のない在留資格(留学等)を取得していることが条件となります。
- ※2 受験日は、本学が指定します。また、試験日程については、1月24日(金)以降に本学ホームページで発表します(電話等でのお問い合わせには応じることができません)。
- ※3 入学手続期間中に、入学手続時納入金の納入及び必要書類の提出等が必要です(P.27参照)。

オンライン入試を選択した場合は、以下の期日までにコース別専門実技の動画提出が必要です。

受験用Googleアカウント・ 動画提出用クラスコード 通知日程	動画提出期限	面接・楽典・聴音等のオンライン試験日 ^{※1}
2025年1月28日(火)	2025年1月31日(金) 午前9時	2025年2月8日(土)・9日(日)

- ※1 各コースの試験科目は、P.29～78を確認してください。

3 一般選抜 B日程 試験概要

募集人員に達した場合、一般選抜B日程は実施しない可能性があります。実施の有無は、12月中に本学ホームページで発表します。また、一部のコースに限定して入試を行う可能性もありますので、必ずご確認をお願い致します。

募集人員	若干名
募集コース	<ul style="list-style-type: none"> ■ 作曲 ■ 音楽・音響デザイン ■ ピアノ ■ 管楽器 (木管) フルート／オーボエ／クラリネット／ファゴット／サクソフォン (ピッコロ、バスクラリネット、ソプラノサクソフォン、テナーサクソフォン、バリトンサクソフォン等でも受験可) ※吹奏楽指導者マスタークラスの募集も行います。 ■ 管楽器 (金管) ホルン／トランペット／トロンボーン／ユーフォニアム／テューバ ※吹奏楽指導者マスタークラスの募集も行います。 ■ 弦楽器 ヴァイオリン／ヴィオラ／チェロ／コントラバス／ハープ ※吹奏楽指導者マスタークラスの募集も行います。 ■ 打楽器 ※吹奏楽指導者マスタークラスの募集も行います。 ■ 電子オルガン ■ ジャズ&アメリカンミュージック フルート／クラリネット／サクソフォン／トランペット／トロンボーン／ギター／ピアノ／ベース／ドラム／その他の楽器 (ヴォーカル含む) ※上記以外でも、全ての楽器で募集を行います。詳しくは、入試センターまで、お問い合わせください。 ■ 現代邦楽 箏／三味線／尺八／横笛／和太鼓／邦楽打楽器／琵琶／その他の楽器 ■ ロック&ポップス ヴォーカル／ギター／ベース／ドラム／パーカッション*／キーボード／シンガーソングライター ※パーカッションはコンガ・ティンバレス・ジェンベ・カホンに限定 ■ 声楽 ■ ミュージカル ■ バレエ ■ ダンス ■ ワールドミュージック クラシックギター／チェンバロ／アコーディオン／バンドネオン／二胡／マンドリン／フラットマンドリン／フラメンコギター／バンジョー (5弦)／ドブロギター／ウード／ウクレレ／リコーダー／ハーモニカ／オカリナ／ケーナ／サンポーニャ／ドラブッカ／レック／タール／ジェンベ／ジュンジュン／タブラ／モジュラーシンセサイザー 等 ■ 声優アニメソング ■ 音楽教育 ■ 音楽環境創造 ■ メディアアーツ
選考方法	<p>コース別試験科目 (P.29～78参照)</p> <p>※1科目でも欠席した場合は、不合格となります。</p>
合否判定の方針	<p>選考方針を踏まえ、実技・楽典及び面接、並びに出身学校長から提出された調査書等・志願者本人が記入した入学希望理由書の内容を、入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー) と照らし合わせ、総合的に審査の上、合否判定を行います。</p>
受験方法	通常入試 (対面式) のみ
入学検定料	20,000円 ※別途、手数料550円が必要です。
他コース同時受験	<p>以下のコース間に限り、併願が可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロック&ポップスコース⇔音楽・音響デザインコースまたはジャズ&アメリカンミュージックコースまたはミュージカルコース <p>※Web出願時に、「第一志望」「第二志望」をそれぞれ選択してください。</p> <p>第一志望、第二志望ともに合格した場合は、第一志望のみ合格発表を行います。</p> <p>(注意) 他コース同時受験を希望する場合、志望するコースの専門試験科目をすべて受験すること。</p> <p>①楽典については複数回受験する必要はありません。</p> <p>②第一志望と第二志望の専門実技の曲目が同一であっても、それぞれ受験する必要があります。</p>

一般選抜B日程 試験日程

出願期間 ^{※1} 出願方法：Web出願 出願書類の送付：郵送必着	入学試験日 ^{※2}	合格発表	入学手続期間 ^{※3}
2025年2月13日(木)～2月25日(火)	2025年3月6日(木)・7日(金)	2025年3月10日(月)	2025年3月11日(火)～3月18日(火)

- ※1 Web出願の入力は、各出願期間最終日の21時まで、入学検定料の支払いは24時まで可能です。
一般選抜B日程に出願予定の外国籍の方は、出願時点で大学入学に支障のない在留資格(留学等)を取得していることが条件となります。
- ※2 受験日は、本学が指定します。また、試験日程については、2月26日(水)以降に本学ホームページで発表します(電話等でのお問い合わせには応じることができません)。
- ※3 入学手続期間中に、入学手続時納入金の納入及び必要書類の提出等が必要です(P.27参照)。

4 受験方法について

受験方法は、通常入試(対面式)またはオンライン入試のどちらかを選択することが可能です。*

※一般選抜B日程は、通常入試(対面式)のみの実施となります。

- Web出願の際に、通常入試(対面式)またはオンライン入試を選択していただきます。
※ロック&ポップスコースは、通常入試(対面式)のみの実施となります。
- 入試科目ごとに、受験方法を選択することはできません。
- 試験当日の集合時刻等は、試験2日前までにWeb出願システム(大学出願ネット)を通じてお知らせします。試験は、午前8時30分～午後6時の間で実施される予定です(出願状況によっては、多少前後する可能性があります)。

通常入試(対面式)で受験する場合

コース別専門実技

P.29以降のコース別専門実技課題を確認の上、指定された集合時刻・教室に集合してください。

面談・面接

指定された集合時刻・教室に集合してください。

楽典・基礎知識(該当コースのみ)

通常入試(対面式)・オンライン入試共通の入試問題となります。

1. 試験の実施方法及び受験方法

- ① スマートフォンまたはタブレットを利用して解答していただきます。試験当日は、自分のスマートフォンまたはタブレットを必ず持参してください。
- ② 試験開始時に、試験問題へアクセスするためのURL等を提示します。
- ③ 試験監督員の指示に従い、試験を開始してください。

2. 試験当日の持ち物等

- ① 受験票
- ② スマートフォンまたはタブレット
- ③ 筆記用具

3. 受験に関する注意事項

- 試験実施中、試験画面以外の閲覧は禁止します。
- 試験画面の録画及びスクリーンショットの使用は禁止します。
- 不審な動き等が確認された場合は、失格となります。

4. その他

- 試験会場では、本学指定のネットワーク(Wi-Fi)に接続して受験していただきます。
- 原則、試験会場の電源は利用することができません。スマートフォン・タブレットは、バッテリー残量が十分な状態で受験してください。
- やむを得ない事情により、スマートフォンまたはタブレットを持参することができない場合は、本学で用意した機器で受験することが可能です。その場合は、各入試区分の出願締切日までに、入試センターまでお知らせください。

聴音 (該当コースのみ)

通常入試 (対面式)・オンライン入試共通の入試問題となります。

1. 試験の実施方法及び受験方法

- ① 当日配布する五線紙に、解答を記入していただきます。
- ② 試験監督員の指示に従い、試験を開始してください。

2. 試験当日の持ち物等

- ① 受験票
- ② 筆記用具
- ③ 定規

小論文 (該当コースのみ)

通常入試 (対面式)・オンライン入試共通の入試問題となります。

1. 試験の実施方法及び受験方法

- ① 当日配布する原稿用紙に、解答を記入していただきます。
- ② 試験監督員の指示に従い、試験を開始してください。

2. 試験当日の持ち物等

- ① 受験票
- ② 筆記用具

オンラインで受験する場合

本学ホームページで、オンライン受験に関する動画をご覧いただくことが可能です。

<https://www.senzoku.ac.jp/music/admission/movie>

※オンライン入試の受験方法詳細は、P.86～94を確認してください。

※ロック&ポップスコースは、通常入試 (対面式) のみの実施となります。



コース別専門実技

動画審査^{*}となります。各入試区分における動画の提出期限は、以下のページを確認してください。

- ・総合型選抜 P.8
- ・一般選抜A日程 P.11

※一部のコースは除く

面談・面接

受験生の自宅または高校等から、スマートフォン・タブレット・パソコンのいずれかを利用して受験していただきます。試験中に第三者が立ち入らない、静かな環境を確保してください。

楽典・聴音・小論文・基礎知識等 (該当コースのみ)

受験生の自宅または高校等から、パソコンを利用して受験していただきます。試験中に第三者が立ち入らない、静かな環境を確保してください。

※楽典・聴音・小論文・基礎知識等の試験では、スマートフォン・タブレットの利用は認められません。

5 出願資格及び出願資格を証明する書類

出願資格	出願資格を証明する書類	注意事項
1 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）または中等教育学校を卒業した者及び2025年3月卒業見込みの者	出身学校長が作成した「調査書」 ※開封されたものは無効	高等学校等の卒業生も、「調査書」を提出してください。保存期間終了等の理由により調査書が発行されない場合は、「卒業証明書」及び発行されない理由が記載された書類を提出してください。
2 高等専門学校の第3学年を修了した者及び2025年3月修了見込みの者	出身学校長が作成した「調査書」 ※開封されたものは無効	
3 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、または2025年3月31日までにこれに該当する見込みの者		
①外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者(注1)	①卒業(見込)証明書または、 修了(見込)証明書 ②成績証明書 ※①が発行できない場合は、卒業証書の「原本証明がなされたコピー (certified true copy)」を提出してください(注2)	①②両方を提出してください。 日本の高等学校にも在籍した場合は、左記①②に加えて、日本の高等学校在学中の成績証明書(調査書)も提出してください。 ※P.23の記載事項も必ず確認してください。
②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者	出身学校長が作成した「調査書」 ※開封されたものは無効	
③専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者	①卒業(見込)証明書または、 修了(見込)証明書 ②成績証明書	①②両方を提出してください。 出身学校長が作成する「調査書」がある場合は、①②に代えて提出してください。
④文部科学大臣の指定した者 a. 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベルを保有する者 b. 国際的な評価団体(WASC、CIS、ACSI、NEASC)の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者、または2025年3月31日までに修了見込みの者	a. 資格証明書 b. ①修了(見込)証明書 及び ②成績証明書	日本の高等学校にも在籍した場合は、左記に加えて、日本の高等学校在学中の成績証明書(調査書)も提出してください。
⑤高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧大学入学資格検定に合格した者を含む)及び2025年3月31日までに合格見込みの者で、2025年3月31日までに18歳に達する者	合格(見込)成績証明書 ※開封されたものは無効	合格に際して免除(見込)科目がある場合でも、免除科目に関する証明書の提出は不要です。
⑥本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年3月31日までに18歳に達する者	本学発行の出願資格認定通知	左記で出願を希望する者は、事前に個別の入学資格審査が必要です。詳細は、P.22「個別の入学資格審査について」を確認してください。
⑦学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者		

(注1) 出願資格の確認に時間を要するため、出来る限り早く出願書類を提出してください。

(注2) 「原本証明がなされたコピー (certified true copy)」:

原本のコピー(複写)であることを、当該証明書の発行機関、大使館または国で認可された公証役場等の公的機関が、原本のコピー(複写)であることを確認した旨を記載し、機関印を押印して証明した書類です。翻訳会社・日本語学校は、原本証明を行う機関とは認められません。

6 出 願

出願資格及び出願書類に関する注意事項

- ① 証明書類は、日本語または英語で作成された原本を提出してください。それ以外の言語で作成された証明書類しか提出できない場合は、日本語または英語の翻訳を作成し、正しく翻訳されたものであることを証明する、「翻訳証明」を添付してください。「翻訳証明」は、証明書の発行機関・大使館等または国で認可された公証役場・翻訳機関等で公証印を受けたもののみ認めます。
- ② 改姓等の理由により、調査書等に記載されている氏名と出願時の氏名が異なる場合は、同一人物であることが確認できる公的書類（戸籍抄本等）の原本を添付してください。
- ③ 提出された書類及び出願情報に虚偽の記載があった場合は、判明した時点で資格（出願・合格・入学）を取り消します。
- ④ P.16の出願資格において、卒業・修了・合格の「見込み」で出願した者で、合格後、2025年3月31日までに卒業・修了・合格しなかった場合は、入学許可を取り消します。

出願に必要な書類等

出願にあたり、以下の書類の郵送及びアップロードが必要です。

Web出願の登録・必要書類のアップロード及び必要書類の郵送が全て完了した時点で、出願完了となります。

提出書類	郵送	アップロード	注意事項	
全員共通	出願資格を証明する書類 (調査書等) ※詳細P.16参照	○	×	出願以前、3ヶ月以内に発行されたものを提出してください。 ※総合型選抜第1回・第2回に出願する場合： 2学期制の高等学校で、第3学年前期までの成績が記載された調査書の提出が難しい場合は、第2学年修了時までの学習成績の状況が記載された調査書を提出してください。
	志願確認票	○	×	大学出願ネットの「出願状況」ページから各自ダウンロードの上、A4サイズ(カラー)で2枚印刷してください。1枚は郵送用、もう1枚は本人控えです。
	入学希望理由書	×	○	①本学の入試情報ページ(https://www.senzoku.ac.jp/music/admission)より「入学希望理由書」をダウンロードの上、志願者本人が記入してください。記入方法は、入力・手書きのいずれも可とします。 ②記入後、Web出願の際にデータをアップロードしてください。アップロードする際は、必ずPDF形式に変換してください。
該当コースのみ提出	楽譜	○	×	・ 声楽コース、ミュージカルコースで伴奏が必要な受験者は、 出願時に楽譜を提出してください。 ・ ピアノコース(ピアノ&作曲マスタークラス希望者)、電子オルガンコース、ロック&ポップス(ヴォーカル・ギター・ベース・キーボード・シンガーソングライター)、ワールドミュージックコースの受験者は、コース別試験科目(P.29~78)の注意事項を確認の上、必要な場合は出願時または実技試験時に提出してください。 ※提出楽譜の作製方法は、P.79を参照してください。
	小論文	○	×	音楽環境創造コースの「小論文」(一般選抜)は、出願時に提出してください。
	ヤマハ音楽能力検定制度証明書類	○	×	電子オルガンコース(一般選抜)の受験方法(B)を選択した受験者は、ヤマハ音楽能力検定制度の「結果通知書」及び「合格証書」のコピーを出願時に提出してください。

※外国人留学生の方は別途提出が必要な書類がありますので、P.23を確認してください。

※必要書類が揃っていない場合は、希望の受験日に受験できないことがあります。

※総合型選抜において再出願する場合、一度郵送(提出)した書類の再提出は不要です。

出願資格及び出願書類を証明する書類

出 願

Web出願の手順

インターネットに接続されたパソコン、スマートフォン、タブレット端末等を準備の上、本学ホームページよりWeb出願システム(大学出願ネット)にアクセスしてください。

出願の 事前準備

》 ①～⑦を用意してください



① インターネットに接続されているパソコン、スマートフォン、タブレット端末等
セキュリティ的な観点から、ブラウザやOSは最新のものにアップデートしてご利用ください。
以下のブラウザでのご利用を推奨します。

- Windows…Edge/Google Chrome(最新版)/Mozilla Firefox(最新版)
- Macintosh…Safari 15以降
- iOS 15以降
- Android 13以降



② 利用可能なメールアドレス(自分専用のアドレス)

登録や受験までに必要な情報がentry@senzoku.ac.jpから送信されます。
(①のパソコンとは異なる、携帯電話等のアドレスでも可)。



③ PDFデータを開くためのアプリケーション

Adobe社の「Adobe Acrobat Reader」、
「Adobe Reader」を推奨します。



④ A4サイズが出力できるプリンター

受験に必要な「志願確認票」や「受験票」などを出力します。
※コンビニエンスストア等で、ネットワークプリント対応のマルチコピー機を利用しても可です。



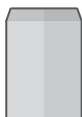
⑤ 調査書などの必要書類の準備

必要書類の詳細は、P.16を確認してください。



⑥ 顔写真データ(登録時に使用します)

写真は3MB以下のjpgファイルをアップロードしてください。
顔写真を郵送する必要はありません。



⑦ 封筒

市販の角形2号サイズの封筒(24cm×33.2cm)を用意してください。

Step

1

》 本学ホームページの入試情報サイトにアクセス

ホームページトップ⇒入試案内⇒Web出願

<https://www.senzoku.ac.jp/music/admission>

「Web出願」のリンクをクリックしてください。「大学出願ネット」のページに移動します。

※大学出願ネットは、株式会社スクールパートナーズが運営するWeb出願サービスです。

※Web出願ページの詳細は、2024年8月頃より公開予定です。

Step

2

》 新規出願登録

The screenshot shows a web interface with two main buttons: '今年度初めてインターネット出願を行う方' (For those applying for the first time) and 'すでに今年度のインターネット出願を行っている方' (For those who have already applied). Below these, there are two smaller buttons: '新規出願登録' (New Registration) and 'ログイン画面へ進む' (Go to Login Screen). A red arrow points to the '新規出願登録' button. At the bottom, there is a small note: '1 インターネットのみでは出願完了と取りません。インターネットにて出願後、必要書類を郵送してください。必要書類は、試験種別によって異なりますので、募集要項・志願確認書をご確認ください。'

①メールアドレス(携帯・パソコン可)を入力の上、送信してください。

②登録したアドレス宛に、確認コードが届きます。確認コードを入力の上、画面の指示に従い次に進んでください。

Step

3

顔写真のアップロード



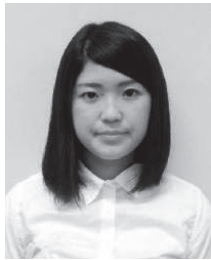
顔写真のデータを準備の上、登録画面上にアップロードしてください。

表示されているガイドライン線に沿って、枠内に正しく顔が入るように拡大・縮小を行ってください。

顔写真データについて

出願以前3ヶ月以内に撮影したもので、上半身、正面、脱帽、背景は無地に限ります。個人が特定しづらいものは使用できません。

○適切な写真例



- 背景は無地とし、白、青またはグレーの壁で撮影してください。
- 壁に近づき過ぎると、影が濃く出て、輪郭がわからなくなる恐れがあります。ご注意ください。
- フラッシュを使用すると顔全体が白くなり過ぎ、陰影がなくなる場合があります。ご注意ください。
- 撮影データをCDで提供する写真店のサービスの利用が便利です。

×不適切な写真例

以下のような写真は受付できませんので、必ず撮り直してください。



被写体が小さい



画質が粗い



写真サイズが横に長い



背景に家具等が写っている



頭上の余白部分が多い



証明写真の再撮影

その他

- データ容量が極端に小さい(100KB以下)
- 保存形式がjpgではない

[参考]

自分で撮影した写真をパソコンに移す方法

デジタルカメラやスマートフォン等で撮影した写真をパソコンに転送してアップロードすることができます。



■デジタルカメラからパソコンへ

1. メモリーカードを使う
パソコンにメモリーカードスロットや、別途メモリーカードリーダーがあれば、デジタルカメラのメモリーカードから写真を移すことができます。
2. 直接デジカメとパソコンをつなぐ
デジタルカメラ付属のUSBケーブルを使い、写真を移すことができます。

■スマートフォンの画像からパソコンへ

3. SDカードに画像をコピーしてから移す
SDカードに対応したスマートフォンの場合、本体からSDカードを取り出し、SDカードリーダー等でパソコンに移すことができます(※iPhoneは不可)。
4. メールに添付して送る
撮影した写真をメールに添付してパソコンで閲覧できるアドレスに送信します。

5. USBケーブルを使う
USBケーブルで直接パソコンにつなぐと、パソコンが携帯電話を外部記憶装置として認識します。その状態で写真を移します。

※パソコンの機種やOSによって操作方法が異なることがあります。不明な場合は取扱説明書等をご確認ください。

出願

Step

4

個人情報の入力

個人情報 入力画面

学生区分

氏名 姓 名

生年(西暦) 月 日

生年(ローマ字表記) 月 日

氏名(ローマ字表記)

画面の入力指示に従って、氏名・住所・学歴等を入力してください。

Web 出願の手順

Step

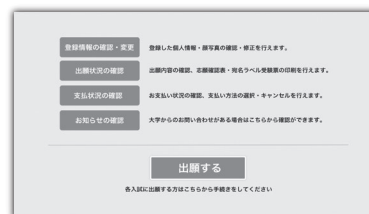
5

出願情報の登録

- ①「出願する」を選択
- ②入試制度、受験日、志望コース等を選択
- ③コース毎に、必要な情報を入力

通常入試（対面式）またはオンライン入試を選択していただきます。*

※総合型選抜・一般選抜 A 日程のみ



Step

6

入学検定料の支払い

入学検定料は20,000円です。
以下のいずれかの方法でお支払いが可能です。

クレジットカード・銀聯カード



上記カードを利用してお支払いが可能です。
※カードの名義人は、受験生本人でなくても構いません。

コンビニエンスストア



LAWSON

Seicomart

あなたと、コンビニに、

FamilyMart

上記コンビニエンスストアでお支払いが可能です。

ペイジー



ペイジー対応のインターネットバンキングやモバイルバンキング、ATMで支払いが可能です*。

○入学検定料の支払い期限は、各出願期間最終日の24時です。

○入学検定料の他に、手数料550円が必要です。

○出願期間内に入学検定料の支払いが確認できなかった場合は、出願情報が無効になります。

○入学検定料の入金後は、登録内容の変更はできません。

○一度納入された入学検定料は、原則返還できません。

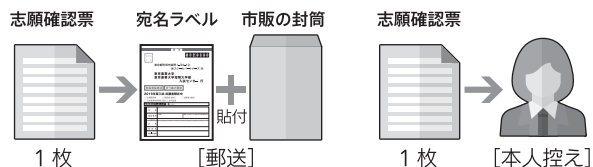
※利用可能な銀行や郵便局は、ペイジーのホームページでご確認ください。

Step

7

「志願確認票」「宛名ラベル」の印刷

入学検定料の決済方法選択が完了すると、「出願状況の確認→出願状況一覧→詳細確認」より「志願確認票」がダウンロードできるようになります。これをA4サイズ(カラー)で2枚印刷してください。1枚は郵送用、もう1枚は本人控えです。同時に、出願書類郵送用の「宛名ラベル(カラー)」を印刷してください。



Step

8

必要書類のアップロード

ホームページより「入学希望理由書」をダウンロードの上、志願者本人が記入してください。
記入方法は、入力・手書きのいずれも可とします。
記入後、「入学希望理由書」のデータをアップロードしてください。
アップロードする際は、必ずPDF形式に変換してください。
※外国人留学生の方は、別途アップロードが必要な書類があります。詳細は、P.23を確認してください。

Step

9

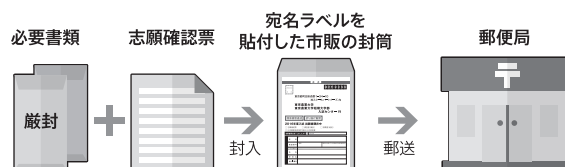
必要書類の郵送

市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に「宛名ラベル」を貼り、以下の必要書類を封入し、郵便局の窓口から簡易書留速達で郵送してください。

※日本国外から出願する場合は、出願期間内に書類が到着するよう、余裕をもって発送してください。

出願に必要な書類(詳細は、P.16参照)

- ①出願資格を証明する書類(調査書等)
- ②志願確認票
- ③楽譜(提出が必要なコースのみ)
- ④その他、コース毎に必要な書類



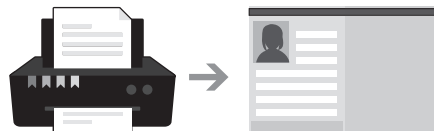
Step

10

受験票の印刷 (試験当日に持参)

各入試の出願締切後に、受験票の印刷が可能となります。受験票の印刷が可能となった段階で、登録したメールアドレス宛にお知らせが届きますので、**A4 サイズ (カラー)** で印刷の上、**入試当日に必ず持参または用意してください。** 受験票には、入試当日の集合時刻・場所等が記載されていますので、必ず確認してください。

※受験票を志願者本人以外が使用した場合や、受験票に何らかの書き込みがされている場合は、不正行為とみなします。



出願完了

「大学出願ネット」で入学検定料の決済方法選択が完了すると、「出願状況一覧」が作成されます。「出願状況一覧」では、出願内容、入学検定料の入金状況及び必要書類の提出の有無などを確認することができます(大学出願ネットへログインする際は、登録したパスワードが必要となります)。



出願に関する注意事項

- ①出願データの有効期限
登録された出願データは、入学検定料の支払いがないまま支払期限を過ぎると無効となります。(氏名、連絡先などの個人情報は除きます)
- ②漢字などの登録エラー
住所・氏名などの情報を入力する際、JIS第1水準・第2水準以外の漢字は登録エラーになります。例) 高、崎など。その際は、高→高、崎→崎のように、代わりの文字で入力してください。
- ③出願情報の変更(キャンセル(削除) ⇒ 再度出願登録)
出願情報を間違えて登録した場合は、入学検定料の支払い前に限り、ログイン後に「支払状況」からキャンセル(削除)を行い、再度正しい内容で出願登録を行うことができます。

個別の入学資格審査について

P.16の出願資格3⑥⑦により出願を希望する者には、出願前に個別の入学資格審査を行います。

1. 対象者

高等学校と同等の課程を有する外国人学校を卒業した者または卒業見込の者で、2025年3月31日までに18歳に達する者(P.16の出願資格1、2、3①～⑤)に該当する者を除く。

2. 申請期間

原則、各出願締切日の2ヵ月前までに、本学入試センターまで必要書類を送付すること(郵送必着)。

3. 申請方法

以下の書類を全て提出すること。

- ① 個別入学資格審査申請書(本学入試センターまで、所定の用紙を請求すること)
- ② 当該学校の教育が12年の課程であることが明らかとなる書類(修業年限、教育課程、授業時数、その他高等学校の課程に相当することが記載された学則等)
- ③ 当該学校の卒業証明書または卒業見込み証明書(原本)
- ④ 当該学校の調査書または成績証明書(原本)

4. 書類提出先

〒213-8580 神奈川県川崎市高津区久本2-3-1

洗足学園音楽大学 入試センター

※「個別入学資格審査申請書類在中」と朱書きのこと

5. 審査結果

各出願開始日の2～3週間前までに、申請者本人宛にメールまたは郵送で通知します。

6. 出願時の注意事項

個別の出願資格審査で出願を認められた者は、出願時に「出願資格認定通知」の写しを提出すること。

受験特別措置

受験特別措置について

身体機能の障害や疾病等により、受験及び就学に際して特別な措置を必要とする場合は、所定の申請書及び必要書類を、本学入試センター宛てに郵送で提出してください(申請書は、本学入試センターまで請求してください)。申請が受理された後、必要に応じて、出願者または在籍(出身)の高等学校関係者と面談を行う場合がありますので、出願開始日までに余裕をもって提出してください。

外国籍の方

提出書類について

外国籍の出願者で、入学後に「留学」の在留資格で日本に在留予定の方は、P.16の「出願資格を証明する書類」に加えて、以下の書類のスキャンデータをWeb出願時にアップロードしてください。アップロードする際は、必ずPDF形式に変換してください。

※ Web出願の手順は、P.18～21を確認してください。

- ① パスポート（顔写真、氏名、生年月日の記載があるページ。）
- ② 在留カード（両面。出願時に日本国内在住者のみ提出してください。）
- ③ 日本語能力検定試験（JLPT）のN2以上に合格している方は、「日本語能力認定書」または「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」のスキャンデータもアップロードしてください。

※日本語能力試験（JLPT）を受験していない方、上記の書類を提出できない方も、出願は可能です。

P.16～17に記載の「出願資格を証明する書類」「出願資格及び出願書類に関する注意事項」「出願に必要な書類等」についても熟読の上、必要書類を提出してください。

また、日本国外から出願書類を郵送する場合は、出願締切日までに書類が本学に到着するよう、余裕をもって発送してください。必要書類が揃っていない場合は、希望の受験日に受験できないことがあります。

出願資格を証明する書類（卒業証明書）について

中国の学校を卒業した方は、P.16の3-①の「卒業（見込）証明書」または「修了（見込）証明書」に代わり、以下の書類を提出してください。

※成績証明書は、在籍校が発行したものを提出してください（P.17の注意事項を必ず確認の上、提出してください）。

- CHSI（中国高等教育学生信息网）が発行する、英文の「学歴認証報告書」
- ・「学歴認証報告書」は、CHSIから直接「entry@senzoku.ac.jp」にメールで届くよう、手続を行ってください。
- ・英文以外の認証報告書や、出願者本人が受領し、本学へ転送した認証書は無効とします。
- ・詳細は、CHSIのWebサイト（<https://chsi.com.cn/>）で確認してください。

7 受験にあたっての注意事項

試験当日の注意点

試験当日の持ち物

- 受験票
- 筆記用具
- 時計（時計以外の付加機能のあるものは使用できません）
- 専門実技試験に必要な楽器・機材等
- スマートフォンまたはタブレット（対面式の楽典受験生及びメディアアーツコースの受験生）

受験票の携行と保管

受験票は常に携帯してください。受験票を紛失、または忘れた時は入試センターまで申し出てください。なお、試験終了後も入学手続き時に受験番号が必要となりますので、入学手続き完了まで大切に保管してください。

昼食

昼食は必要に応じて各自で用意してください。受験生は学生食堂を控室として利用できます。

交通機関

気象状況や事故などで首都圏の主要な交通機関が運転を見合わせた場合には、試験開始時間の繰り下げ、試験の延期等の対応処置を取ることがあります。その場合は、本学ホームページ（www.senzoku.ac.jp/music/news/）・「大学出願ネット」・メール等でお知らせします。

立ち入りについて

受験生及び助演者以外の保護者等は、集合場所・試験会場及び練習室への立ち入りはできません。また、学内への車両等の乗り入れはできません。お車での来学はご遠慮ください。

練習について

練習室の貸出

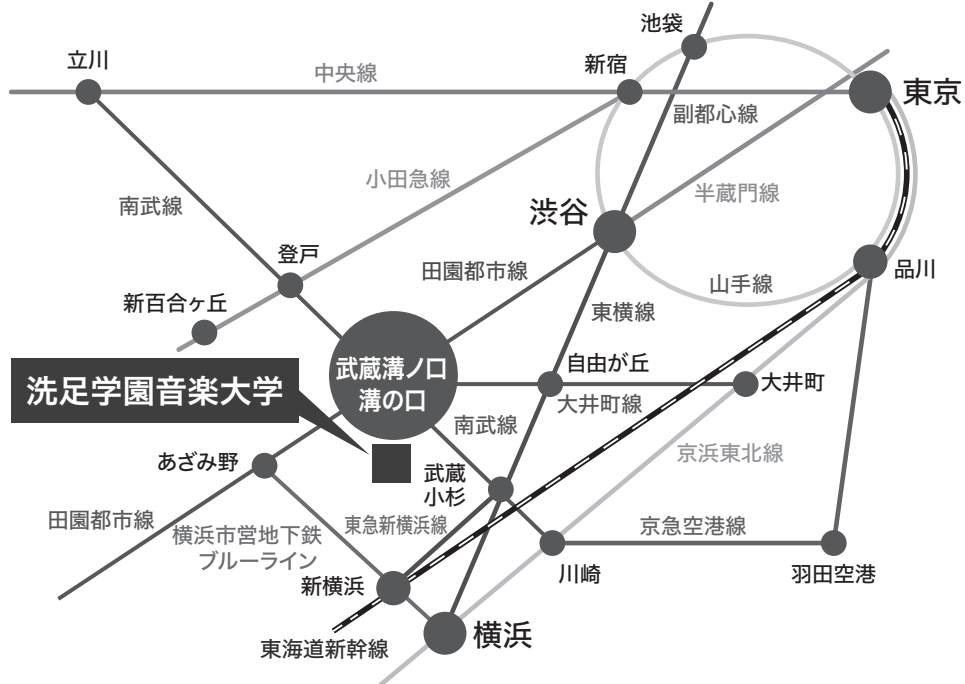
入学試験開始初日の朝8時から実技試験終了まで、本学の練習施設を無料で利用できます。必ず受験票を携帯してください。

追試験について

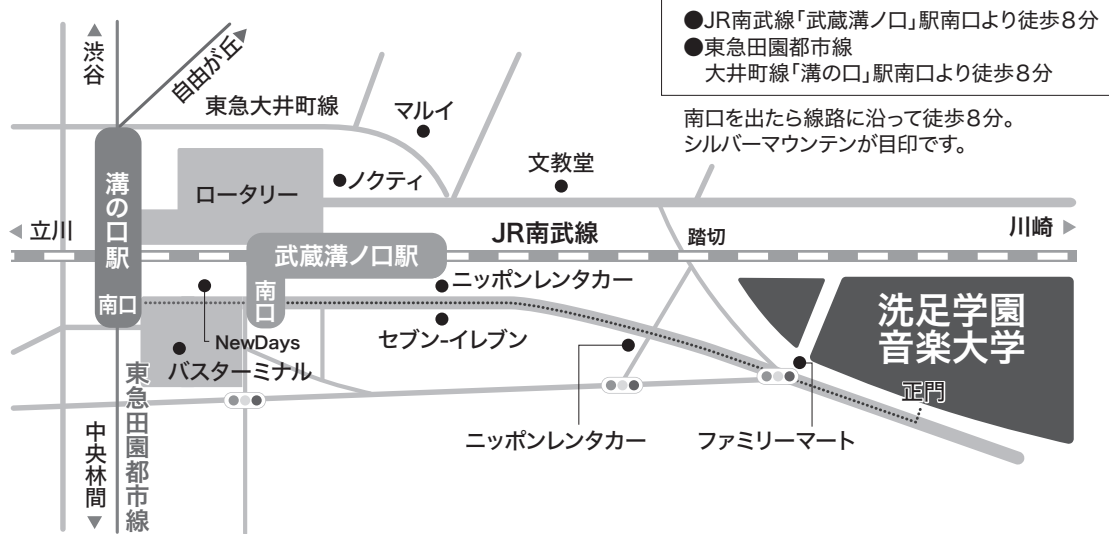
原則として、追試験及び試験日の振替は行いません。

学校案内図〈交通案内〉

●交通・アクセスマップ(最寄駅まで)



●アクセスマップ(最寄駅より)



受験にあたっての
注意事項

宿泊案内

宿泊を希望する方は、以下の宿泊施設に直接申し込んでください。

ホテル名	住所	TEL	
JR 東日本ホテルメッツ溝ノ口	川崎市高津区溝口1-1-5	044-862-0011	本学まで徒歩 7分
川崎第一ホテル溝ノ口	川崎市高津区溝口2-3-12	044-877-3333	本学まで徒歩 8分
ホテル KSP	川崎市高津区坂戸3-2-1	044-819-2211	本学まで徒歩 13分
溝ノ口パールホテル	川崎市高津区二子5-8-3	044-814-8080	本学まで徒歩 15分
スーパーホテル Premier 武蔵小杉駅前	川崎市中原区新丸子東3-1184-1	044-578-9000	本学まで電車・徒歩含め 21分

宿泊を予約する際は、「洗足学園の受験生です」と申し出てください。割引の制度があります。料金に関しては、各宿泊施設に直接ご確認ください。

8 合格発表

各入試の合格発表日の13時に、大学出願ネットから合否の確認を行うことができます。

ログイン⇒「出願状況の確認」⇒「出願状況一覧」⇒「詳細確認」⇒「合否確認」

※合否に関する電話等での問い合わせには、一切応じることができません。

補欠について

補欠者は、入学手続状況により欠員が生じた場合に、繰り上げ合格となる可能性があります。欠員が生じた場合は、繰り上げ合格対象者に電話等で入学意思の確認を行った後、繰り上げ合格となります。繰り上げ合格にならなかった場合、本人への連絡は行いません。

合否及び補欠に関する電話等での問い合わせには、一切応じることができませんので、ご了承ください。

成績開示について

2025年度入学者選抜の試験成績の開示を希望する方は、不合格者に限り、本学入試センターにおいて試験成績を開示致します。開示の申請及び対象は受験生本人に限りますので、希望する場合は事前に入試センターまで連絡した上で来室してください。

1. 開示対象者

2025年度入学者選抜不合格者

2. 開示方法

以下の開示期間内に、入試センター窓口にて試験成績を開示します。

※受験生本人が、事前に入試センターまで連絡を行ってください。

3. 申請及び開示期間

・総合型選抜第1回～第4回：2025年1月14日（火）～1月17日（金） 10：00～15：00

・総合型選抜第5回、一般選抜A日程・B日程：2025年4月7日（月）～4月11日（金） 10：00～15：00

4. 持参する書類（以下①及び②を持参してください）

①2025年度入学者選抜受験票

②顔写真入りの本人確認書類

以下（ア）～（ウ）のいずれか1つ。

（ア）生徒証または学生証

（イ）運転免許証

（ウ）パスポートまたは在留カード等

9 入学手続

合格者は、入学手続期間内に学納金の納入を行うとともに、入学手続書類を提出する必要があります。

学納金

入学手続期間内に、下表に記載の「入学手続時納入額」の納入が必要です。海外送金の場合、確認に時間を要しますので、できるだけ早く納入手続を行ってください。入学手続期間を過ぎてからの納入は受け付けられませんので、ご注意ください。

2024年度(実績)	初年次		2年次以降	
	前期	後期	前期	後期
入学金	200,000円	-	-	-
授業料	745,000円	745,000円	745,000円	745,000円
施設費	250,000円	250,000円	250,000円	250,000円
合計	入学手続時納入額 1,195,000円	995,000円	995,000円	995,000円

※上記学納金以外に、学生教育研究災害傷害保険料・同窓会費として、72,650円を入学手続時に併せて納入していただきます。

- ・なお洗足学園では、洗足学園教育振興資金(任意の寄付金)を募集しております。詳細は、入学後にご案内致します。
- ・在学中、授業料その他について変更があった場合には、新たに定められた金額を納めていただきます。

入学手続方法

- ① 合格者は、Web入学手続システムより必要情報の入力及び書類の提出を行ってください。
- ② 外国人留学生の方は、住民票または在留カード、及びパスポートのコピーが必要です。
- ③ 入学手続期間内に手続を完了しなかった場合、入学の権利を放棄したものとみなします。
- ④ 一度納入された学納金は返還できませんので、ご注意ください。

入学辞退(一般選抜合格者のみ)

- 入学手続後に入学を辞退する場合は、2025年3月31日(月)午前11時までに本学入試センターで所定の手続を済ませた者に限り、既に納めた学納金(入学金を除く)を返還します。
- 期限内に手続を済ませなかった場合は、理由の如何にかかわらず学納金は返還できませんのでご注意ください。

外国人留学生の在留手続(入国のための手続)について

留学生として日本に入国するためには、「在留資格認定証明書(Certificate of Eligibility=COE)」の交付申請を行う必要があります。入学手続を完了した日本国外居住の出願者のうち、希望する者を対象に「COE」の代理申請を行います。入国までの流れは、以下の通りです。

- (1) 合格者は、入学手続時にお知らせする、代理申請に必要な書類を大学に提出してください。
- (2) 必要書類到着及び入学手続完了後、洗足学園音楽大学より出入国在留管理庁に「COE」の代理申請を行います。
※ COEの交付には通常1~2ヶ月を要するため、代理申請を希望する場合は速やかに必要書類の提出を行ってください。
- (3) 代理申請後、出入国在留管理庁より「COE」が交付されたら、洗足学園音楽大学より申請者(入学手続完了者)に「COE」を送付します。
- (4) 「COE」受け取り後、居住国の日本大使館・領事館等で「留学ビザ(査証)」の申請を行い、有効期間内に留学ビザを取得してください。

コース別試験科目

■ 総合型選抜

【共通説明事項】

1. 専門実技は審査員の指示により演奏を途中でカットする場合があります。
2. 専門実技において楽譜を必要とする場合は、各自で用意してください。

■ 一般選抜 A日程

■ 一般選抜 B日程

【共通説明事項】

1. 専門実技は審査員の指示により演奏を途中でカットする場合があります。
2. 専門実技において楽譜を必要とする場合は、各自で用意してください。
ただし、暗譜が指示されている場合はこの限りではありません。

作曲

総合型選抜

- ① 面談 (実施方法詳細は、P.14、P.89～91を参照)
- ② 楽典 (実施方法詳細は、P.14、P.91～92を参照)
- ③ 聴音 (実施方法詳細は、P.15、P.92～93を参照)

旋律聴音：長調・短調各1題

和声聴音

④ 専門実技

(1)、(2) 両方とも行うこと。

(1) 創作

Web出願時に、A. 和声課題、B. 自由作曲課題のいずれかを選択すること。

A. 和声課題 (4 時間)

バス、及びソプラノ課題各1題を四声体を作成する。

B. 自由作曲課題 (4 時間)

与えられたモチーフによりピアノ曲、またはピアノを含む器楽曲を作曲する。形式は自由とする。創作に際し、本学が用意するピアノの使用を認める。

(注意)

創作中の飲食は可とする。

(2) 提出

Web出願時に、A. 写譜、B. 自作品のいずれかを選択すること。

A. 写譜

次に掲げる曲集の中から一つの曲集を選び、さらにその中から1曲を選んで写譜し、コピーを提出すること。五線紙は自由に選択してよい。

- ・ F.Chopin『前奏曲 op.28』(但し、No. 2, 7, 20を除く)
- ・ R.Schumann『森の情景 op.82』
- ・ E.Grieg『抒情小曲集 第3集 op.43』
- ・ C.Debusy『前奏曲 第1集 L.117』
- ・ S.Prokofiev『束の間の幻影 op.22』

B. 自作品

コンピュータによる楽譜(PDF)と音源(mp3)を提出すること。音楽のジャンル、形式、長さは自由。作成に使用するソフトは問わない。データは、通常入試(対面式)・オンライン入試共に、事前提出とする。

【提出期限】P.8の「動画提出期限」と同様とする。

【提出方法】楽譜(PDF)と音源(mp3)のデータを、Google Classroomに提出すること。提出に必要な情報は、P.8の「受験用Googleアカウント、動画提出用クラスコード通知日程」に、通知する。提出方法は、P.88～89を確認すること。

通常入試(対面式)を選択した場合

専門実技(2)の提出(写譜)について

専門実技試験当日、午前8時～8時40分の間に、本学入試センターへ志願者本人が持参すること。

オンライン入試を選択した場合

専門実技(1) 創作

専門実技試験当日にオンラインで実施します。必ず、パソコンを利用して受験してください。

A. 和声課題を選択した場合

課題及び五線紙が記載されたPDFファイルが、予めGoogle Classroomに掲載されます(ファイルにはパスワードがかかっています)。試験開始直前に、課題開封用のパスワードが、Google Meetを通じて提示されます。課題開封後、速やかに印刷を行い試験を開始してください。予め、プリンターを利用できる環境を整えておいてください。

B. 自由作曲課題を選択した場合

課題が記載されたPDFファイルが、予めGoogle Classroomに掲載されます(ファイルにはパスワードがかかっています)。試験開始直前に、課題開封用のパスワードが、Google Meetを通じて提示されます。

五線紙は、事前にGoogle ClassroomからPDFファイルをダウンロードの上、試験当日までにA4の用紙を使用して印刷してください。

試験終了後は、和声課題または作曲した楽譜の写真データまたはスキャンデータを、Google Classroomに速やかに提出してください。

専門実技(2) 提出

A. 写譜を選択した場合

楽譜のスキャンデータ(PDF)を、P.8の「動画提出期限」までにGoogle Classroomに提出してください。

B. 自作品を選択した場合

楽譜のスキャンデータ(PDF)及び音源データ(mp3)を、P.8の「動画提出期限」までにGoogle Classroomに提出してください。

一般選抜 A日程

- ① 面接
- ② 聴音
 - 旋律聴音：長調・短調各1題
 - 和声聴音
- ③ 専門実技
 - 総合型選抜に同じ。

一般選抜 B日程

※一般選抜B日程は、通常入試(対面式)のみの実施となります。

- ① 面接
- ② 専門実技
 - 総合型選抜に同じ。

音楽・音響デザイン

総合型選抜

- ① 面談 (実施方法詳細は、P.14、P.89～91を参照)
- ② 楽典 (実施方法詳細は、P.14、P.91～92を参照)
- ③ 専門実技

(1) 自己アピール

通常入試(対面式)を選択した場合

オリジナル作品の提示(音源提出またはピアノ演奏)や、録音作品によるプレゼンテーションなど、幅広く自己をアピールする(5分程度:作品の再生時間を含む)。

※映像を伴う場合は、提出作品のために制作されたオリジナル映像のみ使用可能とする。

オンライン入試を選択した場合

オリジナル作品の提示(音源提出またはピアノ演奏)や、録音作品によるプレゼンテーションなどを5分程度(作品の再生時間を含む)の動画にまとめて提出すること。

※映像を伴う場合は、提出作品のために制作されたオリジナル映像のみ使用可能とする。

また、動画内で提示しているオリジナル作品の音源データ及びその他資料(楽譜・レジュメ等)がある場合は、必ず添付すること。

《注意事項》

- ① 動画は、必ず志願者本人が映った状態で撮影すること(全身が映る必要はない。編集も可)。
- ② 自己アピールのファイルが複数個に渡る場合は、ファイル名を「受験番号・氏名・通し番号」として提出すること。
- ③ 動画の提出方法詳細は、P.88～89を参照。

※日本国外に居住している等の理由で、Google Classroomへの動画・音源ファイルの提出が難しい場合は、「ギガファイル便」または「データ便」などのファイル転送サービスを使用して、動画ファイルや音源ファイルを提出すること(YouTubeやBiliBili動画などの、動画配信サイトへの掲載は認められない)。

[提出先メールアドレス] entry@senzoku.ac.jp

一般選抜 A日程

- ① 面接 (実施方法詳細は、P.14、P.89～91を参照)
- ② 楽典 (実施方法詳細は、P.14、P.91～92を参照)
- ③ 専門実技

(1) 自己アピール

通常入試(対面式)を選択した場合

オリジナル作品の提示(音源提出またはピアノ演奏)や、録音作品によるプレゼンテーションなど、幅広く自己をアピールする(10分程度:作品の再生時間を含む)。

※映像を伴う場合は、提出作品のために制作されたオリジナル映像のみ使用可能とする。

オンライン入試を選択した場合

オリジナル作品の提示（音源提出またはピアノ演奏）や、録音作品によるプレゼンテーションなどを10分程度（作品の再生時間を含む）の動画にまとめて提出すること。

※映像を伴う場合は、提出作品のために制作されたオリジナル映像のみ使用可能とする。

また、動画内で提示しているオリジナル作品の音源データ及びその他資料（楽譜・レジュメ等）がある場合は、必ず添付すること。

《注意事項》

① 動画は、必ず志願者本人が映った状態で撮影すること（全身が映る必要はない。編集も可）。

② 自己アピールのファイルが複数個に渡る場合は、ファイル名を「受験番号・氏名・通し番号」として提出すること。

③ 動画の提出方法詳細は、P.88～89を参照。

※日本国外に居住している等の理由で、Google Classroomへの動画・音源ファイルの提出が難しい場合は、「ギガファイル便」または「データ便」などのファイル転送サービスを使用して、動画ファイルや音源ファイルを提出すること（YouTubeやBiliBili動画などの、動画配信サイトへの掲載は認められない）。

〔提出先メールアドレス〕entry@senzoku.ac.jp

一般選抜 B日程

※一般選抜B日程は、通常入試（対面式）のみの実施となります。

① 面接

② 専門実技

一般選抜A日程と同じ。

注意事項（総合型選抜、一般選抜A日程・B日程共通）**通常入試（対面式）の場合**

作品の再生は、試験会場のスピーカー（2ch）を使用すること。

※試験会場へのスピーカーの持ち込みは不可とする。

1. 作品は、USBフラッシュメモリで提出すること（試験当日に試験会場で提出すること）。

USBフラッシュメモリには、必ず受験番号・氏名を明記すること。

※提出されたUSBフラッシュメモリは、原則返却しない。

音声は2ch再生のみで、以下の拡張子のみ受け付ける。

- ・音声 .wav .aif .mp3 .m4a
- ・映像 .mov .mp4 .avi（音声は2chのみ）
- ・資料 .pdf

※注意：DAWのプロジェクト・ファイルや特定のソフトウェアのみで再生可能な形式での提出は認めない。

2. PC持参による音声・画面出力は可。スマートフォンやPCから音声や画面を出力するための各種変換アダプターを必ず持参すること。

ケーブル類は以下の種類が使用可能。

- ・ステレオミニケーブル、TRSケーブル（オーディオインターフェース用）、HDMI入力（映像&音声）

※インターネットやWi-Fi（ネットワーク）を利用した、ストリーミング再生及びダウンロードは不可とする。

3. ピアノは試験会場で使用可。

ピアノ演奏を希望する場合は、Web出願時に入力すること（楽譜を見ながらの演奏も可）。

※上記以外の楽器演奏及び歌唱は不可とする。

※音源を再生しながら、ピアノ演奏をすることは不可とする。

オンライン入試の場合（一般選抜B日程は、通常入試（対面式）のみ）

音声は2ch再生のみで、以下の拡張子のみ受け付ける。

- ・音声 .wav .aif .mp3 .m4a
- ・映像 .mov .mp4 .avi（音声は2chのみ）
- ・資料 .pdf

※注意：DAWのプロジェクト・ファイルや特定のソフトウェアのみで再生可能な形式での提出は認めない。

ピアノ

総合型選抜

- ① 面 談 (実施方法詳細は、P.14、P.89～91を参照)
- ② 楽 典 (実施方法詳細は、P.14、P.91～92を参照)
- ③ 聴 音 (実施方法詳細は、P.15、P.92～93を参照)

旋律聴音：長調・短調各1題

和声聴音

④ 専門実技

(1)、(2) 全体で20分以内とする。

(1) 練習曲またはJ.S.Bachの作品より任意の1曲(楽譜を見ながらの演奏も可。繰り返しなし。)

(2) 自由曲1曲(楽譜を見ながらの演奏も可。繰り返しなし。)

オンライン入試を選択した場合

専門実技…動画審査を実施(動画の提出方法詳細は、P.88～89を参照)

[提出動画の長さ(分数)]20分以内

実技内容の動画データを締切日までに提出すること。

(動画撮影についての注意事項)

- ・編集、加工は不可とする。
- ・専門実技課題の全曲を続けて演奏した録画とする。
- ・カメラは固定とする。
- ・手と顔(または全身)が映るように撮影する。
- ・2024年6月以降の撮影とする。
- ・電子ピアノを使用した動画も可とする。

一般選抜 A日程

- ① 面 接
- ② 楽 典
- ③ 聴 音

旋律聴音：長調・短調各1題

和声聴音

④ 専門実技

(1) 課題曲

下記(A)、(B)の2曲を演奏する(暗譜。繰り返しなし。演奏順序は自由)。

(A) 次の練習曲集より任意の1曲

- ① M.Clementi/Gradus ad Parnassum
- ② M.Mozzkowski/15 Etudes de virtuosité, Op.72
- ③ F.Chopin/Etudes, Op.10
- ④ F.Chopin/Etudes, Op.25

(B) J.S.Bach/Das wohltemperierte Klavier より任意のフーガ1曲

(2) 自由曲

下記の作曲家の作品より任意の1曲(暗譜。繰り返しなし。Sonateの場合は、第1楽章または終楽章とする)。

F.J.Haydn、W.A.Mozart、L.v.Beethoven、C.M.v.Weber、F.P.Schubert、F.B.Mendelssohn、F.Chopin
(練習曲を除く)、R.Schumann、F.Liszt、J.Brahms、G.Fauré、C.Debussy、M.Ravel、A.Scriabin、
S.Rachmaninov、S.Prokofiev

(注意)

課題曲(A)・(B)、自由曲の3曲をWeb出願時に入力すること。

一般選抜 B日程

※一般選抜B日程は、通常入試(対面式)のみの実施となります。

- ① 面接
- ② 楽典
- ③ 専門実技

(1) 課題曲

次の練習曲集より任意の1曲(暗譜。繰り返しなし)。

(A) ① C.Czerny／Die Kunst der Fingerfertigkeit (50 Etüden) Op.740

② M.Clementi／Gradus ad Parnassum

③ Cramer=Bülow／60 Ausgewählte Etüden

④ I.Moscheles／24 Studien, Op.70

⑤ M.Moszkowski／15 Etudes de virtuosité, Op.72

⑥ F.Chopin／Etudes, Op.10

⑦ F.Chopin／Etudes, Op.25

⑧ J.S.Bach／Das wohltemperierte Klavier より任意のフーガ

(2) 自由曲

下記の作曲家の作品より任意の1曲(暗譜。繰り返しなし。Sonateの場合は、第1楽章または終楽章とする)。

F.J.Haydn, W.A.Mozart, L.v.Beethoven, C.M.v.Weber, F.P.Schubert, F.B.Mendelssohn, F.Chopin
(練習曲を除く)、R.Schumann, F.Liszt, J.Brahms, G.Fauré, C.Debussy, M.Ravel, A.Scriabin,
S.Rachmaninov, S.Prokofiev

(注意)

課題曲・自由曲の2曲をWeb出願時に入力すること。

オンライン入試を選択した場合(一般選抜A日程のみ)

専門実技…動画審査を実施(動画の提出方法詳細は、P.88～89を参照)

[提出動画の長さ(分数)]20分以内

実技内容の動画データを締切日までに提出すること。

(動画撮影についての注意事項)

- ・編集、加工は不可とする。
- ・専門実技課題の全曲を続けて演奏した録画とする。
- ・カメラは固定とする。
- ・手と顔(または全身)が映るように撮影する。
- ・2024年11月以降の撮影とする。
- ・電子ピアノを使用した動画も可とする。

▶ピアノ&作曲マスタークラス／

ピアノ・プロフェッショナル・パフォーマンスクラス希望者

ピアノコース受験者の内、ピアノ&作曲マスタークラス／ピアノ・プロフェッショナル・パフォーマンスクラスを希望する者に対して、別途審査を行います。希望者は以下を確認の上、Web出願を行ってください。

総合型選抜

審査日程	2024年11月23日(土)または24日(日)
出願期間	2024年11月1日(金)～11月6日(水)
合格発表	2024年12月1日(日)
対象者	2025年度 総合型選抜(プレカレッジ)、総合型選抜第1回～第3回のいずれかで、ピアノコースに出願した者

※第1回・第2回出願者の内、不合格となった者は受験対象外とします。

※第3回の出願者についても、ピアノコースの試験科目(面談・楽典・聴音・専門実技:P.34参照)の受験に加えて、ピアノ&作曲マスタークラス／ピアノ・プロフェッショナル・パフォーマンスクラスの審査科目(専門実技・面談)を受験する必要があります。(総合型選抜第3回の試験日程は、11月23日または24日です。ピアノ&作曲マスタークラス／ピアノ・プロフェッショナル・パフォーマンスクラスの試験と同日に実施する場合があります)

※出願にあたり、調査書・入学希望理由書等を再提出する必要はありません。

検定料 ピアノ&作曲マスタークラス／ピアノ・プロフェッショナル・パフォーマンスクラスの審査に対する検定料は不要です。

併願について ピアノ&作曲マスタークラス／ピアノ・プロフェッショナル・パフォーマンスクラスは併願が可能です。併願を希望する者は、Web出願時に「第一希望」、「第二希望」をそれぞれ選択してください。

ピアノ&作曲マスタークラス

① 専門実技

(1) 課題曲

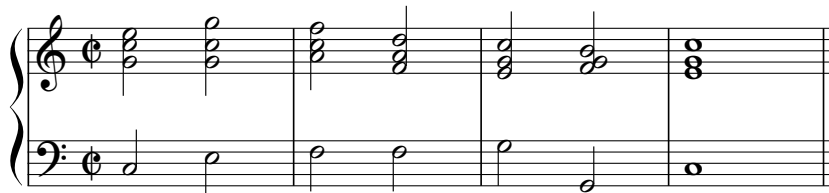
- (A) J.S.Bach／Das wohltemperierte Klavier I・II より任意の前奏曲とフーガを1曲
 - (B) F.Chopin, F.Liszt, M.Moszkowski, M.Clementi, Czerny50 番の練習曲から任意の1曲
- ※(A)、(B)の演奏順序は自由。

(2) 自由曲

任意の曲。複数曲も可。
自作曲を含める場合は譜面を出願時に提出の上、他の作曲家の出版された作品と必ず組み合わせること。

(3) 和声課題の移調奏

以下の譜例を元に、移調奏を行う。調性は当日指定。



(4) 伴奏付け(メロディーを演奏したのち予見3分。予見時、ピアノの音出しは不可とする。)

与えられたメロディーに伴奏をつけてピアノで演奏する。

(注意)

1. 演奏時間は(1)～(2)全体で20分以内とする(暗譜。繰り返しなし。ダ・カーポはあり)。
2. 課題曲(A)・(B)、自由曲の3曲をWeb出願時に入力すること。
3. ピアノコース受験時の演奏曲目と重複することを認める。

② 面談

専門実技 (ピアノ・プロフェッショナル・パフォーマンスクラスと併願する場合)

以下、(1)～(3) 全てを行うこと。

- (1) ピアノ・プロフェッショナル・パフォーマンスクラスの専門実技課題
- (2) 和声課題の移調奏 (P.36 参照)
- (3) 伴奏付け (P.36 参照)

オンライン入試を選択した場合

専門実技 (1) 課題曲、(2) 自由曲

動画審査を実施 (動画の提出方法詳細は、P.88～89 を参照)

[提出動画の長さ (分数)] 20 分以内

実技内容の動画データを締切日までに提出すること。

専門実技 (3) 和声課題の移調奏…専門実技当日の面談時にオンラインで実施。

専門実技 (4) 伴奏付け…専門実技当日の面談時にオンラインで実施。

課題は、Google Meet または Google Classroom を通じて、審査当日に提示する。

※スマートフォン・タブレット・パソコン等の画面を見ながらの演奏となります。

(動画撮影についての注意事項)

- ・編集、加工は不可とする。
- ・専門実技課題の全曲を続けて演奏した録画とする。
- ・カメラは固定とする。
- ・手と顔 (または全身) が映るように撮影する。
- ・2024 年 6 月以降の撮影とする。

ピアノ・プロフェッショナル・パフォーマンスクラス

① 専門実技

- (A) バロック期の作品から任意の 1 曲 (J.S.Bach の Das Wohltemperierte Klarier を演奏する場合は、前奏曲とフーガを両方演奏すること。)
- (B) F.J.Haydn, W.A.Mozart, L.v.Beethoven の Sonate より任意の 1 曲 (全楽章または楽章の抜粋も可)
- (C) F.Chopin : Etude Op.10 または Op.25 より任意の 1 曲 (但し Op.10 No.3, 6, Op.25 No.7 は除く)
- (D) 自由曲 ((C) の Etude を除く複数曲も可。ただし (A) (B) で選んだ作品とは別の作品であること。)

(注意)

1. 全体で 25 分程度の演奏時間にまとめること (暗譜。繰り返しなし。ダ・カーポはあり)。
2. (A)～(D) を Web 出願時に入力すること。
3. ピアノコース受験時の演奏曲目と重複することを認める。

② 面 談

専門実技 (ピアノ&作曲マスタークラスと併願する場合)

以下、(1)～(3) 全てを行うこと。

- (1) ピアノ・プロフェッショナル・パフォーマンスクラスの専門実技課題 (上記参照)
- (2) 和声課題の移調奏 (P.36 参照)
- (3) 伴奏付け (P.36 参照)

オンライン入試を選択した場合

専門実技…動画審査を実施 (動画の提出方法詳細は、P.88～89 を参照)

[提出動画の長さ (分数)] 25 分程度

実技内容の動画データを締切日までに提出すること。

(動画撮影についての注意事項)

- ・編集・加工は不可とする。
- ・専門実技課題の全曲を続けて演奏した録画とする。
- ・カメラは固定とする。
- ・手と顔 (または全身) が映るように撮影する。
- ・2024 年 6 月以降の撮影とする。

一般選抜 A日程

審査日程 2025年2月8日(土)または9日(日)

※ピアノコースの専門実技試験(2月8日または9日)と同日に実施する場合があります。試験スケジュール詳細は、出願締切後にお知らせします。

出願期間 2025年1月7日(火)～1月23日(木)

合格発表 2025年2月15日(土)

対象者 2025年度 一般選抜A日程で、ピアノコースに出願した者

※一般選抜A日程の、ピアノコース試験科目(面接・楽典・聴音・専門実技:P.34参照)の受験に加えて、ピアノ&作曲マスタークラス/ピアノ・プロフェッショナル・パフォーマンスクラスの審査科目(専門実技・面接)を受験する必要があります。

※出願にあたり、調査書・入学希望理由書等を再提出する必要はありません。

※一般選抜B日程では、ピアノ&作曲マスタークラス/ピアノ・プロフェッショナル・パフォーマンスクラスの募集は行いません。

検定料 ピアノ&作曲マスタークラス/ピアノ・プロフェッショナル・パフォーマンスクラスの審査に対する検定料は不要です。

併願について ピアノ&作曲マスタークラス/ピアノ・プロフェッショナル・パフォーマンスクラスは併願が可能です。併願を希望する者は、Web出願時に「第一希望」、「第二希望」をそれぞれ選択してください。

ピアノ&作曲マスタークラス

① 専門実技

総合型選抜に同じ。

② 面接

専門実技(ピアノ・プロフェッショナル・パフォーマンスクラスと併願する場合)

総合型選抜に同じ。

オンライン入試を選択した場合

総合型選抜に同じ(P.37参照)。

※但し、動画の撮影日は、2024年11月以降とする。

ピアノ・プロフェッショナル・パフォーマンスクラス

① 専門実技

総合型選抜に同じ。

② 面接

専門実技(ピアノ&作曲マスタークラスと併願する場合)

総合型選抜に同じ。

オンライン入試を選択した場合

総合型選抜に同じ(P.37参照)。

※但し、動画の撮影日は、2024年11月以降とする。

管楽器（木管）

総合型選抜

- ① 面 談（実施方法詳細は、P.14、P.89～91を参照）
- ② 楽 典（実施方法詳細は、P.14、P.91～92を参照）
- ③ 聴 音（実施方法詳細は、P.15、P.92～93を参照）

旋律聴音：長調・短調各1題
和声聴音

④ 専門実技

《ピッコロ、バスクラリネット、ソプラノ・テナー・バリトンサクソフォーン等、特殊管での受験も可とする》

(1) スケール

通常入試(対面式)の場合 #、b3つまでの調号の中から、当日指定された長調及び短調を、P.80の譜例の音型で演奏する(暗譜)。

オンライン入試の場合 P.80の譜例の通り、指定された長調及び短調を演奏する(暗譜)。

(2) 自由曲1曲(楽譜を見ながらの演奏も可)

10分以内。各楽器とも伴奏なし。

オンライン入試を選択した場合

専門実技… 動画審査を実施(動画の提出方法詳細は、P.88～89を参照)
専門実技の動画データを締切日までに提出すること。

吹奏楽指導者マスタークラス希望者

■フルート・オーボエ・クラリネット・ファゴット・サクソフォーン

- ① 面 談
- ② 楽 典
- ③ 聴 音

旋律聴音：長調・短調各1題
和声聴音

④ 専門実技

管楽器(木管)コースの専門実技内容に同じ。

一般選抜 A日程

- ① 面 接
- ② 楽 典
- ③ 聴 音

旋律聴音：長調・短調各1題
和声聴音

④ 楽器別専門実技(下記参照)

(1) スケール

通常入試(対面式)の場合 #、b3つまでの調号の中から、当日指定された長調及び短調を、P.80の譜例の音型で演奏する(暗譜)。

オンライン入試の場合 P.80の譜例の通り、指定された長調及び短調を演奏する(暗譜)。

(2) 課題曲

伴奏なし(楽譜を見ながらの演奏も可)

一般選抜 B日程

※一般選抜B日程は、通常入試(対面式)のみの実施となります。

- ① 面 接
- ② 楽 典
- ③ 楽器別専門実技(下記参照)

(1) スケール

P.80の譜例の通り、指定された長調及び短調を演奏する(暗譜)。

(2) 自由曲

伴奏なし(楽譜を見ながらの演奏も可)

一般選抜 A 日程

■フルート

(1) スケール

通常入試(対面式)の場合 #、b3つまでの調号の中から、当日指定された長調及び短調を、P.80の譜例の音型で演奏する(暗譜)。

オンライン入試の場合 P.80の譜例の通り、指定された長調及び短調を演奏する(暗譜)。

(2) 課題曲(楽譜を見ながらの演奏も可)

下記(A)、(B)の2曲を演奏する。

(A) ①、②の8曲から任意の1曲を選択する。

① Ernesto Köhler / 35 Exercises op.33-2 より No.1, 5, 8, 12 の中から任意の1曲。

② Karl Joachim Andersen / 24 Studies op.21 より No.4, 10, 13, 24 の中から任意の1曲。

(B) 次の中から任意の1曲を選択する。

① Eugène Bozza / Image

② Claude Debussy / Syrinx

③ Arthur Honegger / Danse de la Chèvre

④ Jacques Ibert / Pièce

■オーボエ

(1) スケール

通常入試(対面式)の場合 #、b3つまでの調号の中から、当日指定された長調及び短調を、P.80の譜例の音型で演奏する(暗譜)。

オンライン入試の場合 P.80の譜例の通り、指定された長調及び短調を演奏する(暗譜)。

(2) 課題曲(楽譜を見ながらの演奏も可)

Ludwig Wiedemann / 45 Etüden für Oboe (全音楽譜出版社) より No.1, 9, 18, 30 の中から当日指定。

■クラリネット

(1) スケール

通常入試(対面式)の場合 #、b3つまでの調号の中から、当日指定された長調及び短調を、P.80の譜例の音型で演奏する(暗譜)。

オンライン入試の場合 P.80の譜例の通り、指定された長調及び短調を演奏する(暗譜)。

(2) 課題曲(楽譜を見ながらの演奏も可)

Carl Maria von Weber / Concertino für Klarinette op.26

■ファゴット

(1) スケール

通常入試(対面式)の場合 #、b3つまでの調号の中から、当日指定された長調及び短調を、P.80の譜例の音型で演奏する(暗譜)。

オンライン入試の場合 P.80の譜例の通り、指定された長調及び短調を演奏する(暗譜)。

(2) 課題曲(楽譜を見ながらの演奏も可)

Julius Weissenborn / Studies for Bassoon op.8 vol. II より No.2, 4, 10, 13 の中から当日指定。

■サクソフォーン ※アルトサクソフォーンで受験のこと。

(1) スケール

通常入試(対面式)の場合 #、b3つまでの調号の中から、当日指定された長調及び短調を、P.80の譜例の音型で演奏する(暗譜)。

オンライン入試の場合 P.80の譜例の通り、指定された長調及び短調を演奏する(暗譜)。

(2) 課題曲(楽譜を見ながらの演奏も可)

Marcel Mule / 48 Études, pour Tous les Saxophones, de Ferling(Leduc 版)より、任意の奇数番号1曲と偶数番号1曲、計2曲を演奏すること。

一般選抜 B 日程

■フルート

(1) スケール

P.80の譜例の通り、指定された長調及び短調を演奏する(暗譜)。

(2) 自由曲(伴奏なし。楽譜を見ながらの演奏も可)

任意の独奏曲または練習曲を1曲演奏する。

■オーボエ

(1) スケール

P.80の譜例の通り、指定された長調及び短調を演奏する(暗譜)。

(2) 自由曲(伴奏なし。楽譜を見ながらの演奏も可)

任意の独奏曲または練習曲を1曲演奏する。

■クラリネット

(1) スケール

P.80の譜例の通り、指定された長調及び短調を演奏する(暗譜)。

(2) 自由曲(伴奏なし。楽譜を見ながらの演奏も可)

任意の独奏曲または練習曲を1曲演奏する。

■ファゴット

(1) スケール

P.80の譜例の通り、指定された長調及び短調を演奏する(暗譜)。

(2) 自由曲(伴奏なし。楽譜を見ながらの演奏も可)

任意の独奏曲または練習曲を1曲演奏する。

■サクソフォーン ※アルトサクソフォーンで受験のこと。

(1) スケール

P.80の譜例の通り、指定された長調及び短調を演奏する(暗譜)。

(2) 自由曲(伴奏なし。楽譜を見ながらの演奏も可)

任意の独奏曲または練習曲を1曲演奏する。

〈B 日程でピッコロ、バスクラリネット、ソプラノ・テナー・バリトンサクソフォン等特殊管で受験する場合〉
出願前に入試センターへ問い合わせる指示事項を確認すること。

オンライン入試を選択した場合（一般選抜B日程は通常入試（対面式）のみ）

専門実技…動画審査を実施（動画の提出方法詳細は、P.88～89を参照）
専門実技の動画データを締切日までに提出すること。

▶ **吹奏楽指導者マスタークラス希望者**

※一般選抜B日程は、通常入試（対面式）のみの実施となります。

■ **フルート・オーボエ・クラリネット・ファゴット・サクソフォン**

- ① 面接
- ② 楽典
- ③ 聴音 ※聴音は一般選抜A日程のみ実施
旋律聴音：長調・短調各1題
和声聴音
- ④ 専門実技
一般選抜A日程・B日程共に、管楽器（木管）コースの専門実技内容に同じ。

管楽器（金管）

総合型選抜

- ① 面 談（実施方法詳細は、P.14、P.89～91を参照）
- ② 楽 典（実施方法詳細は、P.14、P.91～92を参照）
- ③ 聴 音（実施方法詳細は、P.15、P.92～93を参照）

旋律聴音：長調・短調各1題
和声聴音

④ 専門実技

(1) スケール

通常入試(対面式)の場合 #、b3つまでの調号の中から、当日指定された長調及び短調を、P.81の譜例の音型で演奏する(暗譜)。

オンライン入試の場合 P.81の譜例の通り、指定された長調及び短調を演奏する(暗譜)。

(2) 自由曲1曲(楽譜を見ながらの演奏も可)

10分以内。各楽器とも伴奏なし。

オンライン入試を選択した場合

専門実技… 動画審査を実施(動画の提出方法詳細は、P.88～89を参照)
専門実技の動画データを締切日までに提出すること。

▶ 吹奏楽指導者マスタークラス希望者

■ホルン・トランペット・トロンボーン・ユーフォニアム・チューバ

- ① 面 談
- ② 楽 典
- ③ 聴 音

旋律聴音：長調・短調各1題
和声聴音

④ 専門実技

管楽器(金管)コースの専門実技内容に同じ。

一般選抜 A日程

- ① 面 接
- ② 楽 典
- ③ 聴 音

旋律聴音：長調・短調各1題
和声聴音

④ 楽器別専門実技(下記参照)

(1) スケール

通常入試(対面式)の場合 #、b3つまでの調号の中から、当日指定された長調及び短調を、P.81の譜例の音型で演奏する(暗譜)。

オンライン入試の場合 P.81の譜例の通り、指定された長調及び短調を演奏する(暗譜)。

(2) 課題曲

伴奏なし(楽譜を見ながらの演奏も可)

■ホルン

(1) スケール

通常入試(対面式)の場合 #、b3つまでの調号の中から、当日指定された長調及び短調を、P.81の譜例の音型で演奏する(暗譜)。

オンライン入試の場合 P.81の譜例の通り、指定された長調及び短調を演奏する(暗譜)。

(2) 課題曲(伴奏なし。楽譜を見ながらの演奏も可) Wolfgang Amadeus Mozart / Konzert für Horn No.3 第1楽章

一般選抜 B日程

※一般選抜B日程は、通常入試(対面式)のみの実施となります。

- ① 面 接
- ② 楽 典
- ③ 楽器別専門実技(下記参照)

(1) スケール

P.81の譜例の通り、指定された長調及び短調を演奏する(暗譜)。

(2) 自由曲

伴奏なし(楽譜を見ながらの演奏も可)

■ホルン

(1) スケール

P.81の譜例の通り、指定された長調及び短調を演奏する(暗譜)。

(2) 自由曲(伴奏なし。楽譜を見ながらの演奏も可) 任意の独奏曲または練習曲を1曲演奏する。

一般選抜 A日程

■トランペット

(1) スケール

通常入試(対面式)の場合 #、b3つまでの調号の中から、当日指定された長調及び短調を、P.81の譜例の音型で演奏する(暗譜)。

オンライン入試の場合 P.81の譜例の通り、指定された長調及び短調を演奏する(暗譜)。

- (2) 課題曲(伴奏なし。楽譜を見ながらの演奏も可)
Jean-Baptiste Arban/Fantaisie Brillante No.3
Theme, var. I, II

■トロンボーン

(1) スケール

通常入試(対面式)の場合 #、b3つまでの調号の中から、当日指定された長調及び短調を、P.81の譜例の音型で演奏する(暗譜)。

オンライン入試の場合 P.81の譜例の通り、指定された長調及び短調を演奏する(暗譜)。

- (2) 課題曲(伴奏なし。楽譜を見ながらの演奏も可)
下記(A)、(B)の中から当日指定された1曲を演奏する。
(A) Georg Kopprasch/Sixty Selected Studies for Trombone より No.7
(B) Joannes Rochut/Melodious Etudes for Trombone Book 1 より No.16

〈バストロンボーンで受験する場合〉

- (A) O.Blume/36 Studies for Trombone with F attachment より No.19
(B) Joannes Rochut/Melodious Etudes for Trombone Book 1 より No.16(但し、オクターヴ下で演奏すること)

■ユーフォニアム

(1) スケール

通常入試(対面式)の場合 #、b3つまでの調号の中から、当日指定された長調及び短調を、P.81の譜例の音型で演奏する(暗譜)。

オンライン入試の場合 P.81の譜例の通り、指定された長調及び短調を演奏する(暗譜)。

- (2) 課題曲(伴奏なし。楽譜を見ながらの演奏も可)
下記(A)、(B)の2曲を演奏する。
(A) Georg Kopprasch/Sixty Selected Studies for Trombone (出版社:指定なし)より任意の1曲
(B) Joannes Rochut/Melodious Etudes for Trombone Book 1 (出版社:Carl Fischer)より任意の1曲

■チューバ

(1) スケール

通常入試(対面式)の場合 #、b3つまでの調号の中から、当日指定された長調及び短調を、P.81の譜例の音型で演奏する(暗譜)。

オンライン入試の場合 P.81の譜例の通り、指定された長調及び短調を演奏する(暗譜)。

- (2) 課題曲(伴奏なし。楽譜を見ながらの演奏も可)
下記(A)、(B)の2曲を演奏する。
(A) Georg Kopprasch/Sixty Selected Studies for Tuba より No.11, 13, 14 の中から任意の1曲。
(B) Marco Bordogni/43 Bel Canto Studies for Tuba (R.King 版) より No.2, 4 の中から任意の1曲。

一般選抜 B日程

■トランペット

(1) スケール

P.81の譜例の通り、指定された長調及び短調を演奏する(暗譜)。

- (2) 自由曲(伴奏なし。楽譜を見ながらの演奏も可)
任意の独奏曲または練習曲を1曲演奏する。

■トロンボーン

(1) スケール

P.81の譜例の通り、指定された長調及び短調を演奏する(暗譜)。

- (2) 自由曲(伴奏なし。楽譜を見ながらの演奏も可)
任意の独奏曲または練習曲を1曲演奏する。

■ユーフォニアム

(1) スケール

P.81の譜例の通り、指定された長調及び短調を演奏する(暗譜)。

- (2) 自由曲(伴奏なし。楽譜を見ながらの演奏も可)
任意の独奏曲または練習曲を1曲演奏する。

■チューバ

(1) スケール

P.81の譜例の通り、指定された長調及び短調を演奏する(暗譜)。

- (2) 自由曲(伴奏なし。楽譜を見ながらの演奏も可)
任意の独奏曲または練習曲のどちらか1曲を演奏する。

オンライン入試を選択した場合（一般選抜B日程は通常入試（対面式）のみ）

専門実技…動画審査を実施（動画の提出方法詳細は、P.88～89を参照）
専門実技の動画データを締切日までに提出すること。

▶吹奏楽指導者マスタークラス希望者

※一般選抜B日程は、通常入試（対面式）のみの実施となります。

■ホルン・トランペット・トロンボーン・ユーフォニアム・テューバ

① 面接

② 楽典

③ 聴音 ※聴音は一般選抜A日程のみ実施

旋律聴音：長調・短調各1題

和声聴音

④ 専門実技

一般選抜A日程・B日程共に、管楽器（金管）コースの専門実技内容に同じ。

弦 楽 器

総合型選抜

- ① 面 談 (実施方法詳細は、P.14、P.89～91を参照)
- ② 楽 典 (実施方法詳細は、P.14、P.91～92を参照)
- ③ 聴 音 (実施方法詳細は、P.15、P.92～93を参照)

旋律聴音：長調・短調各1題

和声聴音

④ 専門実技

15分以内とする。

(1) 自由曲1曲 (楽譜を見ながらの演奏も可)

各楽器とも伴奏なし。ヴィオラ希望者はヴァイオリンで受験も可。Web出願時に選択すること。

通常入試(対面式)を選択した場合

〈ハープで受験する場合〉

〔使用楽器〕サルヴィ (オーロラ)、ライオン&ヒーリー 23号

※ Web出願時にどちらかを選択すること。

〈コントラバスで受験する場合〉

コントラバスの貸出有無を、Web出願時に選択すること。弓は持参すること。

オンライン入試を選択した場合

専門実技…動画審査を実施 (動画の提出方法詳細は、P.88～89を参照)

〔提出動画の長さ(分数)〕15分以内

実技内容の動画データを締切日までに提出すること。

〈ハープで受験する場合〉

使用楽器については、入試センターへ問い合わせること。

▶ 吹奏楽指導者マスタークラス希望者

■ コントラバス

- ① 面 談
- ② 楽 典
- ③ 聴 音

旋律聴音：長調・短調各1題

和声聴音

④ 専門実技

弦楽器コース(コントラバス)の専門実技内容に同じ。

一般選抜 A日程

- ① 面接
- ② 楽典
- ③ 聴音

旋律聴音：長調・短調各1題
和声聴音

- ④ 楽器別専門実技（下記参照。伴奏なし。暗譜。演奏曲目をWeb出願時に入力すること。）

■ヴァイオリン

(1) 課題曲

次の曲集より任意の1曲を演奏する。

C. クロイツェル／42の練習曲

P. ローデ／24のカプリス

J. ドント／練習曲とカプリスOp.35

N. バガニーニ／24のカプリスOp.1

J. S. バッハ／無伴奏ソナタとパルティータBWV1001～1006より任意の楽曲

(2) 自由曲

任意の協奏曲の第1楽章または終楽章または任意の楽曲1曲を演奏する。

■ヴィオラ（ヴァイオリンで受験も可。その際の課題曲はヴァイオリンに同じ。自由曲は下記(2)。）

(1) 課題曲

C. クロイツェル／42の練習曲またはこれに準ずるエチュード1曲を演奏する。

(2) 自由曲

任意の楽曲を演奏する。

(注意)

受験楽器をWeb出願時に選択すること。

■チェロ

(1) 自由曲

任意の楽曲または任意の練習曲を1曲演奏する。

■コントラバス

(1) 自由曲

任意の楽曲または任意の練習曲を1曲演奏する。

(注意)

コントラバスの貸出希望者は、Web出願時に選択すること。

■ハープ

(1) 自由曲

任意の楽曲を1曲演奏する（繰り返しなし）。

〔使用楽器〕サルヴィ（オーロラ）、ライオン&ヒーリー23号

(注意)

使用楽器をWeb出願時に選択すること。

通常入試（対面式）を選択した場合

〈ハープで受験する場合〉

〔使用楽器〕サルヴィ（オーロラ）、ライオン&ヒーリー23号

※ Web出願時にどちらかを選択すること。

〈コントラバスで受験する場合〉

コントラバスの貸出有無を、Web出願時に選択すること。弓は持参すること。

オンライン入試を選択した場合

専門実技…動画審査を実施（動画の提出方法詳細は、P.88～89を参照）

[提出動画の長さ（分数）]15分以内

実技内容の動画データを締切日までに提出すること。

〈ハーブで受験する場合〉

使用楽器については、入試センターへ問い合わせること。

▶吹奏楽指導者マスタークラス希望者

■コントラバス

① 面接

② 楽典

③ 聴音

旋律聴音：長調・短調各1題

和声聴音

④ 専門実技

弦楽器コース（コントラバス）の専門実技内容に同じ。

一般選抜 B日程

※一般選抜B日程は、通常入試（対面式）のみの実施となります。

① 面接

② 楽典

③ 楽器別専門実技

一般選抜A日程に同じ。

▶吹奏楽指導者マスタークラス希望者

■コントラバス

① 面接

② 楽典

③ 専門実技

一般選抜A日程に同じ。

打 楽 器

総合型選抜

通常入試(対面式)を選択した場合

- ① 面 談 (実施方法詳細は、P.14を参照)
- ② 楽 典 (実施方法詳細は、P.14を参照)
- ③ 聴 音 (実施方法詳細は、P.15を参照)

旋律聴音：長調・短調各1題
和声聴音

④ 専門実技

自由曲は5分程度とする。
各楽器とも伴奏なし。

〈スネアドラムで受験する場合〉

(1) 基礎打ち

1つ、2つ、5つ、7つ打ち、及びロールより当日指定する。

(2) 自由曲1曲

〈マリンバで受験する場合〉

(1) スケール

譜例(P.82)にしたがい長調及び短調の音階を演奏する(調性は当日指定。暗譜。♩=108ca.)。

(2) 自由曲1曲

〈ティンパニで受験する場合〉

(1) 基礎打ち

スネアドラムを用いて、1つ、2つ、5つ、7つ打ち、及びロールより当日指定する。

(2) 自由曲1曲

▶ 吹奏楽指導者マスタークラス希望者

■ スネアドラム・マリンバ・ティンパニ

- ① 面 談
- ② 楽 典
- ③ 聴 音

旋律聴音：長調・短調各1題
和声聴音

④ 専門実技

打楽器コースの専門実技内容に同じ。

(通常入試(対面式)を選択した場合の注意事項：打楽器コース・打楽器コース吹奏楽指導者マスタークラス共通)

1. 受験する楽器をWeb出願時に入力すること。
2. マリンバで受験する場合、使用楽器は会場に用意されているコオロギ(4oct. ½ F-C)または(5oct. C-C)とする。使用するマリンバを、Web出願時に選択すること。
3. スネアドラムは、原則各自持参すること(貸出を希望する場合は、Web出願時に選択すること)。
4. ティンパニを選択する場合、本学が用意したものを使用すること。

オンライン入試を選択した場合

専門実技…動画審査を実施(動画の提出方法詳細は、P.88～89を参照)

[提出動画の長さ(分数)]自由曲は5分程度とする。

実技内容の動画データを締切日までに提出すること。

- ① 面談(実施方法詳細は、P.89～91を参照)
- ② 楽典(実施方法詳細は、P.91～92を参照)
- ③ 聴音(実施方法詳細は、P.92～93を参照)

旋律聴音：長調・短調各1題

和声聴音

④ 専門実技

自由曲は5分程度とする。

各楽器とも伴奏なし。

〈スネアドラムで受験する場合〉

(1) 基礎打ち

1つ、2つ、5つ、7つ打ち、及びロールの全てを演奏する。

(2) 自由曲1曲

〈マリンバで受験する場合〉

(1) スケール

譜例(P.82)にしたがい長調及び短調の音階全調を演奏する(暗譜。♩=108ca.)。

(2) 自由曲1曲

〈ティンパニで受験する場合〉

(1) 基礎打ち

スネアドラムを用いて1つ、2つ、5つ、7つ打ち、及びロールの全てを演奏する。

(2) 自由曲1曲

▶ 吹奏楽指導者マスタークラス希望者

■ スネアドラム・マリンバ・ティンパニ

- ① 面談
- ② 楽典
- ③ 聴音
 - 旋律聴音：長調・短調各1題
 - 和声聴音

④ 専門実技

打楽器コースの専門実技内容に同じ。

一般選抜 A日程

通常入試(対面式)を選択した場合

- ① 面接
- ② 楽典
- ③ 聴音

旋律聴音：長調・短調各1題
和声聴音

④ 専門実技

自由曲は5分程度とする。各楽器とも伴奏なし。

〈スネアドラムで受験する場合〉

(1) 基礎打ち

1つ、2つ、5つ、7つ打ち、及びロールより当日指定。

(2) 自由曲1曲

〈マリンバで受験する場合〉

(1) スケール

譜例にしたがい長調及び短調の音階を演奏する(調性は当日指定。暗譜。譜例はP.82参照)。

(2) 自由曲1曲

〈ティンパニで受験する場合〉

(1) 基礎打ち

スネアドラムを用いて、1つ、2つ、5つ、7つ打ち、及びロールより当日指定。

(2) 自由曲1曲

▶ 吹奏楽指導者マスタークラス希望者

■ スネアドラム・マリンバ・ティンパニ

- ① 面接
- ② 楽典
- ③ 聴音

旋律聴音：長調・短調各1題
和声聴音

④ 専門実技

打楽器コースの専門実技内容に同じ。

(通常入試(対面式)を選択した場合の注意事項：打楽器コース・打楽器コース吹奏楽指導者マスタークラス共通)

1. 受験する楽器をWeb出願時に入力すること。
2. マリンバで受験する場合、使用楽器は会場に用意されているコオロギ(4oct. ½ F-C)または(5oct. C-C)とする。使用するマリンバを、Web出願時に選択すること。
3. スネアドラムは、原則各自持参すること(貸出を希望する場合は、Web出願時に選択すること)。
4. ティンパニを選択する場合、本学が用意したものをを使用すること。

オンライン入試 を選択した場合

専門実技…動画審査を実施(動画の提出方法詳細は、P.88～89を参照)

[提出動画の長さ(分数)]自由曲は5分程度とする。

実技内容の動画データを締切日までに提出すること。

① 面接(実施方法詳細は、P.89～91を参照)

② 楽典(実施方法詳細は、P.91～92を参照)

③ 聴音(実施方法詳細は、P.92～93を参照)

旋律聴音：長調・短調各1題

和声聴音

④ 専門実技

自由曲は5分程度とする。各楽器とも伴奏なし。

〈スネアドラムで受験する場合〉

(1) 基礎打ち

1つ、2つ、5つ、7つ打ち、及びロールの全てを演奏する。

(2) 自由曲

スネアドラムによる、任意の独奏曲または練習曲を演奏する(複数曲の組み合わせ可。伴奏なし)。

〈マリンバで受験する場合〉

(1) スケール

譜例(P.82)にしたがい長調及び短調の音階全調を演奏する(暗譜。♩=108ca)。

(2) 自由曲1曲

マリンバによる、任意の独奏曲を1曲演奏する(伴奏なし)。

〈ティンパニで受験する場合〉

(1) 基礎打ち

スネアドラムを用いて、1つ、2つ、5つ、7つ打ち、及びロールの全てを演奏する。

(2) 自由曲1曲

▶ **吹奏楽指導者マスタークラス希望者**

■スネアドラム・マリンバ・ティンパニ

① 面接

② 楽典

③ 聴音

旋律聴音：長調・短調各1題

和声聴音

④ 専門実技

打楽器コースの専門実技内容に同じ。

一般選抜 B日程

※一般選抜B日程は、通常入試(対面式)のみの実施となります。

① 面接

② 楽典

③ 専門実技

一般選抜A日程に同じ。

▶ **吹奏楽指導者マスタークラス希望者**

■スネアドラム・マリンバ・ティンパニ

① 面接

② 楽典

③ 専門実技

一般選抜A日程に同じ。

電子オルガン

総合型選抜

- ① 面 談 (実施方法詳細は、P.14、P.89～91を参照)
- ② 楽 典 (実施方法詳細は、P.14、P.91～92を参照)
- ③ 聴 音 (実施方法詳細は、P.15、P.92～93を参照)
 - 旋律聴音：長調 (Major)
 - リズム聴音
 - コード(タイプ)聴音

④ 専門実技

- (1) 自由曲1曲 (暗譜)
演奏時間は8分以内。ジャンルは問わない。自作曲可。
- (2) 初見演奏
試験時に問題を提示する。

通常入試(対面式)を選択した場合

(注意)

- 1. 演奏楽譜を実技試験時に提出すること。
演奏楽譜は、提出楽譜作製方法 (P.79) を参照のこと。
- 2. USB フラッシュメモリー等は、音色用の音源としてのみ使用可。

[使用機種] ヤマハ・エレクトーン ELS-02 C

オンライン入試を選択した場合

専門実技 (1) 自由曲…動画審査を実施 (動画の提出方法詳細は、P.88～89を参照) (暗譜)

[提出動画の長さ(分数)] 8分以内

実技内容の動画データを締切日までに提出すること。

専門実技 (2) 初見演奏…専門実技当日の面談時にオンラインで実施。

初見演奏の課題は、試験前日までに、出願時に登録したメールアドレス宛にお送りします。

課題開封用のパスワードは試験時にお伝えします。

(注意)

- 1. 演奏楽譜を出願時に提出すること。
演奏楽譜は、提出楽譜作製方法 (P.79) を参照のこと。
- 2. USB フラッシュメモリー等は、音色用の音源としてのみ使用可。

[使用機種] 機種の設定はありません。

一般選抜 A 日程

- ① 面接
 ② 楽典
 ③ 聴音
 旋律聴音：長調 (Major)
 リズム聴音
 コード (タイプ) 聴音

- ④ 専門実技
 受験方法を下記〈A〉、〈B〉より選択すること。

〈A〉(1) 自由曲

下記 (A)、(B) を演奏する (暗譜。演奏時間は合計 10 分以内とする)。

- (A) クラシック作品より任意の 1 曲
 (B) ポピュラー作品より任意の 1 曲 (自作曲も可)

(2) 即興演奏

16 ～ 32 小節の旋律を、指定されたコードとコーラス数で即興的に編曲演奏する (即興演奏課題は、10 分間の試弾あり)。

〈B〉入試優遇制度を利用して受験

(1) 専門実技免除

対象者：ヤマハ音楽能力検定制度エレクトーン演奏グレード 5 級以上取得者

※〈B〉を選択した場合は、出願時に、財団法人ヤマハ音楽振興会にて発行された「結果通知書」及び「合格証書」のコピーを提出すること。

通常入試 (対面式) を選択した場合

(注意)

- 自由曲の演奏楽譜を実技試験時に提出すること。
演奏楽譜は、提出楽譜作製方法 (P.79) を参照のこと。
- USB フラッシュメモリー等は、音色用の音源としてのみ使用可。

[使用機種] ヤマハ・エレクトーン ELS-02 C

オンライン入試を選択した場合

専門実技 (1) 自由曲…動画審査を実施 (動画の提出方法詳細は、P.88 ～ 89 を参照)

[提出動画の長さ (分数)] 自由曲は 10 分以内

実技内容の動画データを締切日までに提出すること。

専門実技 (2) 即興演奏…専門実技当日の面接時にオンラインで実施。

即興演奏の課題は、試験前日までに、出願時に登録した住所宛に郵送します。

試験開始時に、採点員の指示に従い開封の上、受験してください。

※試験開始までに開封したことが確認された場合、失格となります。

※日本国外在住の方には、試験前日までに初見演奏の課題をメールでお送りします。

課題開封用のパスワードは試験時にお伝えします。

(注意)

- 自由曲の演奏楽譜を出願時に提出すること。
演奏楽譜は、提出楽譜作製方法 (P.79) を参照のこと。
- USB フラッシュメモリー等は、音色用の音源としてのみ使用可。

[使用機種] 機種指定はありません。

一般選抜 B 日程

※一般選抜 B 日程は、通常入試 (対面式) のみの実施となります。

- ① 面接
 ② 楽典
 ③ 専門実技
 一般選抜 A 日程に同じ。

ジャズ&アメリカンミュージック

総合型選抜

① 面 談 (実施方法詳細は、P.14、P.89～91を参照)

② 楽 典 (実施方法詳細は、P.14、P.91～92を参照)

③ 楽器別専門実技

※課題曲は大学から提供される伴奏音源とコード譜を使用すること (P.56参照)。メロディーは受験者自ら譜面をさがすか、音源を聴いて覚えるようにすること (ドラム・ヴォーカルを除く)。

全楽器共通事項

・ジャズ&アメリカンミュージックの入試では、その場で即興的に演奏しようという意思が感じられる演奏を望むため、予め書いてあるものを憶えて演奏したり、暗記しているフレーズを羅列しないようにすること。
※音の間違いが少ないかより、即興的に演奏しようという意思を重視します。

・試験の際に譜面は使用しない。

〈エフェクター類の使用について〉

・セッティングに時間を要するエフェクター類 (特にギター、エレクトリックベース) の使用は極力避け、必要最小限のセッティングで受験すること。

■ フルート・クラリネット・サクソフォーン

(1) 課題曲 (以下より1曲選択)

・ Now's The Time

テーマ (1 コーラス) → アドリブ (4 コーラス) → テーマ (1 コーラス) を演奏する。
最後のコーラスが終わった時点で演奏を終了すること。

・ Autumn Leaves、Someday My Prince Will Come

テーマ (1 コーラス) → アドリブ (2 コーラス) → テーマ (1 コーラス) を演奏する。
最後のコーラスが終わった時点で演奏は終了すること。

(2) 自由曲 (試験の際に譜面は使用しない)

自分の音楽性をアピールできる曲、ジャンルは問わない。5分以内とする (1曲)。

通常入試 (対面式) を選択した場合は、伴奏音源または無伴奏での演奏とする。

オンライン入試を選択した場合は、伴奏者 (またはバンド)、伴奏音源との演奏でも、無伴奏でも可とする。

■ トランペット

(1) 課題曲 (以下より1曲選択)

・ Straight No Chaser

テーマ (1 コーラス) → アドリブ (4 コーラス) → テーマ (1 コーラス) を演奏する。
最後のコーラスが終わった時点で演奏を終了すること。

・ Autumn Leaves / Someday My Prince Will Come

テーマ (1 コーラス) → アドリブ (2 コーラス) → テーマ (1 コーラス) を演奏する。
最後のコーラスが終わった時点で演奏は終了して良い。

(2) 自由曲

自分の音楽性をアピールできる曲、ジャンルは問わない。5分以内とする (1曲)。

通常入試 (対面式) を選択した場合は、伴奏音源または無伴奏での演奏とする。

オンライン入試を選択した場合は、伴奏者 (またはバンド)、伴奏音源との演奏でも、無伴奏でも可とする。

■ トロンボーン

(1) 課題曲 (以下より1曲選択)

・ Good Bait / Someday My Prince Will Come

テーマ (1 コーラス) → アドリブ (2 コーラス) → テーマ (1 コーラス) を演奏する。
最後のテーマが終わった時点で演奏を終了すること。

(2) 自由曲

自分の音楽性をアピールできる曲、ジャンルは問わない。5分以内とする (1曲)。

通常入試 (対面式) を選択した場合は、伴奏音源または無伴奏での演奏とする。

オンライン入試を選択した場合は、伴奏者 (またはバンド)、伴奏音源との演奏でも、無伴奏でも可とする。

■ ギター

楽器は、アコースティック、エレクトリックを問わない。

(1) 課題曲

・ Billie's Bounce

テーマ (1 コーラス) → アドリブ (4 コーラス) → テーマ (1 コーラス) を演奏する。
最後のコーラスが終わった時点で演奏を終了すること。

(2) 自由曲

自分の音楽性をアピールできる曲、ジャンルは問わない。5分以内とする (1曲)。

通常入試 (対面式) を選択した場合は、伴奏音源または無伴奏での演奏とする。

オンライン入試を選択した場合は、伴奏者 (またはバンド)、伴奏音源との演奏でも、無伴奏でも可とする。

■ピアノ

(1) 課題曲

・Billie' s Bounce

テーマ (1 コーラス) →アドリブ (4 コーラス) →テーマ (1 コーラス) を演奏する。

最後のコーラスが終わった時点で演奏を終了すること。

(2) 自由曲

自分の音楽性をアピールできる曲、ジャンルは問わない。5分以内とする (1 曲)。

通常入試 (対面式) を選択した場合は、伴奏音源または無伴奏での演奏とする。

オンライン入試を選択した場合は、伴奏者 (またはバンド)、伴奏音源との演奏でも、無伴奏でも可とする。

■ベース

楽器は、アコースティック、エレクトリックを問わない。

(1) 課題曲

・Good Bait

譜面の指定に従ってリズムを変えて演奏する。

最後のテーマの伴奏が終わった時点で演奏を終了すること。

(2) 自由曲

自分の音楽性をアピールできる曲、ジャンルは問わない。5分以内とする (1 曲)。

通常入試 (対面式) を選択した場合は、伴奏音源または無伴奏での演奏とする。

オンライン入試を選択した場合は、伴奏者 (またはバンド)、伴奏音源との演奏でも、無伴奏でも可とする。

■ドラム

(1) 課題曲

・12 小節のブルースフォームで演奏する。

1 コーラス目は伴奏 (4 小節ごとのフィル)、2 コーラス目はアドリブ、そして3 コーラス目の1 拍目で終わる。

*メトロノームは使用せずに自分でカウントしてから演奏を始める。

(2) 自由曲

自分の音楽性をアピールできる曲、ジャンルは問わない。5分以内とする (1 曲)。

通常入試 (対面式) を選択した場合は、伴奏音源または無伴奏での演奏とする。

オンライン入試を選択した場合は、伴奏者 (またはバンド)、伴奏音源との演奏でも、無伴奏でも可とする。

(注意)

伴奏音源を使用しない場合は、自分でカウントしてから演奏を始める。

■上記以外の楽器 (ヴォーカル含む)

(1) 自由曲

自分の音楽性をアピールできる曲、ジャンルは問わない。5分以内とする (1 曲)。

通常入試 (対面式) を選択した場合は、伴奏音源または無伴奏での演奏とする。

オンライン入試を選択した場合は、伴奏者 (またはバンド)、伴奏音源との演奏でも、無伴奏でも可とする。

※特殊楽器で受験を希望する場合は、必ず事前に入試センターまでお問い合わせください。

通常入試 (対面式) を選択した場合

〈自由曲〉

伴奏音源または無伴奏での演奏とする。伴奏音源を必要とする場合は、音源を実技試験時に持参すること。音源はCD、スマートフォン、タブレット、パソコンのいずれかとする。ステレオミニケーブル (オス、3.5mm φ) に接続できるアダプターかケーブルを持参すること。ステレオミニケーブル (オス) は会場に用意されているものを使用すること。

〈ドラムで受験する場合〉

実技試験当日は、本学でドラムセットを用意しているが、ペダルとスネアドラムのみ持参しても良い。セッティングは必要最小限で行うこと (ドラムの仕様はP.84を参照)。

オンライン入試 を選択した場合

専門実技…動画審査を実施 (動画の提出方法詳細は、P.88 ~ 89を参照)

[提出動画の長さ (分数)] 自由曲 : 5 分以内

実技内容の動画データを締切日までに提出すること。

(注意)

必ず演奏者全体が映る動画であること (手元のアップなどにならないように)

一般選抜 A日程

- ① 面接
 - ② 楽典
 - ③ 楽器別専門実技
- 総合型選抜に同じ。

一般選抜 B日程

※一般選抜B日程は、通常入試(対面式)のみの実施となります。

- ① 面接
 - ② 楽典
 - ③ 楽器別専門実技
- 総合型選抜に同じ。

[伴奏音源・コード譜について]

ジャズ&アメリカンミュージックコースの受験希望者は、課題曲の伴奏音源・コード譜のダウンロードが可能です。以下のURLにアクセスの上、申し込みを行ってください(ドラム・ヴォーカルを除く)。

伴奏音源は、練習のために指定のコーラス数より長く録音されていますので、試験では指定されたコーラス数を守り、音源の途中で演奏を終了してください。

https://www.senzoku.ac.jp/music/admission/jazz_sounds



現代邦楽

総合型選抜

- ① 面 談 (実施方法詳細は、P.14、P.89～91を参照)
- ② 楽 典 (実施方法詳細は、P.14、P.91～92を参照)
- ③ 聴 音 (実施方法詳細は、P.15、P.92～93を参照)
- ④ 専門実技

10分以内とする。各楽器とも伴奏なし。

(1) 自由曲1曲 (楽譜を見ながらの演奏も可)

(注意)

- 1. 三味線で、長唄・常磐津・清元等の古典浄瑠璃曲を演奏する場合、助演として唄方1名まで各自で用意することが可能。
- 2. 箏、三味線、尺八、横笛、琵琶については、中国や韓国などの同属楽器の演奏でも可とする。但し、入学後は日本の楽器を専攻するものとする。
- 3. 受験する楽器と流派、演奏曲目・作曲者名をWeb出願時に選択・入力すること。

オンライン入試を選択した場合

専門実技…動画審査を実施 (動画の提出方法詳細は、P.88～89を参照)

[提出動画の長さ(分数)]10分以内

実技内容の動画データを締切日までに提出すること。

一般選抜 A日程

- ① 面 接
- ② 楽 典
- ③ 聴 音
- ④ 楽器別専門実技
総合型選抜に同じ。

一般選抜 B日程

※一般選抜B日程は、通常入試(対面式)のみの実施となります。

- ① 面 接
- ② 楽 典
- ③ 楽器別専門実技
総合型選抜に同じ。

ロック&ポップス

※ロック&ポップスコースは、通常入試(対面式)のみの実施となります。

総合型選抜

- ① 面談(実施方法詳細は、P.14を参照)
- ② 楽典(実施方法詳細は、P.14を参照)
- ③ 聴音(実施方法詳細は、P.15を参照)

旋律聴音：長調(Major)

リズム聴音

コード(タイプ)聴音

④ 専門実技

■ヴォーカル

- (1) 自由曲2曲(1曲につき8分以内)

■ギター・ベース・キーボード

- (1) 伴奏課題(楽譜を見ながらの演奏も可)

P.83に記載の、伴奏課題を演奏する。

予め提示された、「リズムパターンNo.1～3」の中から一つを選び、P.83の伴奏課題に記載のコード進行に従ってオリジナルの伴奏を演奏する。

リズムパターンは以下のURLにアクセスの上、音源を確認すること。

[リズムパターン音源]

https://www.senzoku.ac.jp/music/admission/rp_sounds_download



※試験当日、リズムパターンの音源は試験会場で準備されているため、受験者が持参する必要はない。

- (2) 自由曲1曲(8分以内)

■ドラム・パーカッション

- (1) 基礎打ち

スネアドラムによるシングルストローク/ダブルストロークのチェンジアップを演奏する(BPM100)。

(P.84 譜例参照)

- (2) 自由曲1曲(8分以内)

特定の楽曲、自分の得意なパターンの組み合わせ、アドリブソロのいずれでも可。

■シンガーソングライター

- (1) オリジナル曲を含む自由曲2曲(1曲につき8分以内)

オリジナル曲2曲、あるいはオリジナル曲1曲+カバー曲1曲

■その他の楽器

出願前に入試センターへ問い合わせて指示事項を確認すること。

注意事項

1. ギター・ベース・キーボード受験者は、自由曲の演奏楽譜(コード譜で可)を**実技試験時**に提出すること。演奏楽譜は、提出楽譜作製方法(P.79)を参照のこと。
2. ヴォーカル・シンガーソングライター受験者は、歌詞とメロディー譜を**実技試験時**に提出すること。
3. 伴奏が必要な場合は、伴奏用音源(ギター・ドラム・パーカッション・キーボード受験者はマイナスイオン音源とする。ベース受験者はオリジナル音源でも可)を**実技試験時**に提出すること。
4. 音源はCD・携帯プレイヤー・スマートフォンとする。また、USB記録メディアで音源を持ち込むことも可能(USB端子はタイプA)。但し、音声フォーマットは「WAV」「AIFF」「AAC」「mp3」のいずれかであること。ヴォーカル・シンガーソングライター受験者は、楽器の弾き語りでも、マイナスイオンオケに合わせた演奏でも可。
5. スマートフォンから音声を出力する場合は、各種変換アダプターを必ず持参すること。
6. 試験会場でのWi-Fi(ネットワーク)への接続は不可。伴奏音源は予めダウンロードすること。
7. ドラム受験者で、個人のスネアドラム・フットペダル・シンバル等を持ち込む場合は7分以内にセッティングすること。
8. パーカッション受験者で、コンガ・ティンパレス・ジェンベ・カホン以外の打楽器を使用する場合は、各自持参すること。
9. 試験会場の設置機器に関してはP.59を参照。

一般選抜 A日程

- ① 面接
- ② 楽典
- ③ 聴音
旋律聴音：長調 (Major)
リズム聴音
コード(タイプ)聴音
- ④ 楽器別専門実技
総合型選抜に同じ。

一般選抜 B日程

- ① 面接
- ② 楽典
- ③ 楽器別専門実技
総合型選抜に同じ。

[設置機器]

- ・ 8 鍵ピアノタッチデジタルピアノ (Roland V-Piano、Roland RD700GX)
- ・ 61 鍵オルガンタッチシンセサイザー (YAMAHA MOTIF XS 6、KORG TRITON)
- ・ ドラムセット (TAMA Starclassic Performer 2 タム1 フロア)
- ・ コンガ、ティンパレス、ジェンベ、カホン、スネアドラム
- ・ ギターアンプ (Marshall、Fender、Roland、Hughes&Kettner)
- ・ ベースアンプ (Ampeg)
- ・ PA システム、マイク (SHURE SM58)

※機材はコンディションにより変更となる場合がある。また、上記以外の楽器やエフェクター、ケーブル (3m程度)、スティックを使用する場合は各自持参すること。

※ギター、ベースの音出しはギターアンプ、ベースアンプあるいはライン入力。
エフェクターを使用する場合は、3分以内にセッティングすること。

総合型選抜

- ① 面 談
- ② 楽 典

③ 聴音またはコールユーブンゲン

下記①または②のいずれかを選択すること。

① 聴音 (実施方法詳細は、P.15、P.92～93を参照)

旋律聴音：長調・短調各1題

和声聴音

② コールユーブンゲン

以下の5つの中から選択した1曲を、アカペラで演奏すること(階名唱法。移動ド、固定ドどちらでも可)。

ヴェルナー著：第1巻 原書番号No.48a、48b、60、73d、74d

④ 専門実技

(1) 課題曲1曲(原語・暗譜)

下記より任意の曲を演奏する。

【イタリア歌曲】

Intorno all'idol mio ————— Marc'Antonio Cesti
 Già il sole dal Gange ————— Alessandro Scarlatti
 Lasciar d'amarti ————— Francesco Gasparini
 Sebben, crudele ————— Antonio Caldara
 Vergin, tutto amor ————— Francesco Durante

O del mio dolce ardor ————— Christoph Willibald Gluck
 Caro mio ben ————— Giuseppe Giordani
 Vaga luna che inargenti ————— Vincenzo Bellini
 Vaghissima sembianza ————— Stefano Donaudy
 Sogno ————— Francesco Paolo Tosti

【ドイツ歌曲】

Das Veilchen ————— Wolfgang Amadeus Mozart
 Als Luise die Briefe ihre sungetreuen Liebhabers verbrannte
 ————— Wolfgang Amadeus Mozart
 Ich liebe dich ————— Ludwig van Beethoven
 Frühlingsglaube ————— Franz Peter Schubert
 An die Musik ————— Franz Peter Schubert

Die Lotosblume ————— Robert Schumann
 Du bist wie eine Blume ————— Robert Schumann
 Sonntag ————— Johannes Brahms
 Dein blaues Auge ————— Johannes Brahms
 Gebet ————— Hugo Wolf

【日本歌曲】

かやの木山の ————— 山田 耕作
 からたちの花 ————— 山田 耕作
 荒城の月(2番まで) ————— 滝 廉太郎
 北秋の ————— 信時 潔
 浜辺の歌(2番まで) ————— 成田 為三

平城山 ————— 平井康三郎
 ふるさとの ————— 石術真礼生
 風の子供 ————— 中田 喜直
 むこうむこう ————— 中田 喜直
 ひぐらし ————— 團 伊玖磨

(2) 自由曲1曲(暗譜)

課題曲中より選択可(ポピュラーも可)。

通常入試(対面式)を選択した場合

(注意)

1. 課題曲・自由曲とも演奏楽譜を出願時に提出すること。伴奏は本学教員が担当する。
演奏楽譜は、提出楽譜作製方法(P.79)を参照のこと。
2. 歌曲の調性は自由とする。
3. オペラ・アリア等は原語・原調とする。
4. オペラ等のレチタティーヴォは省略しても良い。
5. イタリア歌曲については、パリゾッティ版(全音楽譜出版社)を使用する。

オンライン入試 を選択した場合

専門実技・コールユーブンゲン選択者…動画審査を実施(動画の提出方法詳細は、P.88～89を参照)
専門実技及びコールユーブンゲンの動画データを締切日までに提出すること。

(注意)

1. 伴奏と共に撮影すること。伴奏は大学より提供する音源を使用しても、各自が用意した伴奏でも良い。
受験予定で伴奏音源を希望する者には貸与するので、本学入試センターまで請求すること。
2. 歌唱は暗譜により、正面全身の撮影であること。
3. 歌曲の調性は自由とする。
4. オペラ・アリア等は原語・原調とする。
5. オペラ等のレチタティーヴォは省略しても良い。
6. イタリア歌曲については、パリゾッティ版(全音楽譜出版社)を使用する。
7. 楽譜の提出は不要。

一般選抜 A日程

① 面接

② 楽典

③ 聴音またはコールユーブンゲン

下記①または②のいずれかを選択すること。

①聴音(実施方法詳細は、P.15、P.92～93を参照)

旋律聴音：長調・短調各1題

和声聴音

②コールユーブンゲン

以下の5つの中から選択した1曲を、アカペラで演奏すること(階名唱法。移動ド、固定ドどちらでも可)。

ヴェルナー著：第1巻 原書番号No.48a、48b、60、73d、74d

④ 専門実技

(1) 課題曲1曲(原語・暗譜)

総合型選抜に同じ。

(2) 自由曲1曲(暗譜)

課題曲中より選択可(ポピュラーも可)。

通常入試(対面式) を選択した場合

(注意)

1. 課題曲・自由曲とも演奏楽譜を出願時に提出すること。伴奏は本学教員が担当する。
演奏楽譜は、提出楽譜作製方法(P.79)を参照のこと。
2. 歌曲の調性は自由とする。
3. オペラ・アリア等は原語・原調とする。
4. オペラ等のレチタティーヴォは省略しても良い。
5. イタリア歌曲については、パリゾッティ版(全音楽譜出版社)を使用する。

オンライン入試を選択した場合

専門実技・コールユーブンゲン選択者…動画審査を実施(動画の提出方法詳細は、P.88～89を参照)

専門実技及びコールユーブンゲンの動画データを締切日までに提出すること。

(注意)

1. 伴奏と共に撮影すること。伴奏は大学より提供する音源を使用しても、各自が用意した伴奏でも良い。
受験予定で伴奏音源を希望する者には貸与するので、本学入試センターまで請求すること。
2. 歌唱は暗譜により、正面全身の撮影であること。
3. 歌曲の調性は自由とする。
4. オペラ・アリア等は原語・原調とする。
5. オペラ等のレチタティーヴォは省略しても良い。
6. イタリア歌曲については、パリゾッティ版(全音楽譜出版社)を使用する。
7. 楽譜の提出は不要。

一般選抜 B日程

※一般選抜B日程は、通常入試(対面式)のみの実施となります。

- ① 面接
- ② 楽典
- ③ 専門実技

(1) 自由曲1曲(原語・暗譜)

任意の1曲を演奏する(ポピュラーも可)。

ミュージカル

総合型選抜

- ① 面 談 (実施方法詳細は、P.14、P.89～91を参照)
- ② 楽 典 (実施方法詳細は、P.14、P.91～92を参照)
- ③ 専門実技

ヴォーカル・ダンス(バレエ含む)・演技の中から1つまたは複数選んで演じること。
ただし、ヴォーカル実技は必ず行うこと。
また、音楽のジャンルやスタイルは自由とする。

通常入試(対面式)を選択した場合

(注意)

1. ヴォーカル実技でピアノ伴奏が必要な場合は出願時に楽譜を提出すること。伴奏は本学教員が担当する。また、無伴奏や弾き語りも可とする。
2. ピアノ伴奏以外の音源を必要とする場合は、音源を実技試験時に提出すること。但し、音源は、CDとする。
3. ダンス・バレエに関しては動きやすい服装で受験すること。また、試験会場は土足禁止のため、ダンスシューズ等の動きやすい上履きで受験すること。
4. ダンス実技はCDで行う。CD音源は持参すること。
5. 演奏楽譜は、提出楽譜作製方法(P.79)を参照のこと。

オンライン入試を選択した場合

専門実技…動画審査を実施(動画の提出方法詳細は、P.88～89を参照)

[提出動画の長さ(分数)]

ヴォーカル：1曲3分程度(複数曲も可)

ヴォーカルに加えて、ダンス(バレエ含む)・演技等も行う場合：全体で10分以内(ヴォーカルを含む)

実技内容の動画データを締切日までに提出すること。

(注意)

1. ヴォーカル実技で伴奏が必要な場合は、音源を使用しても、各自が用意した伴奏でも良い。また、無伴奏や弾き語りも可とする。

一般選抜 A日程

- ① 面接
- ② 楽典
- ③ 専門実技

通常入試(対面式)を選択した場合

① 専門実技

① ヴォーカル実技

下記(A)、(B)の2曲を演奏する。

(A) 課題曲

コンコーネ 50 番 No.1 ~ No.18 より任意の1曲を演奏する(暗譜。母音唱法。語頭にMやLなどの子音を付加してもよい。繰り返しなし)。

(B) 自由曲

3分程度の任意の1曲を演奏する(暗譜。曲のジャンルは問わない)。

(注意)

1. コンコーネの演奏No.及び音域をWeb出願時に選択すること。
2. 自由曲でピアノ伴奏が必要な場合、出願時に演奏楽譜を提出すること。但し、ヴォーカルスコアとする。
3. 伴奏は本学教員が担当する。
4. 自由曲でピアノ伴奏以外の音源を必要とする場合、実技試験時に提出すること。但し、音源はCDとする。
5. 調性は自由とする。
6. 演奏楽譜は、提出楽譜作製方法(P.79)を参照のこと。
7. Web出願の際に、自由曲のピアノ伴奏の要・不要を選択すること。

② ダンス実技

ジャズダンスの基本的なステップとそれらをコンビネーションさせた振り付けを試験官が指導し、練習を行った後で踊る。

(注意)

1. 動きやすい服装で受験すること。
2. 試験会場は土足禁止のため、ダンスシューズ等の動きやすい上履きで受験すること。
3. バレエ、ジャズダンスなどの経験の有無は問わない。

③ 演技実技

P.85の演技課題より(A)または(B)のいずれかを選択し演技する。(暗記)。

出展：ウィリアム・シェイクスピア作「夏の夜の夢」「十二夜」

河合祥一郎訳(角川文庫版)

(注意)

演技課題(A)、(B)は、他の翻訳版でも可とする。

④ 口頭試問

ミュージカルに関する内容を中心に口頭試問を行う。

② 面接

オンライン入試を選択した場合

① 専門実技 (実施方法詳細は、P.88～89を参照)

① ヴォーカル実技

下記(A)、(B)の2曲を演奏する。

(A) 課題曲

コンコーネ50番No.1～No.18より任意の1曲を演奏する(暗譜。母音唱法。語頭にMやLなどの子音を付加してもよい。繰り返しなし)。

(B) 自由曲

3分程度の任意の1曲を演奏する(暗譜。曲のジャンルは問わない)。

(注意)

1. 伴奏が必要な場合は、音源を使用しても、各自が用意した伴奏でも良い。
2. 調性は自由とする。

② ダンス実技

1分程度のダンスパフォーマンス(ジャンルは自由)

③ 演技実技

P.84の演技課題より(A)または(B)のいずれかを選択し演技する(暗記)。

出展：ウィリアム・シェイクスピア作「夏の夜の夢」「十二夜」

河合祥一郎訳(角川文庫版)

(注意)

演技課題(A)、(B)は、他の翻訳版でも可とする。

④ 口頭試問

ミュージカルに関する内容を中心に口頭試問を行う。

② 面接 (実施方法詳細は、P.89～91を参照)

専門実技①ヴォーカル実技、②ダンス実技、③演技実技…動画審査を実施。(動画の提出方法詳細は、P.88～89を参照)

実技内容の動画データを締切日までに提出すること。

専門実技④口頭試問…専門実技当日の面接時にオンラインで実施。

一般選抜 B日程

※一般選抜B日程は、通常入試(対面式)のみの実施となります。

- ① 面接
- ② 楽典
- ③ 専門実技

一般選抜A日程に同じ。

バレエ

総合型選抜

通常入試(対面式)を選択した場合

- ① 面談 (実施方法詳細は、P.14 を参照)
- ② 専門実技
クラシックバレエクラス (バーとセンター、ポワント)
※ポワントは女性のみ。

オンライン入試を選択した場合

専門実技…動画審査を実施 (動画の提出方法詳細は、P.88 ~ 89 を参照)

[提出動画の長さ (分数)] 10 分以内

実技内容の動画データを締切日までに提出すること。

※伴奏使用の曲は自由とする。

- ① 面談 (実施方法詳細は、P.89 ~ 91 を参照)
- ② 専門実技

クラシックバレエクラスから

以下の①~④の動画を提出すること。10 分以内とする。

① 1 番ポジション (アン・バ)、ファースト・アラベスク (左右両方) の 2 つのポジションで 5 秒ずつキープする。

② バーレッスン：4 つ

プリエ、タンデュ、ジュテ、ロン・ドウ・ジャンプ・ア・テール、フォンデュ、フラッペ、アダージョ、グラン・バットマンから選んで左右交互に撮影。

(例) プリエ右→タンデュ+ジュテ左→ロン・ドウ・ジャンプ・ア・テール+フォンデュ右→アダージョ+グラン・バットマン左など

③ センターレッスン：4 つ

アダージョ (タンデュ・ピルエットなど)

アレグロ (ソテ、アッサンブレ、ジュテなど)

グランアレグロ (シソンス、グラン・パ・ドウ・シャ、グラン・ジュテなど。男性のみ、トゥール・アン・レール)

④ ポワントワーク：3 つ

2 拍子 (ルルベ、エシャッペなど)

3 拍子 (ピルエット、ピケ、フェッテ・アラベスクなど)

斜めに (トゥール・ピケ・アン・ドウダン、シェネなど)

※ポワントは女性のみ。

(注意) 通常入試(対面式)・オンライン入試共通

服装について

・女性…髪をシニヨンにまとめる。

単色のシンプルなデザインのリオタード (スカート、フリル無し) にピンクタイツ着用 (レッグウォーマー不可)。

バレエ・シューズ、ポワントを用意のこと。

・男性…白のTシャツまたはリオタードと黒タイツと白のソックス。

バレエ・シューズを用意のこと。

一般選抜 A 日程

- ① 面接
- ② 専門実技
総合型選抜に同じ。

一般選抜 B 日程

※一般選抜B日程は、通常入試(対面式)のみの実施となります。

- ① 面接
- ② 専門実技
総合型選抜に同じ。

ダンス

総合型選抜

- ① 面 談（実施方法詳細は、P.14、P.89～91を参照）
- ② 専門実技
 - 1 分程度のダンスパフォーマンス（ジャンルは自由）

通常入試（対面式）を選択した場合

（注意）

1. 動きやすい服装で受験すること。また、試験会場は土足禁止のため、室内用ダンスシューズ等で受験すること。
2. 音源を、実技試験時に提出すること。
3. 音源は、CD・携帯プレイヤー・スマートフォンのいずれかとする。

オンライン入試を選択した場合

専門実技…動画審査を実施（動画の提出方法詳細は、P.88～89を参照）

[提出動画の長さ（分数）]1分程度

実技内容の動画データを締切日までに提出すること。

（注意）

1. 動画の編集・加工は不可とする。
2. 全身が正面から映るように撮影すること。
3. 受験生が1人で映っていること。

一般選抜 A日程

- ① 面 接
- ② 専門実技
 - 総合型選抜に同じ。

一般選抜 B日程

※一般選抜B日程は、通常入試（対面式）のみの実施となります。

- ① 面 接
- ② 専門実技
 - 総合型選抜に同じ。

ワールドミュージック

総合型選抜

- ① 面談 (実施方法詳細は、P.14、P.89～91を参照)
- ② 楽典 (実施方法詳細は、P.14、P.91～92を参照)
- ③ 聴音 (実施方法詳細は、P.15、P.92～93を参照)

旋律聴音：長調・短調各1題
和声聴音

④ 専門実技

受験楽器は以下のとおりです。

クラシックギター／チェンバロ／アコーディオン／バンドネオン／二胡／マンドリン／
フラットマンドリン／フラメンコギター／バンジョー (5弦)／ドブロギター／ウード／ウクレレ／
リコーダー／ハーモニカ／オカリナ／ケーナ／サンポーニャ／ダラブッカ／レック／タール／ジェンベ／
ジュンジュン／タブラ／モジュラーシンセサイザー 等

■単専攻の場合 (上記の受験楽器一覧より、1つを選択)

(1)、(2) 両方とも行うこと。

(1) 専攻楽器別課題曲または自由曲

志望専攻の楽器を演奏する (楽譜を見ながらの演奏も可)。各楽器とも伴奏なし。

全体で5～7分程度とする。

(2) 口頭試問

専攻楽器の歴史、代表的な作品について口述試験を行う。

■チェンバロ (ピアノでの受験も可)

※チェンバロ、ピアノ共に同様の課題

以下 (A)、(B) の2曲を演奏する。

(A) J.S.Bachの作品 (インヴェンションとシン
フォニア、平均律クラヴィーア曲集、組曲
など) から1曲

(B) 自由曲1曲

■アコーディオン

自由曲 (2曲または3曲)

■バンドネオン

以下 (A) 及び (B) を演奏する。

(A) 任意のスケール (2オクターブ両手)

(B) 自由曲1曲

■クラシックギター

以下 (A) 及び (B) を演奏する。

(A) Matteo Carcassi / 25の練習曲 Op.60 より1
曲

(B) 自由曲1曲

■フラメンコギター

以下 (A) または (B) を選択

(A) クラシックギター奏法で受験の場合：
クラシックギターと同様の課題2曲

(B) フラメンコギター奏法で受験の場合：

以下①及び②を演奏する。

①「ソレア」「アレグリアス」「ブレリアス」
のいずれかの形式で3分以上のソロ
(1曲)

②「グラナイーナ」「タランタ」「マラゲー
ニャ」またはこれらに準ずる形式で3
分以上のソロ (1曲)

※自作、他作は問わない。

■マンドリン

以下 (A) 及び (B) を演奏する。

(A) 以下の作品より1曲選択

R. Calace / Notturmo-Cielo Stellato「夜想曲
星空」

R. Calace / Piccola Gavotta「かわいいガヴォット」

R. Calace / Preludio no.12「前奏曲第12番」

A. Vivaldi / Mandolin Concerto in C major
RV425 (マンドリンソロパート)

C. Munier / Mazurka Concerto「演奏会用マ
ズルカ」(マンドリンソロパート)

(B) 自由曲1曲

■フラットマンドリン

以下、(A) または (B) の課題を選択し、演奏する。

(A)

① アメリカンまたはアイリッシュ・トラディショ
ナルのフィドル曲を異なるキーで2曲演奏。

② スケール

指定したキーでメジャー・スケール及び
マイナー・スケール

③ コード

指定したメジャー・コード及びマイナー・
コード

(B)

① 自由曲2曲

② スケール

指定したキーでメジャー・スケール及び
マイナー・スケール

③ コード

指定したメジャー・コード及びマイナー・
コード

■バンジョー

以下、(A) または (B) の課題を選択し、演奏する。

(A)

- ① Earl Scruggs / Foggy Mountain Breakdown (key of G)
Earl Scruggs の演奏を踏襲したテーマから自身のバリエーション (アドリブ)
- ② 3フィンガー・ロール
フォワード・ロール、バックワード・ロール、リバース・ロールなど基本的な右手パターンを演奏する。
- ③ コードフォーム
指定したキーで、展開形のコードを演奏する。
例) F minor、B♭ Major など

(B)

- ① 自由曲 2 曲
- ② 3フィンガー・ロール
フォワード・ロール、バックワード・ロール、リバース・ロールなど基本的な右手パターンを演奏する。
- ③ コードフォーム
指定したキーで、展開形のコードを演奏する。
例) F minor、B♭ Major など

■ドブロギター

自由曲 (必ず事前に相談のこと)

■ウクレレ

自由曲 (必ず事前に相談のこと)

■ウード

自由曲 (必ず事前に相談のこと)

■二胡

以下、(A) または (B) の課題を選択し、演奏する。

(A) 劉天華 / 空山鳥語

許可作曲、王建民編曲 / 風韻
自由曲: 伝統曲 (または現代曲)

※「風韻」の楽譜が必要な場合は申し出ること。

(B) 自由曲 3 曲

■リコーダー

以下 (A) 及び (B) を演奏する。

(A) G.F.Händel / Sonata in G minor HWV 360
Sonata in A minor HWV 362
Sonata in C major HWV 365
Sonata in F major HWV 369
より任意の楽章 (一楽章)

(B) ルネサンス、バロック期及び現代のリコーダー作品より任意の 1 曲

■ハーモニカ

自由曲 (必ず事前に相談のこと)

■オカリナ

以下 (A) 及び (B) を演奏する。

(A) 任意の音型によるスケール

12音全てによる長音階、短音階の中から当日指定された調を演奏する (各自のオカリナの音域内で演奏できる調を指定する)。演奏範囲は 1 オクターブ以上で、リズムやテンポは任意とする。

(B) 自由曲 2 曲

テンポやジャンルなど雰囲気の異なる 2 曲を自由に選択。

■ケーナ

以下、(A) または (B) の課題を選択し、演奏する。

(A)

- ① Huayno の伝承曲を 1 曲
- ② Cueca, Bailecito, Zamba, Chacarera から任意の 1 曲
- ③ 自由曲 (1 曲)
※ 3 曲とも異なる調性で演奏すること。

(B)

自由曲 3 曲
※ 3 曲とも異なる調性で演奏すること。

■サンポーニャ

以下、(A) または (B) の課題を選択し、演奏する。

(A)

- ① シクリアーダをソロで 1 曲
- ② 自由曲 1 曲
※ 2 曲とも異なる調性で演奏すること。

(B)

自由曲 2 曲
※ 2 曲とも異なる調性で演奏すること。

■中東、西アフリカ系打楽器

自由曲 (必ず事前に相談のこと)

■タブラ

ティーンタール

■モジュラーシンセサイザー

以下、(A) または (B) の課題を選択し、演奏する。

(A) 既存楽曲またはオリジナル曲を任意の楽器で演奏する。

例: J.S.Bach/Inventionen und Sinfonien (BWV 772~801) など (アレンジ可)。

(B) 既存楽曲またはオリジナル曲を、コンピュータ、スマートフォン、タブレットなどで録音したものを再生、または任意のアプリケーションでプログラムした楽曲の再生。

※上記以外の楽器で受験を希望する場合は、入試センターへ問い合わせて指示事項を確認すること。

■複専攻の場合 (P.71 の表より、志望専攻を2つ選択)

(1) 専攻別課題

志望専攻の課題をそれぞれ実施する(課題の内容については、事前に入試センターまで問い合わせること)。

演奏の場合は、各楽器とも伴奏なし。

※時間は、5～7分程度とする。

(2) 口頭試問

専攻楽器の歴史、代表的な作品について口述試験を行う。

※作曲は作品について解説を行う。

通常入試(対面式)を選択した場合

(注意)

演奏楽譜を出願時に提出すること。

演奏楽譜は、提出楽譜作製方法(P.79)を参照のこと。

オンライン入試を選択した場合

専門実技(1) 専攻別課題曲または自由曲…動画審査を実施(動画の提出方法詳細は、P.88～89を参照)

[提出動画の長さ(分数)]5分～7分程度

実技内容の動画データを締切日までに提出すること。

専門実技(2) 口頭試問…専門実技当日の面接時にオンラインで実施。

(注意)

1. 演奏楽譜を出願時に提出すること。

演奏楽譜は、提出楽譜作製方法(P.79)を参照のこと。

2. 独奏であること。伴奏はつけない。

3. 全曲通して演奏した録画を提出する。動画の編集、加工は不可。

複数の曲を弾く場合は、1回の録画で全曲を撮ること。

4. 全身が映っていること。カメラは固定。

5. 2024年7月以降に撮影したものとする。

一般選抜 A 日程

① 面接

② 楽典

③ 聴音

旋律聴音：長調・短調各1題

和声聴音

④ 専門実技

総合型選抜に同じ。

一般選抜 B 日程

※一般選抜B日程は、通常入試(対面式)のみの実施となります。

① 面接

② 楽典

③ 専門実技

総合型選抜に同じ。

[ワールドミュージックコース 複専攻 カテゴリー一覧]

※複専攻として2つを選択する場合は、必ず異なるカテゴリー（異なる楽器等の系統）から選択すること。

【選択例】 ピアノ+フルートは、鍵盤楽器+管楽器のため、選択可。打楽器(クラシック)+ドラム(ジャズ)は、同じ打楽器に属するため、選択不可。

カテゴリー (楽器の系統)	単専攻(主科レッスン50分) ワールドミュージック 専門研究楽器	複専攻(主科レッスン30分+30分) ※異なるカテゴリーより2つ選択
鍵盤楽器系	チェンバロ アコーディオン バンドネオン	ワールドミュージック(鍵盤楽器) ピアノ ジャズ&アメリカンミュージック(ピアノ) 電子オルガン
弦楽器系	クラシックギター フラメンコギター マンドリン フラットマンドリン ドブロギター バンジョー(5弦) 二胡 ウード ウクレレ	ワールドミュージック(弦楽器) 弦楽器(各楽器) ジャズ&アメリカンミュージック(弦楽器)
管楽器系	リコーダー クロマティックハーモニカ オカリナ ケーナ サンポーニャ	ワールドミュージック(管楽器) 管楽器(各楽器) ジャズ&アメリカンミュージック(管楽器)
打楽器系	ドラブッカ レック タール ジェンベ ジュンジュン タブラ	ワールドミュージック(打楽器) 打楽器 ジャズ&アメリカンミュージック(打楽器)
作曲・電子音楽系	モジュラーシンセサイザー	作曲 音楽・音響デザイン
声楽系	—	ヴォイストレーニング(声楽、ミュージカル、 声優アニメソング)
現代邦楽系	—	現代邦楽(各楽器)

声優アニメソング

総合型選抜

① 面談（実施方法詳細は、P.14、P.89～91を参照）

② 専門実技

(1)～(3)全てを行うこと。

(1)〈男女共通〉セリフ課題

以下の文章を朗読、もしくは芝居で表現すること。

前口上

(パック)

これからお贈りするお話は、ウィリアム・シェイクスピアの名作「真夏の夜の夢」。ご存知ですか、「真夏の夜」とは夏至の夜のことで。そう、一年で最も昼が長く、最も夜が短い日。

昔からヨーロッパでは、夏至の夜に神秘的な出来事が起こる、という言い伝えがあります。森に住む妖精たちのパワーが、一年で最も強くなるのが夏至の夜。中にはイタズラ者の妖精もいますから...、どんな事件が起こりますやら。

それでは、メンデルスゾーンが描いた音楽の森へ、妖精の翼にのって飛んでいきましょう！でも皆さん、この芝居の中で恋人たちがしでかす、ちょっとイケナイことを大目にみてくださいね。

すべては、夏至の夜の、夢の中の出来事。さあどこまでが現実で、どこからが夢なのか。いいえ、気づいた時はもうすでに、あなたは夢の中にいるのです.....。

(2) 歌唱課題

以下の課題を、アカペラで歌唱する。

「きらきら星 (Twinkle, Twinkle, Little Star)」 八長調 (C major)

※日本語か英語を、適宜選択すること。

※試験会場にて、声色、別の調性 (C～G 辺り)、リズム、テンポ等をリクエストする場合がある。

(3) ヴォイス・プレゼンテーション

以下の内容を、制限時間内 (5分程度) で行うこと。

「音声」に関連する自分の表現力をアピールする。歌 (ヴォーカル)、ナレーション、発声発音、朗読、演技など、形式は自由とする。

通常入試 (対面式) を選択した場合

(注意)

1. 試験会場にピアノ、オーディオ再生装置 (DVD・BD)、マイクロフォン1本、プロジェクターは用意されている。それ以外の楽器・機材は各自持参すること。
2. 自作品の演奏・歌唱も可能。
3. 伴奏や背景を必要とする場合は、DVD・BDによるものとし、実技試験時に提出すること。
4. 背景や映像を使用する場合に限り、PC持参による音声・画面出力も可とする。HDMIケーブルに接続可能な各種変換アダプターを必ず持参すること。
5. 伴奏音源の音声出力をスマートフォンから行う場合は、ステレオミニケーブルに接続可能な各種変換アダプターを必ず持参すること。
6. USBフラッシュメモリによる、伴奏・背景・映像等の提出は不可とする。

オンライン入試 を選択した場合

専門実技…動画審査を実施 (動画の提出方法詳細は、P.88～89を参照)

[提出動画の長さ (分数)] 5分程度

実技内容の動画データを締切日までに提出すること。

(注意)

1. 自作品の演奏・歌唱も可能。
2. 伴奏・背景・映像の使用も可とする。
3. 動画には受験生が必ず映っていることとする。

一般選抜 A日程

- ① 面接
 - ② 専門実技
- 総合型選抜に同じ。

一般選抜 B日程

※一般選抜B日程は、通常入試(対面式)のみの実施となります。

- ① 面接
 - ② 専門実技
- 総合型選抜に同じ。

音楽教育

総合型選抜

- ① 面談 (実施方法詳細は、P.14、P.89～91を参照)
- ② 楽典 (実施方法詳細は、P.14、P.91～92を参照)
- ③ 聴音 (実施方法詳細は、P.15、P.92～93を参照)

旋律聴音：長調・短調各1題
和声聴音

④ 専門実技

(1) 小論文 (字数800字以内/制限時間60分)

音楽教育や音楽全般に関わる論題を当日出題する。但し、特別な専門知識は要求しない。

(2) 自己アピール実技

(A) 演奏と(B)プレゼンテーションの双方によるアピールを、制限時間内(10分)で行うこと。

(A) 演奏 (楽譜を見ながらの演奏も可)

①または②のいずれか一つは必ず演奏のこと。

これに③を加えたり、あるいは①と②の両方を演奏してもよい。

①ピアノ

任意の曲をピアノで演奏する。演奏する楽曲のジャンルは問わない。

②声楽

任意の曲を歌う。演奏する楽曲のジャンルは問わない。

無伴奏で演奏するか、もしくはマイナスイオン伴奏音源を用意すること。

弾き語りでも可(楽器は問わない)。

③楽器演奏

ピアノと声楽以外の楽器で、任意の曲を演奏する。演奏する楽曲のジャンルは問わない。

(B) プレゼンテーション

中学校もしくは高等学校の音楽の教科書で、鑑賞教材として扱われているクラシック作品から任意の1曲を選び、楽曲の特色について述べよ(資料等の配布も可)。

通常入試(対面式)を選択した場合

(注意)

1. 試験会場にピアノ・電子オルガン・ドラムセット・再生機器(CD・DVD)は用意されている。それ以外の楽器・機材は各自持参すること。楽器演奏をする場合、使用する楽器をWeb出願時に入力すること。
電子オルガン使用機種…ヤマハ・エレクトーン ELS-02C
ドラム仕様はP.83を参照のこと。
2. 自作品の演奏可。
3. 伴奏が必要な場合は、伴奏用音源(マイナスイオン)を実技試験時に提出すること。
音源はCD、DVD、スマートフォン、タブレット、PCのいずれかとする。
4. PC持参による音声、画面出力は可。
5. スマートフォンやPCから音声や画面を出力するための各種変換アダプターを必ず持参すること。
6. HDMIケーブル・ミニステレオケーブルは、試験会場に設置のものを使用可。

オンライン入試を選択した場合

専門実技(1) 小論文…専門実技当日にオンラインで実施(実施方法詳細は、P.93～94を参照)

専門実技(2) 自己アピール実技(A)(B)…動画審査を実施(動画の提出方法詳細は、P.88～89を参照)

[提出動画の長さ(分数)]10分以内

実技内容の動画データを締切日までに提出すること。

動画には受験生が必ず映っていることとする。

※自己アピール実技のファイルが複数個に渡る場合は、ファイル名を「受験番号・氏名・通し番号」として提出すること。

一般選抜 A日程

- ① 面接
- ② 楽典
- ③ 聴音
旋律聴音：長調・短調各1題
和声聴音
- ④ 専門実技
総合型選抜に同じ。

一般選抜 B日程

※一般選抜B日程は、通常入試(対面式)のみの実施となります。

- ① 面接
- ② 楽典
- ③ 専門実技
総合型選抜に同じ。

音楽環境創造

総合型選抜

① 面談（実施方法詳細は、P.14、P.89～91を参照）

② 専門実技

(1) (2)の両方を受験すること。

(1) 自由プレゼンテーション（自己アピール含む）

興味のあるテーマを一つ取り上げ、PC・スマートフォン・タブレットなどを使用して5分程度でプレゼンテーションを行う。演奏やパフォーマンスを含めることは可能だが、試験会場での演奏はピアノのみ可とする。ピアノ以外の演奏を行う場合は、プレゼンテーション動画または音源として用意すること。

通常入試（対面式）を選択した場合（自由プレゼンテーション）

注意事項及び機材について

1. ピアノは試験会場で使用可。
ピアノ演奏を希望する場合は、Web出願時に入力すること（楽譜を見ながらの演奏も可）。
2. スマートフォン・PC持参による音声・画面出力は可（プロジェクター及びスクリーンは、試験会場に設置のものを使用可能）。但し、音声や画面を出力するための各種変換アダプターを必ず持参すること（USB Type-C⇔HDMIの変換アダプター、Lightning⇔HDMIの変換アダプター及びミニステレオケーブルは、試験会場に設置のものを使用可能）。

オンライン入試を選択した場合（自己アピール実技）

動画審査を実施（動画の提出方法詳細は、P.88～89を参照）

〔提出動画の長さ（分数）〕5分程度

実技内容の動画データを締切日までに提出すること。

※動画は、必ず志願者本人が映った状態で撮影すること。

※自己アピール実技のファイルが複数個に渡る場合は、ファイル名を「受験番号・氏名・通し番号」として提出すること。

(2) 口頭試問

音楽環境創造コースに関連する知識などを問う。但し、専門的な用語についての知識は必要としない。

《出題例》

音量差、音色の相違、特定の楽器の欠如／追加、色彩感覚などについて出題する。出題は、口頭または音源の再生・画像の提示等によって行う。

オンライン入試を選択した場合（口頭試問）

※面接時に実施する。

必ず、パソコンを利用して受験すること。オンライン入試を選択した場合、スマートフォン・タブレットの利用は認められない。

一般選抜 A日程

① 面接

② 専門実技

(1)～(3)全てを受験すること。

(1) 自由プレゼンテーション(自己アピール含む)

総合型選抜に同じ。

(2) 口頭試問

総合型選抜に同じ。

(3) 小論文

課題：「ライブコンサートを成功させるためには、何が重要だと考えますか。あなたの考えを自由に論じなさい。」

字数：制限なし・書式は自由・氏名を明記すること

※小論文は、出願時に提出すること(郵送)

一般選抜 B日程

※一般選抜B日程は、通常入試(対面式)のみの実施となります。

① 面接

② 専門実技

(1)～(3)全てを受験すること。

(1) 自由プレゼンテーション(自己アピール含む)

総合型選抜に同じ。

(2) 口頭試問

総合型選抜に同じ。

(3) 小論文

課題：「ライブコンサートの魅力とは何だと思えますか。あなたの考えを自由に論じなさい。」

字数：制限なし・書式は自由・氏名を明記すること

※小論文は、出願時に提出すること(郵送)

メディアアーツ

- ① 面 談
- ② 専門試験

(1)、(2) の両方を受験すること。

(1) 基礎知識 (30分)

「映像」、「光と色彩」、「音響」、「メディア」、「音楽の基礎」に関する内容を出題する。

通常入試(対面式)を選択した場合(基礎知識)

スマートフォンまたはタブレットを利用して解答する。試験当日は、自分のスマートフォンまたはタブレットを必ず持参すること。

※受験方法は、P.14 を参照。

オンライン入試を選択した場合(基礎知識)

必ず、パソコンを利用して受験すること。オンライン入試を選択した場合、スマートフォン・タブレットの利用は認められない。

※受験方法は、P.91 ~ 92の「楽典」に準ずる。

(2) 小論文(字数：800字程度/制限時間：60分)

映像や音響に関するテーマを、試験当日に出題する(特別な専門知識は必要としない)。

通常入試(対面式)を選択した場合(小論文)

P.15の受験方法に基づき、実施する。

オンライン入試を選択した場合(小論文)

必ず、パソコンを利用して受験すること。オンライン入試を選択した場合、スマートフォン・タブレットの利用は認められない。

※受験方法詳細は、P.93 ~ 94を確認すること。

一般選抜 A日程

- ① 面 接
- ② 専門試験

総合型選抜に同じ。

一般選抜 B日程

※一般選抜B日程は、通常入試(対面式)のみの実施となります。

- ① 面 接
- ② 専門試験

総合型選抜に同じ。

提出楽譜作製方法

「総合型選抜」「一般選抜」共通

該当コース

電子オルガン・ロック&ポップス(ヴォーカル・ギター・ベース・キーボード・シンガーソングライター)・声楽・ミュージカル(伴奏が必要な受験者のみ)・ワールドミュージック

《声楽・ミュージカル》 ※ミュージカルコースの志願者は、台紙(厚紙)の貼付は不要です。

【用意するもの】 ・各ページA4サイズにコピーした楽譜・テープ・台紙

【完成イメージ】 ・ジャバラ折り(広げたら1枚の長い紙になるように、WやMのような形に折る。)

・楽譜1ページ目の裏面が表紙となるよう、曲目、コース、氏名等を記入する。

【注意ポイント】

◎ 書き込みのない、きれいな楽譜を用意すること。伴奏者が演奏しやすい様に体裁を整える等、配慮のうえ提出してください。

→ただし、プレスの位置、特殊な演奏箇所(accel.、rubato、極端な間、等)、特に合わせてもらいたい部分には要望を書き込んで良い。

◎ 全ページ片面コピー。両面コピー不可。

→楽譜はA4、B4等の規格サイズで出版されていないことが多いので、途中で楽譜が切れたりしないように、拡大縮小を工夫すること。

◎ 楽譜と楽譜の間の接着は、製本用テープを使用すること。(スコアテープ、紙テープ、サージカルテープ等無地のもの)

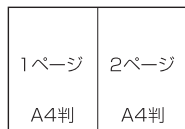
→隙間を空けないように上から下までしっかり留めること。

◎ 台紙は白色、画用紙程度の厚紙、A4サイズ(楽譜と同サイズ)とし、4ページ以上の楽譜は真ん中となるページ2～3ページ分だけに台紙を貼り付ける。

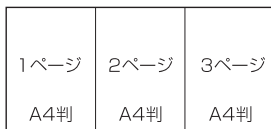
→台紙は表紙ではないので、巻折りや両開き等に折らないこと。

《伴奏譜作製例》

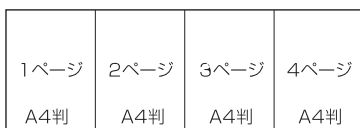
2ページの場合



3ページの場合



4ページの場合



〈例〉

必ずこの部分を空白にしてください。

課題曲
Intorno all'idol mio
作曲者 Marc'Antonio Cesti
〇〇コース 洗足花子

表紙となる紙には、曲目・作曲者名・志望コース名・氏名を記入するとともに、課題曲または自由曲の別を明記してください。

《電子オルガン・ロック&ポップス・ワールドミュージック》

【用意するもの】 ・各ページA4サイズにコピーした楽譜

・ホチキス

・表紙用の白い紙

【完成イメージ】 ・A4(横版でも良い)冊子

【注意ポイント】

◎ 厚紙は不要です。表紙を付け、左上1ヶ所でホチキス止めすること。

◎ 全ページ片面コピー。両面コピー不可。

◎ 表紙は楽譜と同サイズの白い紙で作製すること。

◎ ロック&ポップスのヴォーカル・シンガーソングライター希望者は、メロディー譜だけではなく、歌詞も添付すること。

歌詞付きのメロディー譜でも良い。

〈例〉

必ずこの部分を空白にしてください。

曲名
作曲者名
電子オルガンコース 洗足花子

■ 管楽器コース (木管) スケール譜例

1. フルート

次のスケールをタンギングで演奏する。

♩=120ca.

G-dur 

g-moll 

2. オーボエ

Moderato

D-dur 

Moderato

c-moll 

3. クラリネット

Moderato

A-dur 

Moderato

fis-moll 

4. ファゴット

次のスケールをスラーまたはタンギングで演奏する。

Moderato

B-dur 


Moderato

g-moll 


5. サクソフォーン (アルト・バリトン in E^b) (ソプラノ・テナー in B^b)

次のスケールをスラーまたはタンギングで演奏する。

Moderato

Es-dur 

Moderato

c-moll 

■ 管楽器コース (金管) スケール譜例

1. ホルン (in F)

Moderato

B-dur
(実音)



Moderato

c-moll
(実音)



2. トランペット (in B^b)

Moderato

As-dur
(実音)



Moderato

g-moll
(実音)



3. トロンボーン

♩=80

B-dur



♩=80

g-moll



4. バストロンボーン

♩=80

F-dur



♩=80

d-moll



5. ユーフォニアム

♩=80

B-dur
(実音)



♩=80

g-moll
(実音)



6. テューバ

♩=80

B-dur
(実音)



♩=80

g-moll
(実音)



■ 打楽器コース スケール譜例

1 マリンバ

Allegretto ♩=108 ca.



Allegretto ♩=108 ca.



■ ロック&ポップスコース

● 伴奏課題

ギター・ベース・キーボード

E $\frac{B}{D\#}$ C $\#m^7$ G $\#m^7$

A $\frac{E}{G\#}$ A B / Cdim

C $\#m$ G $\#m$ A / B E / $\frac{B}{D\#}$

C $\#m$ G $\#m$ A / Am B / Ab 7

Bbm 7 / Gb Ab / Db Bbm 7 / Gb Ab / Db

Gb / Ab Fm 7 / Bbm 7 B Ab

A B Db(sus4) Db

■ ロック&ポップスコース

● 基礎打ち譜例

ドラム・パーカッション

1) シングルストローク

2) ダブルストローク

■ ジャズ&アメリカンミュージックコース、音楽教育コース

ドラム仕様

〈ドラムセット〉
YAMAHA Maple Custom
*バスドラム 18 inch
*タム 12 inch
*フロアタム 14 inch
*スネアドラム 14 inch

〈シンバル〉
Zildjian
*ハイハットシンバル 14 inch
*ライドシンバル 20 inch
*クラッシュシンバル 18 inch

※上記と同程度のものを使用

■ ミュージカルコース 演技課題 (一般選抜のみ)

(A) 夏の夜の夢 (第五幕第一場)

ウィリアム・シェイクスピア作
河合祥一郎訳

〈男女共通〉バック (第五幕第一場)

影にすぎない我らの舞台、
お気に召さずば、こう思って頂きたい。
皆様、ここで眠ってたのだと。
おかしな夢を見たのだと。
取るに足らない、つまらぬ話、
夢のように、たわいもなし。
どうか皆様、お赦しを
頂きますれば、喜び、ひとしお。
おいらバックは正直者。
野次や批判は嫌なもの。
お叱りなくば、こりゃ幸せ。
いずれしますよ、埋め合わせ。
しなきゃ、嘘つきとお呼びください。
それでは、皆様、おやすみなさい。
ご厚意あらば、拍手をどうぞ。
そしたらロビンはお礼を言うぞ。

(B) 十二夜

ウィリアム・シェイクスピア作
河合祥一郎訳

〈男〉オーシーノ (第一幕第一場)

音楽が恋の糧なら、続けてくれ。
嫌というほど味わえば、さすがの恋も飽きがきて、
食欲も衰え、なくなるかもしれぬ。
今のところをもう一度。消え入るような調べであった。
ああ、この耳に響くその甘い調べ、まるで
薫咲き誇る丘を吹く風が、香りを盗んで
運んでくるようだ。もういい、やめろ、うんざりだ。
もはや甘くはない。耳障りだ。
ああ、恋よ。お前はなんて瑞々しく貪欲なんだ！
海のように何もかも呑み込み、
限りを知らぬ。そこに入れば、
どんな高みを舞う偉大な者でも、
その力や価値を、たちまちにして
失うのだ！ 恋は真に変幻自在、
心が生み出す幻だ！

〈女〉ヴァイオラ (第二幕第二場)

指輪なんて置いてこなかったのに。どういうこと？
まさか、この外見に惚れたなんてことありませんように！
私をしげしげとご覧になっていた。そう言えば、
見とれて言葉を失うという感じだった。
話す言葉もとぎれとぎれで脈絡がなかったし。
私に惚れたんだ、間違いない。その思いの丈を巧みにも、
あの無礼な使いをよこして伝え、私に誘いをかけたんだ。
指輪など要らないですって？ そんなものあげちゃいないもの。
お目当ての男は私なんだ。もしそうなら—実際そうなんだから、
可哀想なお嬢様、夢に恋したほうがまし。
なんて罪作りなのかしら、変装って。
悪魔も、見かけをごまかして人を騙す。
ハンサムな悪党なら、ロウのように柔らかい女の心に
いともたやすくその姿を刻みつけてしまう！

オンライン入試について

※ロック&ポップスコースは、通常入試(対面式)のみの実施となります。

オンライン受験の事前準備

オンライン入試は、Google Classroom 及び Google Meet を使用して実施します。Web 出願が完了した後、本学より Web 出願システム(大学出願ネット)を通じて、受験用の Google Classroom アカウント情報をお送りします。

【Google Classroom とは】

Google 社が無料で提供する教育プラットフォームです。教員(本学)は「Class」と呼ばれる「教室空間」を設けることができ、生徒(受験者)は「課題の提出」等を簡単に行うことができます。

【Google Meet とは】

Google Meet は、Google 社が無料で提供するビデオ会議ツールです。

本学のオンライン入試は、この Google Classroom 及び Google Meet の機能を利用して実施致します。

※パソコンを使用する場合は、必ず Web カメラ・マイク・スピーカー(ヘッドフォン・ヘッドセットでも可)が内蔵または付属されている機種を使用してください。

※パソコン・スマートフォン・タブレットの OS やブラウザは、最新のものを利用してください。

※スマートフォンまたはタブレットを利用する場合は、事前にアプリのインストールが必要です。



【スマートフォン・タブレットへの Classroom 及び Meet のインストール方法】

● Android の場合

Android デバイスで Classroom を使用するには、Google Play から Classroom 及び Meet アプリをダウンロードします。

1. デバイスで [Play ストア] をタップします。
2. Google Classroom、Google Meet アプリを検索してインストールします。

● iPhone、iPad の場合

iPhone や iPad で Classroom を使用するには、Apple® App Store® から Classroom 及び Meet アプリをダウンロードします。

1. デバイスで [App Store] をタップします。
2. Google Classroom、Google Meet アプリを検索してインストールします。

注: Classroom アプリは Microsoft® Windows® のモバイルデバイスでは利用できません。

1. Google Classroom の初期設定

- ① 出願が完了すると、本学より受験用の Google アカウントと、コース別専門実技試験の動画提出用のクラスコードを通知します(動画の提出が不要なコースもありますので、詳細はコース別試験科目 P.29 ~ 78 を確認してください)。
- ② Google Classroom 公式サイトにアクセスまたは、アプリを起動します。

パソコンの場合



スマートフォン・タブレットの場合



- ③ ①の受験用 Google アカウントでログイン します。

パソコンの場合



スマートフォン・タブレットの場合



- ④ ログインが完了すると、Classroom のホーム画面が表示されます。これで、Google Classroom を利用するための初期設定は完了です。

テスト接続及び受験方法確認

出願時にオンライン入試を選択した方は、必ず試験前日までにオンライン受験の手順確認及び Google Classroom・Google Meet へのテスト接続を行ってください。

受験手順確認用の URL 及びテスト接続の日時・接続先等については、出願締切後、大学出願ネットを通じてお知らせします。

オンライン入試の受験方法

※ロック&ポップスコースは、通常入試(対面式)のみの実施となります。

コース別専門実技

コース別専門実技は、動画審査となります。以下の注意事項を確認の上、動画の作成・提出を行ってください。

(動画の提出が不要なコースもありますので、詳細はコース別試験科目 P.29 ~ 78 を確認してください)。

1. 動画の提出期限

各入試区分における動画の提出期限は、以下のページを確認してください。

- ・ 総合型選抜 P.8
- ・ 一般選抜 A 日程 P.11

2. 提出動画の作成(撮影)方法

- ① 動画撮影にあたり、使用する撮影機材等の指定はありません。スマートフォンや、一般的なビデオカメラで撮影した動画で問題ありません。
- ② 動画のファイル形式(拡張子)は、「.mp4」「.mov」のいずれかで提出してください。それ以外のファイル形式は、受け付けることができません。

【例】iPhoneで撮影した場合：「.mov」のファイル形式となります。

Androidで撮影した場合：「.mp4」のファイル形式となります。

※一部の機種では、上記のファイル形式で保存されない場合がありますので、提出する前に必ず確認を行ってください。

- ③ 提出動画の長さ(分数)はコース毎に異なりますので、P.29～78の「コース別試験科目」を確認してください。

3. 動画撮影時の注意事項(全コース共通事項)

- ① はじめに、カメラに向かって志望コース・氏名・最終学歴(学校名等)を述べてください。
- ② 基本的に、全身が映るように撮影を行ってください。撮影環境により、やむを得ず全身を映すことが難しい場合は、演奏やプレゼンテーションの内容がはっきりと確認できるように撮影を行ってください。
- ③ 演奏動画の編集・加工は行わないでください。
- ④ 原則、カメラは固定とします。
※②～④について：コースによっては、この限りではありません。詳細は、P.29～78の「コース別試験科目」を確認してください。

4. 動画の提出方法

撮影した動画は、Google Classroomにアップロードして提出していただきます。

- ① Google Classroomにログインしてください。
- ② クラスコードを入力して、「参加」をクリックしてください。

パソコンの場合



スマートフォン・タブレットの場合

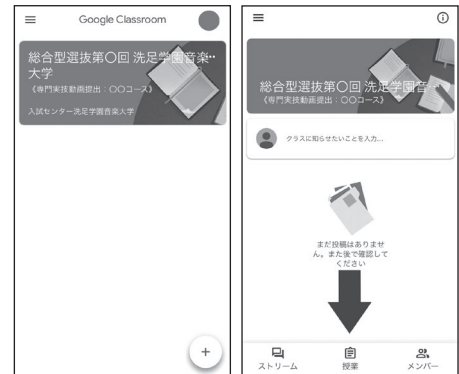


- ③ 出願した入試及びコースの、クラスの初期画面が表示されます。「授業」のタブを選択し、出願したコースの「課題を表示」を選択してください。

パソコンの場合



スマートフォン・タブレットの場合



- ④ 動画を送信するには、[あなたの課題] ⇒ パソコンの場合：[追加または作成]、スマートフォン・タブレットの場合：[添付ファイルを追加] を選択します。次に、動画の保存方法によって [Google ドライブ]、[リンク]、または [ファイル] を選択します。

添付するファイルまたは Google Drive を選択するか、YouTube 等のリンクの URL を入力して [追加] をクリックします。

注：自分がオーナーではないファイルを追加することはできません。

パソコンの場合



スマートフォン・タブレットの場合



- ⑤ [提出] を選択して確定します。「課題」のステータスが [提出済み] に変わります。

動画提出時の注意事項

- ・ [提出] を選択した時にエラーメッセージが表示される場合は、入試センターまで連絡してください。
- ・ 動画の提出 (アップロード) は、1 回限り可能です。一度提出した後の変更及び再提出はできませんので、十分注意してください。
- ・ 動画のアップロードには時間を要します。時間に余裕をもって提出してください。
- ・ 動画のアップロードは、通信の安定した環境で行ってください。
- ・ YouTube 等の動画サイトを使用する場合は、必ず「限定公開」としてください。
- ・ 動画ファイルは、zip ファイルでのアップロードはできません。

面談・面接

1. 受験の事前準備

- ・ スマートフォン・タブレット・パソコン※のいずれかを用意してください。
- ・ 試験中に第三者が立ち入らない静かな環境を確保の上、受験してください。
- ※パソコンを使用する場合は、必ず Web カメラ・マイク・スピーカー (ヘッドフォン、ヘッドセットでも可) が内蔵または付属されている機種を使用してください。
- Web 出願後に発行される受験票を出力の上、手元に用意してください。

2. 試験の実施方法

面談・面接は、Google Classroom 及び Google Meet を使用して実施します。

試験の2日前までに、Web 出願システム (大学出願ネット) を通じて面談・面接用のクラスコードをお知らせします。

※ Google Classroom 用アカウントは、P.86 ~ 87 でお知らせしたものと同じです。

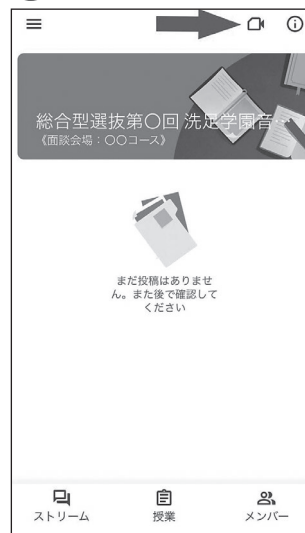
3. 受験方法

- ① 試験当日の集合時刻までに、P.86 ~ 87 の「オンライン受験の事前準備」と同様の手順で、Google Classroom にアクセスしてください。試験当日の集合時刻等は、試験2日前までにお知らせします。
- ② 面談・面接用のクラスコードを入力後、Google Meet にアクセスしてください。

パソコンの場合

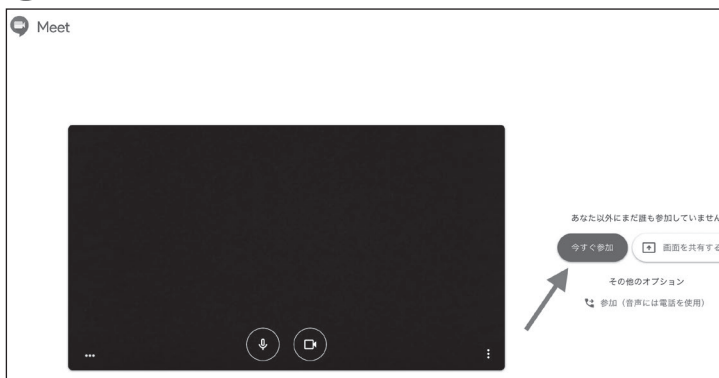


スマートフォン・タブレットの場合

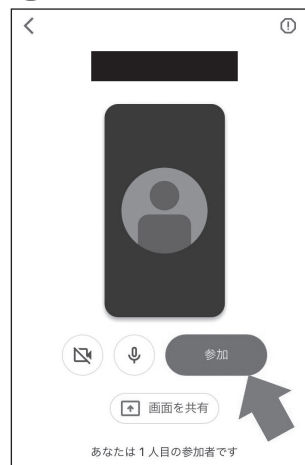


- ③ Google Meet の「今すぐ参加」または「参加」を選択してください。その際、スマートフォン・タブレット・パソコンのカメラ及びマイクがオンになっていることを必ず確認してください。

パソコンの場合



スマートフォン・タブレットの場合



- ④ 面談員 (面接員) が入室するまで待機してください。面談員 (面接員) 入室後、指示に従い面談 (面接) を受験してください。

4. オンライン面談（面接）に関する注意事項

- ・面談（面接）実施中、本学はGoogle Meetを使用して面談の様子を録画します。
- ・試験実施中、試験画面以外の閲覧は禁止します。
- ・試験画面の録画及びスクリーンショットの使用は禁止します。
- ・カメラは、顔全体がはっきりと映るよう設置してください。
- ・オンラインで受験する場合、マスクの着用は認められません。

【受験中に以下の内容が確認された場合は、即時失格となります】

- ・受験生が画面から外れたり、受験生以外の第三者が画面上に確認された場合。
- ・不審な動き等が確認された場合。
- ・Google Meetに他のユーザーを招待した場合。

5. その他

- ・受験の際に発生する通信料は、受験生にご負担いただきます。予めご了承ください。

楽典（該当コースのみ）

通常入試（対面式）・オンライン入試共通の入試問題となります。

1. 受験の事前準備

- ・パソコン※を用意してください。楽典の試験では、スマートフォン・タブレットの利用は認められません。
- ・試験中に第三者が立ち入らない静かな環境を確保の上、受験してください。
※必ず、Webカメラ・マイク・スピーカー（ヘッドフォン、ヘッドセットでも可）が内蔵または付属されている機種を使用してください。
Web出願後に発行される受験票を出力の上、手元に用意してください。

2. 試験の実施方法

- ① 楽典のオンライン入試は、Google Classroom及びGoogle Meetを使用して実施します。
試験日の2日前までに、Web出願システム（大学出願ネット）を通じて楽典試験用のクラスコードをお知らせします。
※Google Classroom用アカウントは、P.86～87でお知らせしたものと同じです。
- ② 試験は、1つのClassroomに複数の志願者が入室した状態で行われます（出願状況によっては、この限りではありません）。
- ③ 試験実施中は、Google Meetにより本学の試験監督員と常時オンラインで接続された状態となります（カメラを使用します）。

3. 受験方法

パソコンを利用して解答していただきます。

- ① 試験当日の集合時刻までに、P.86～87の「オンライン受験の事前準備」と同様の手順で、Google Classroomにアクセスしてください。試験当日の集合時刻等は、試験2日前までにお知らせします。
- ② 楽典試験用のクラスコードを入力後、Google Meetにアクセスしてください。
- ③ Google Meetの「今すぐ参加」を選択してください。その際、カメラがオンになっていることを必ず確認してください。参加後、試験監督員の指示があるまで待機してください。
※Google Meetに他のユーザーを招待した場合や、チャット機能を利用した場合は即時失格となりますので、十分注意してください。
- ④ 試験監督員の入室後、出席確認・注意事項等の説明・顔写真照合等を行います。
- ⑤ 試験監督員の指示に従い、Google Classroomから試験問題URLにアクセスしてください。
- ⑥ 試験開始直前に、試験監督員よりGoogle Meetを通じて試験問題開封用のパスワードが提示されます。
- ⑦ 指示に従い、試験を開始してください。
- ⑧ 試験中は、Google Meetを通じて、常時オンラインで大学（試験監督員）と接続された状態を維持してください。カメラをオフにした場合、失格となります。

4. 楽典受験に関する注意事項

- ・試験実施中、本学はGoogle Meetを使用して試験の様子を録画します。
- ・試験実施中、試験画面以外の閲覧は禁止します。
- ・試験画面の録画及びスクリーンショットの使用は禁止します。
- ・カメラは、顔全体がはっきりと映るよう設置してください。
- ・オンラインで受験する場合、マスクの着用は認められません。

【受験中に以下の内容が確認された場合は、即時失格となります】

- ・受験生が画面から外れたり、受験生以外の第三者が画面上に確認された場合。
- ・不審な動き等が確認された場合。
- ・Google Meetのチャット機能を使用した場合。
- ・Google Meetに他のユーザーを招待した場合。

5. その他

- ・受験の際に発生する通信料は、受験生にご負担いただきます。予めご了承ください。

聴音 (該当コースのみ)

通常入試 (対面式)・オンライン入試共通の入試問題となります。

1. 受験の事前準備

- ・パソコン※1を用意してください。聴音の試験では、スマートフォン・タブレットの利用は認められません。
- ・聴音試験用のGoogle Classroomからダウンロードした五線紙のPDFデータを、A4版で印刷してください。※2
- ・試験中に第三者が立ち入らない静かな環境を確保の上、受験してください。
 - ※1 必ず、Webカメラ・マイク・スピーカー (ヘッドフォン、ヘッドセットでも可) が内蔵または付属されている機種を使用してください。
Web出願後に発行される受験票を出力の上、手元に用意してください。
 - ※2 聴音試験用のクラスコードは、試験日の2日前までにお知らせします。

2. 試験の実施方法

- ① 聴音のオンライン入試は、Google Classroom及びGoogle Meetを使用して実施します。
試験の2日前までに、Web出願システム (大学出願ネット) を通じて聴音試験用のクラスコードをお知らせします。
※ Google Classroom用アカウントは、P.86～87でお知らせしたものと同じです。
- ② 試験は、1つのClassroomに複数の志願者が入室した状態で行われます (出願状況によっては、この限りではありません)。
- ③ 試験実施中は、Google Meetにより本学の試験監督員と常時オンラインで接続された状態となります (カメラを使用します)。

3. 受験方法

パソコンを利用します。

- ① 試験当日の集合時刻までに、P.86～87の「オンライン受験の事前準備」と同様の手順で、Google Classroomにアクセスしてください。試験当日の集合時刻等は、試験2日前までにお知らせします。
- ② 聴音試験用のクラスコードを入力後、Google Meetにアクセスしてください。
- ③ Google Meetの「今すぐ参加」を選択してください。その際、カメラがオンになっていることを必ず確認してください。
参加後、試験監督員の指示があるまで待機してください。
※ Google Meetに他のユーザーを招待した場合や、チャット機能を利用した場合は即時失格となりますので、十分注意してください。
- ④ 試験監督員の入室後、出席確認・注意事項等の説明・顔写真照合を行います。
- ⑤ 試験監督員の指示に従い、Google Classroomから試験問題URLにアクセスしてください。
- ⑥ 試験開始直前に、試験監督員よりGoogle Meetを通じて試験問題開封用のパスワードが提示されます。
- ⑦ 指示に従い、音声の再生確認及び音量の確認を行い、試験を開始 (五線紙への記入を開始) してください。
- ⑧ 試験中は、Google Meetを通じて、常時オンラインで大学 (試験監督員) と接続された状態を維持してください。
カメラをオフにした場合、失格となります。

- ⑨ 試験終了後、速やかに解答用紙を撮影またはスキャンし、写真データまたはPDFデータでGoogle Classroomに提出してください。
※解答用紙の撮影・スキャン・提出時のみ、スマートフォンまたはタブレットの使用を認めます。

4. 聴音受験に関する注意事項

- ・試験実施中、本学はGoogle Meetを使用して試験の様子を録画します。
- ・試験実施中、試験画面以外の閲覧は禁止します。
- ・試験画面の録画及びスクリーンショットの使用は禁止します。
- ・カメラは、顔全体がはっきりと映るよう設置してください。
- ・オンラインで受験する場合、マスクの着用は認められません。

【受験中に以下の内容が確認された場合は、即時失格となります】

- ・受験生が画面から外れたり、受験生以外の第三者が画面上に確認された場合。
- ・不審な動き等が確認された場合。
- ・Google Meetのチャット機能を使用した場合。
- ・Google Meetに他のユーザーを招待した場合。

5. その他

- ・受験の際に発生する通信料は、受験生にご負担いただきます。予めご了承ください。

コース別専門実技における、小論文(該当コースのみ)

通常入試(対面式)・オンライン入試共通の入試問題となります。

【該当コース】 音楽教育コース・メディアアーツコース

1. 受験の事前準備

- ・パソコン※1を用意してください。小論文の試験では、スマートフォン・タブレットの利用は認められません。
- ・小論文試験のGoogle Classroomからダウンロードした原稿用紙のPDFデータを、A4版で印刷してください。※2
- ・試験中に第三者が立ち入らない静かな環境を確保の上、受験してください。
 - ※1 必ず、Webカメラ・マイク・スピーカー(ヘッドフォン、ヘッドセットでも可)が内蔵または付属されている機種を使用してください。
Web出願後に発行される受験票を出力の上、手元に用意してください。
 - ※2 小論文試験用のクラスコードは、試験日の2日前までにお知らせします。

2. 試験の実施方法

- ① コース別専門実技における小論文の試験は、Google Classroom及びGoogle Meetを使用して実施します。
試験日の2日前までに、受験票にクラスコードが記載されます。
※Google Classroom用アカウントは、P.86～87でお知らせしたものと同じです。
- ② 試験は、1つのClassroomに複数の志願者が入室した状態で行われます(出願状況によっては、この限りではありません)。
- ③ 試験実施中は、Google Meetにより本学の試験監督員と常時オンラインで接続された状態となります(カメラを使用します)。

3. 受験方法

パソコンを利用します。

- ① 試験当日の集合時刻までに、P.86～87の「オンライン受験の事前準備」と同様の手順でGoogle Classroomにアクセスしてください。試験当日の集合時刻等は、試験2日前までにお知らせします。
- ② 小論文試験用のクラスコードを入力後、Google Meetにアクセスしてください。

- ③ Google Meetの「今すぐ参加」を選択してください。その際、カメラがオンになっていることを必ず確認してください。参加後、試験監督員の指示があるまで待機してください。
- ※ Google Meetに他のユーザーを招待した場合や、チャット機能を利用した場合は即時失格となりますので、十分注意してください。
- ④ 試験監督員の入室後、出席確認・注意事項の説明・顔写真照合等を行います。
- ⑤ 試験開始直前に、試験監督員よりGoogle Meetを通じて論題が提示されます。
- ⑥ 指示に従い、試験を開始してください。
- ⑦ 試験中は、Google Meetを通じて、常時オンラインで大学（試験監督員）と接続された状態を維持してください。カメラをオフにした場合、失格となります。
- ⑧ 試験終了後、速やかに解答用紙を撮影またはスキャンし、写真データまたはPDFデータでGoogle Classroomに提出してください。
- ※解答用紙の撮影・スキャン・提出時のみ、スマートフォンまたはタブレットの使用を認めます。

4. 小論文受験に関する注意事項

- ・試験実施中、本学はGoogle Meetを使用して試験の様子を録画します。
- ・辞書やメモ用紙の利用は禁止します。
- ・試験実施中、試験画面以外の閲覧は禁止します。
- ・試験画面の録画及びスクリーンショットの使用は禁止します。
- ・カメラは、顔全体がはっきりと映るよう設置してください。
- ・オンラインで受験する場合、マスクの着用は認められません。

【受験中に以下の内容が確認された場合は、即時失格となります】

- ・受験生が画面から外れたり、受験生以外の第三者が画面上に確認された場合。
- ・不審な動き等が確認された場合。
- ・Google Meetのチャット機能を使用した場合。
- ・Google Meetに他のユーザーを招待した場合。

5. その他

- ・受験の際に発生する通信料は、受験生にご負担いただきます。予めご了承ください。

一般選抜 過去問題例

- 楽典① P.96～98
ピアノ、管楽器、弦楽器、打楽器、声楽、
ワールドミュージック、音楽教育コース対象
- 聴音① P.99
作曲、ピアノ、管楽器、弦楽器、打楽器、声楽、
ワールドミュージック、音楽教育コース対象
- 楽典② P.100～103
音楽・音響デザイン、電子オルガン、
ジャズ&アメリカンミュージック、ロック&ポップス、
ミュージカルコース対象
- 聴音② P.104
電子オルガン、ロック&ポップスコース対象
- 楽典③ P.105～106
現代邦楽コース対象
- 聴音③ P.107
現代邦楽コース対象
- 作曲コース P.108～109
 - ・和声課題
 - ・自由作曲課題
- ピアノコース(ピアノ&作曲マスタークラス) P.109
 - ・伴奏付け
- 音楽教育コース P.110
 - ・論文課題
- 電子オルガンコース P.110
 - ・即興演奏課題

[楽典①]

System 1: Treble clef, key signature of two sharps (F# and C#), 6/4 time signature. The system consists of four staves. The first staff has circled numbers ①, ㊦, ㊧, ㊨, and ㊩ above it. The second staff has circled numbers ①, ②, and ③. The third and fourth staves contain the bass line with various notes and rests.

System 2: Treble clef, key signature of two sharps, 6/4 time signature. The system consists of four staves. The first staff has circled numbers ㊪, ㊫, and ㊬ above it. The second staff has circled numbers ④, ⑤, ⑥, and ⑦. A bracket labeled 'A' spans the first two measures. The third and fourth staves contain the bass line.

System 3: Treble clef, key signature of two sharps, 6/4 time signature. The system consists of four staves. The first staff has circled numbers ㊭ and ㊮ above it. The second staff has circled numbers ⑧ and ⑩. The third and fourth staves contain the bass line. A bracket labeled 'B' spans the first two measures.

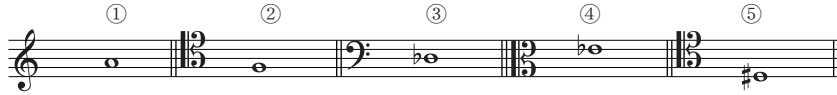
[楽典①]

I. 別紙の楽譜について、以下の問いに答えなさい。

1. ①～⑩で示された2音間の音程を答えなさい。(例：1オクターブと長3度)

- ① _____ ② _____ ③ _____ ④ _____ ⑤ _____
 ⑥ _____ ⑦ _____ ⑧ _____ ⑨ _____ ⑩ _____

2. ①～⑤の転回音程を、指定された音の上方に全音符で書きなさい。



3. ①～⑧の四角で囲った部分で響いている和音の種類を答えなさい。(例：長三和音)

- ① _____ ㊦ _____ ㊧ _____ ㊨ _____ ㊩ _____
 ㊪ _____ ㊫ _____ ㊬ _____ ㊭ _____ ㊮ _____

4. ㊨の和音の属する調をすべて答えなさい。ただし、短調は和声短音階とする。

答え _____

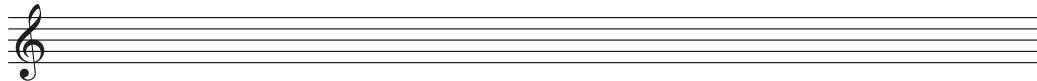
5. A _____ 及び B _____ で示された部分の調を答えなさい。

A _____ B _____

II. 下記の譜例について、以下の問いに答えなさい。

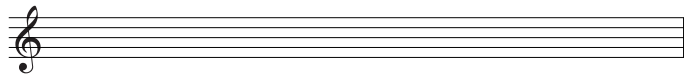


1. 譜例はト長調である。調号と臨時記号を用いて、下記の譜表上に長3度低く移調しなさい。



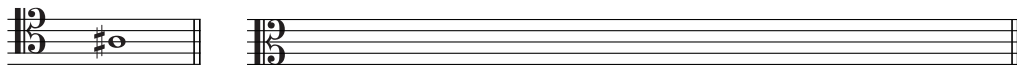
III. 次の各問いに答えなさい。

1. 次の音群が示す調の音階を、指定された譜表上に主音から始まる上行形となるように調号を用いて書きなさい。また、その調名と音階名を答えなさい。



調名： _____ 音階名： _____

2. 次の音を属音とする旋律的短音階の第VI音を導音とする和声的短音階を、主音から始まる上行形となるように、指定された譜表上に調号を用いずに臨時記号を用いて書きなさい。



3. 次の文章を成立させる適切な調の名称(「ハ長調」など)を[]内に記入しなさい。

[]の平行調の属調は、ヘ短調(f moll)である。

IV. 次の楽語の意味に相当するものを語群から選び、()の中にその番号を書きなさい。

- ritenuto () allargando () arioso () ma () tre corda ()
 con spirito () pastorale () pesante () m.d. () sempre ()

語群

- | | | | | |
|---------|-------|--------------|-----------|----------------|
| ① 感情的に | ② 上品に | ③ 次第に遅めながら弱く | ④ 今までより遅く | ⑤ 弱音ペダルを使用しないで |
| ⑥ 常に | ⑦ 右手で | ⑧ 弱音ペダルを使用して | ⑨ 元気に | ⑩ 次第に遅めながら強く |
| ⑪ 歌うように | ⑫ しかし | ⑬ 重々しく | ⑭ 牧歌風に | ⑮ ふざけて |

[楽典① 解 答]

I. 別紙の楽譜について、以下の問いに答えなさい。

1. ①～⑩ で示された2音間の音程を答えなさい。(例：1オクターブと長3度)

- ① 短6度 ② 完全8度 ③ 短3度 ④ 減7度 ⑤ 長2度
 ⑥ 1オクターブと長3度 ⑦ 増4度 ⑧ 1オクターブと減5度 ⑨ 増1度 ⑩ 増5度

2. ①～⑤の転回音程を、指定された音の上方に全音符で書きなさい。



3. ①～③の四角で囲った部分で響いている和音の種類を答えなさい。(例：長三和音)

- ① 長三和音 ② 属七の和音 ③ 減七の和音 ④ 長三和音 ⑤ 短三和音
 ⑥ 短七の和音 ⑦ 長七の和音 ⑧ 増三和音 ⑨ 属七の和音 ⑩ 減三和音

4. ④の和音の属する調をすべて答えなさい。ただし、短調は和声短音階とする。

答え G dur, D dur, A dur, g moll, fis moll

5. A — 及び B — で示された部分の調を答えなさい。

A h moll (口短調) B G dur (ト長調)

II. 下記の譜例について、以下の問いに答えなさい。



1. 譜例はト長調である。調号と臨時記号を用いて、下記の譜表上に長3度低く移調しなさい。

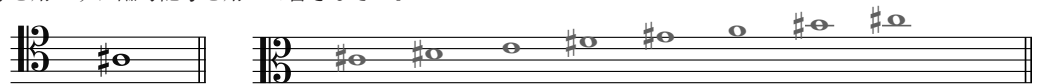


III. 次の各問いに答えなさい。

1. 次の音群が示す調の音階を、指定された譜表上に主音から始まる上行形となるように調号を用いて書きなさい。また、その調名と音階名を答えなさい。

調名：h moll (口短調) 音階名：和声的短音階

2. 次の音を属音とする旋律的短音階の第VI音を導音とする和声的短音階を、主音から始まる上行形となるように、指定された譜表上に調号を用いずに臨時記号を用いて書きなさい。



3. 次の文章を成立させる適切な調の名称(「ハ長調」など)を[]内に記入しなさい。

[変二長調]の平行調の属調は、へ短調 (f moll)である。

IV. 次の楽語の意味に相当するものを語群から選び、()の中にその番号を書きなさい。

- ritenuto (4) allargando (10) arioso (11) ma (12) tre corda (5)
 con spirito (9) pastorale (14) pesante (13) m.d. (7) sempre (6)

語群

- | | | | | |
|---------|-------|--------------|-----------|----------------|
| ① 感情的に | ② 上品に | ③ 次第に遅めながら弱く | ④ 今までより遅く | ⑤ 弱音ペダルを使用しないで |
| ⑥ 常に | ⑦ 右手で | ⑧ 弱音ペダルを使用して | ⑨ 元気に | ⑩ 次第に遅めながら強く |
| ⑪ 歌うように | ⑫ しかし | ⑬ 重々しく | ⑭ 牧歌風に | ⑮ ふざけて |

[聽音①]

1. 旋律聽音 D dur (二長調) 3/4拍子 8小節

Musical notation for exercise 1, consisting of two staves in treble clef. The key signature has two sharps (F# and C#), and the time signature is 3/4. The melody starts on D4, moves to E4, F#4, G4, A4, B4, C#5, D5, then descends: C#5, B4, A4, G4, F#4, E4, D4. The second staff continues: D4, E4, F#4, G4, A4, B4, C#5, D5, then descends: C#5, B4, A4, G4, F#4, E4, D4. The piece ends with a double bar line.

2. 旋律聽音 a moll (イ短調) 6/8拍子 8小節

Musical notation for exercise 2, consisting of two staves in treble clef. The key signature has no sharps or flats, and the time signature is 6/8. The melody starts on A3, moves to B3, C4, D4, E4, F4, G4, A4, then descends: G4, F4, E4, D4, C4, B3, A3. The second staff continues: A3, B3, C4, D4, E4, F4, G4, A4, then descends: G4, F4, E4, D4, C4, B3, A3. The piece ends with a double bar line.

3. 和声聽音 C dur (ハ長調) 2/2拍子 8小節

Musical notation for exercise 3, consisting of two staves in grand staff. The key signature has no sharps or flats, and the time signature is 2/2. The first staff shows chords: C4-E4-G4, C4-E4-G4, C4-E4-G4, C4-E4-G4, C4-E4-G4, C4-E4-G4, C4-E4-G4, C4-E4-G4. The second staff shows a bass line: C3, C3, D3, E3, F3, G3, A3, B3, C4. The piece ends with a double bar line.

[楽典②]

(a) → Moderato

() () () () () () () () () ()

mf
con pedal

to Φ

() () () () () () ()

1.
trill
3
fermata

2.

poco rit.

a tempo ← (c)

[A]

① Gm7 C7 FM7 ② B \flat M7

[B]

③ Bm7(b5) E7 A Aaug

D.C.

Φ Coda rit. ← (d)

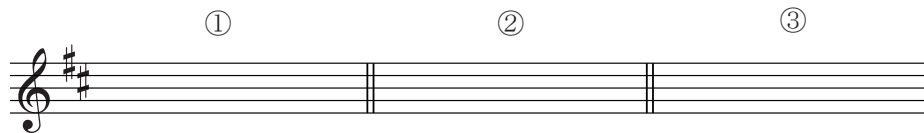
[楽典②]

1) 譜例の括弧の中に適切なコードネームを書き入れなさい。

大譜表にあるすべての音を考慮すること。

例：C (Cメジャー)、Cm (Cマイナー)、Cmaj7 (Cメジャーセブンス)、Cm7 (Cマイナーセブンス)、C₇ (Cセブンス)

2) 譜例の①～③のコードの構成音をルートポジション (基本形) で下書き入れなさい (調号に注意すること)。



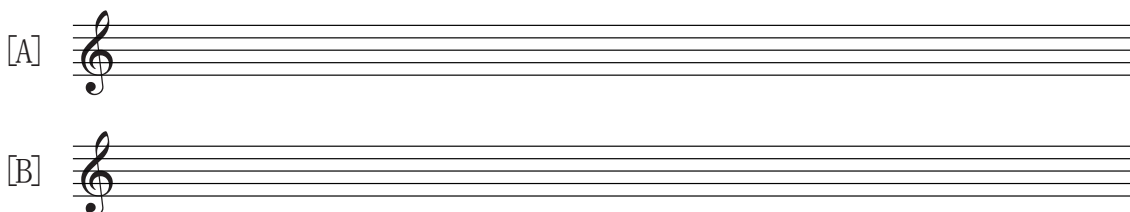
3) 譜例の (a) ~ (d) の記号の名称と意味を答えなさい。

- (a) _____
- (b) _____
- (c) _____
- (d) _____

4) [A] と [B] にある音をそれぞれ並び替えてできる短音階を、調号を用いずに臨時記号を用いて全音符で下書き入れなさい。

※ 重複する音は一つの音とみなす

※ 旋律短音階の場合は上行形を書くこと



5) 譜例のア～エの音程を答えなさい (日本語、英語どちらでもよい)。

ア _____ イ _____ ウ _____ エ _____

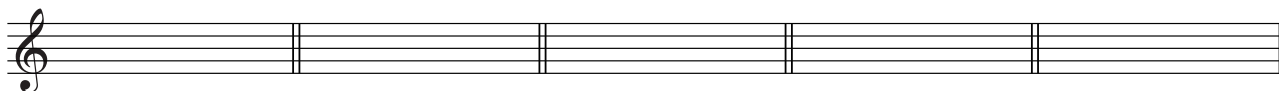
6) 譜例の調号を見て、この曲の調性 (長調とする) とその平行調を答えなさい。

※ 日本語、英語、ドイツ語、どの言葉でもよい

この曲の調性 _____ 平行調 _____

7) 次の調号を下書き入れなさい。

C[#] minor (嬰ハ短調) E^b minor (変ホ短調) G major (ト長調) C minor (ハ短調) A^b major (変イ長調)



8) 譜例の曲の小節数を答えなさい。

_____ 小節

[樂典② 解 答]

(a) → Moderato

(Dmaj7) (F#m) (F#dim) (B7) (Em7) (Em7^(b5)) (A) (A#dim7) to ⊕

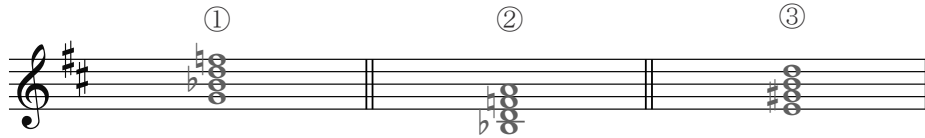
(Bm7) (B^b aug) (E^bm) (A^bm7) (Fm7^(b5)) (B^b7)

1) 譜例の括弧の中に適切なコードネームを書き入れなさい。

大譜表にあるすべての音を考慮すること。

例：C (Cメジャー)、Cm (Cマイナー)、Cmaj7 (Cメジャーセブンス)、Cm7 (Cマイナーセブンス)、C7 (Cセブンス)

2) 譜例の①～③のコードの構成音をルートポジション (基本形) で下書き入れなさい (調号に注意すること)。



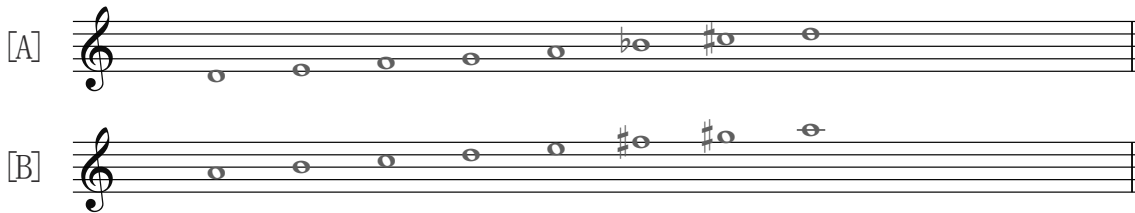
3) 譜例の (a) ~ (d) の記号の名称と意味を答えなさい。

- (a) モデラート 中くらいの速さで
 (b) テヌート 音を十分に保って
 (c) ア テンポ もとの速さで
 (d) リタルダンド 次第に遅く

4) [A] と [B] にある音をそれぞれ並び替えてできる短音階を、調号を用いずに臨時記号を用いて全音符で下書き入れなさい。

※ 重複する音は一つの音とみなす

※ 旋律短音階の場合は上行形を書くこと



5) 譜例のア～エの音程を答えなさい (日本語、英語どちらでもよい)。

ア 長7度 イ 減8度 ウ 増2度 エ 短6度

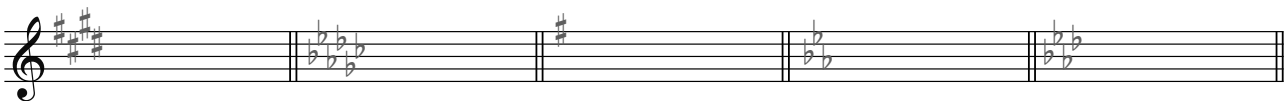
6) 譜例の調号を見て、この曲の調性 (長調とする) とその平行調を答えなさい。

※ 日本語、英語、ドイツ語、どの言葉でもよい

この曲の調性 D dur 平行調 h moll

7) 次の調号を下書き入れなさい。

C# minor (嬰ハ短調) E^b minor (変ホ短調) G major (ト長調) C minor (ハ短調) A^b major (変イ長調)



8) 譜例の曲の小節数を答えなさい。

29 小節

[聴音②]

1. 旋律聴音 ハ長調 4/4 拍子 8小節

♩ = ca.72~80

2. リズム聴音 (G, A) 4/4 拍子 8小節

♩ = ca.72~80

3. コードタイプ聴音 8和音(8小節)

♩ = 60 (1和音4秒)

[楽典③]

I 次の譜例に基づいて、下記の問題に答えなさい。

a) ①～⑤の音名を、日本語、ドイツ語、または英語で答えなさい。

	①	②	③	④	⑤
音名					

b) ⑦～⑪の音程とその転回音程を答えなさい。

	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
音程					
転回音程					

c) ①～⑤の和音の種類をA～Hから選んで記入しなさい。

(同じ回答が複数の和音に当てはまることもありうる)

A = 長三和音 B = 短三和音 C = 減三和音 D = 増三和音
E = 属七の和音 F = 減七の和音 G = 短七の和音 H = 長七の和音

	①	②	③	④	⑤
和音の種類					

d) ①～⑤の記号やことばの意味を日本語で書きなさい。

① _____ ② _____ ③ _____
④ _____ ⑤ _____

II 次に示された調 (①～⑤) の調号と主音を、指定された譜表に記入しなさい。

① ホ長調 / E dur ② ト短調 / g moll ③ 変イ長調 / As dur
④ ロ短調 / h moll ⑤ 嬰ハ短調 / cis moll

III 次の譜例 ①～④ に適切な小節線を書き入れなさい。

IV 次の旋律を全音 (長2度) 低く移調しなさい。

(調号を使わずに臨時記号で表すこと)

V 下記の中から任意に一つの問題を選び、答えなさい。

- (a) 一尺八寸と一尺六寸の尺八の基音の違いは何度か答えなさい。
- (b) 八本調子の篠笛より長2度低い音階を持つ笛は何本調子が答えなさい。
- (c) 箏を平調子に調弦したとき、四と五の弦の音程は何度か答えなさい。
- (d) 三味線を三下りに調弦したとき、二の糸と三の糸の開放弦間の音程は何度か答えなさい。
- (e) 付点4分音符は、16分音符で何個分に相当する長さか答えなさい。

設問 _____ 答え _____

[楽典③ 解答]

I 次の譜例に基づいて、下記の問題に答えなさい。

a) ①～⑤の音名を、日本語、ドイツ語、または英語で答えなさい。

	①	②	③	④	⑤
音名	変ホ または Es または E [♯]	ニ または D または D	変イ または As または A [♭]	嬰ハ または Cis または C [♯]	嬰ヘ または Fis または F [♯]

b) ⑦～⑧の音程とその転回音程を答えなさい。

	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
音程	完全5度	増1度	長3度	減7度	短2度
転回音程	完全4度	減8度	短6度	増2度	長7度

c) ①～⑤の和音の種類をA～Hから選んで記入しなさい。

(同じ回答が複数の和音に当てはまることもありうる)

A = 長三和音 B = 短三和音 C = 減三和音 D = 増三和音
E = 属七の和音 F = 減七の和音 G = 短七の和音 H = 長七の和音

	①	②	③	④	⑤
和音の種類	C	F	G	A	E

d) ①～⑤の記号やことばの意味を日本語で書きなさい。

- ① やや速く ② 強く ③ 軽く(優美に)
④ 次第に弱く ⑤ 今までより遅く

II 次に示された調(①～⑤)の調号と主音を、指定された譜表に記入しなさい。

- ① ホ長調 / E dur ② ト短調 / g moll ③ 変イ長調 / As dur
④ ロ短調 / h moll ⑤ 嬰ハ短調 / cis moll

III 次の譜例 ①～④に適切な小節線を書き入れなさい。

IV 次の旋律を全音(長2度)低く移調しなさい。

(調号を使わずに臨時記号で表すこと)

V 下記の中から任意の一つの問題を選び、答えなさい。

- (a) 一尺八寸と一尺六寸の尺八の基音の違いは何度が答えなさい。
(b) 八本調子の篠笛より長2度低い音階を持つ笛は何本調子が答えなさい。
(c) 箏を平調子に調弦したとき、四と五の弦の音程は何度が答えなさい。
(d) 三味線を三下りに調弦したとき、二の糸と三の糸の開放弦間の音程は何度が答えなさい。
(e) 付点4分音符は、16分音符で何個分に相当する長さか答えなさい。

- a 長2度
b 六本調子
c 長3度
d 完全4度
e 6個分

設問 a 答え 長2度

[聽音③]

1. 旋律聽音 八長調 3/4拍子 8小節

Musical notation for exercise 1, melody listening in A major (one sharp), 3/4 time, 8 measures. The notation is written on two staves. The first staff contains the first four measures, and the second staff contains the last four measures. The melody starts on G4, moves to A4, B4, C5, D5, E5, F#5, G5, then descends to E4, D4, C4, B3, A3, G3, F#3, E3, and ends on D3.

2. 旋律聽音 二調 4/4拍子 8小節

Musical notation for exercise 2, melody listening in B-flat major (two flats), 4/4 time, 8 measures. The notation is written on two staves. The first staff contains the first four measures, and the second staff contains the last four measures. The melody starts on Bb4, moves to C5, D5, Eb5, F5, G5, Ab5, Bb5, then descends to G4, F4, Eb4, D4, C4, Bb3, Ab3, G3, and ends on F3.

3. 和声 (4声体 密集位置) 八長調 2/2拍子 8小節

Musical notation for exercise 3, harmony in A major (one sharp), 2/2 time, 8 measures. The notation is written on a grand staff (treble and bass clefs). The first four measures show dense four-voice chords in the treble clef, while the bass clef contains single notes. The chords are: A major (A, C#, E), B major (B, D#, F#), C# major (C#, E, G#), and D major (D, F#, A). The last four measures show the chords resolving to E major (E, G#, B), D major (D, F#, A), C# major (C#, E, G#), and finally A major (A, C#, E).

作曲コース

[和声課題]

以下のバス課題、及びソプラノ課題を四声体で作成しなさい。(制限時間 4時間)

1. バス課題

Andantino

mp *mf*

f

ff

ritard. -----

f *dim* ----- *n*

2. ソプラノ課題

Andante

mf

f

cresc. *f*

dim. *p*

作曲コース

[自由作曲課題]

下記の動機から一つを選び、ピアノ曲、またはピアノを含む器楽曲を作曲しなさい。
形式は自由とする。創作に際して、本学が用意するピアノの使用を認める。(制限時間 4時間)

1. **Allegro**
f

2. **Allegro vivace**
p

3. **Andante**
p

4. **Moderato**
mf

5. **Allegretto**
mf

ピアノコース ピアノ&作曲マスタークラス

[伴奏付け]

伴奏付け：与えられたメロディーに伴奏をつけてピアノで演奏すること。
(一度メロディーを試奏したのち予見時間3分)

Moderato

音楽教育コース

[論文課題]

小論文 (字数 800 字以内。制限時間 60 分)

論 題

中学校の音楽科授業にて、生徒が「主体的に器楽を学ぶ」ために、教師はどのようなことを心がけて授業をすべきであるか、具体的に考えを述べなさい。

電子オルガンコース

[即興演奏課題]

3コーラス



洗足学園音楽大学入試センター

〒213-8580 神奈川県川崎市高津区久本2-3-1
<https://www.senzoku.ac.jp/music> e-mail: entry@senzoku.ac.jp